加古川市

転入・転出に関するアンケート調査

結果報告書

令和２年３月

加古川市

目　次

第１章　調査の概要 2

１．調査の目的 2
２．調査設計 2
３．回収状況 2
４．報告書の見方 2

第２章　転入調査の結果 3

Ⅰ．あなたご自身のことやお住まいのことについて 3
Ⅱ　転入の理由等について 24
Ⅲ　仕事について 48
Ⅳ　加古川市での生活について 53

第３章　転出調査の結果 67

Ⅰ．あなたご自身のことやお住まいのことについて 67
Ⅱ．転出の理由等について 86
Ⅲ．仕事について 122
Ⅳ．加古川市での生活について 125

第１章　調査の概要

１．調査の目的

本市における転出超過、人口減少等の現状を踏まえ、転入・転出者に対し、転入・転出に至った理由や、転出先の自治体を選定した理由等を把握し、現状を克服するための施策立案の参考とするため、アンケート調査を実施しました。

２．調査設計

	転入調査	転出調査
調査対象	平成 29 年４月１日から平成 31 年 3 月 31 日までの期間において本市に転入した 20 歳以上 46 歳未満の 2,000 人（無作為抽出）	平成 29 年４月１日から平成 31 年 3 月 31 日までの期間において本市から転出した 20 歳以上 46 歳未満の 4,000 人（無作為抽出）
調査方法	配布・回収ともに郵送	
調査期間	令和元年（2019 年）11 月 1 日から令和元年（2019 年）11 月 25 日まで	
調査項目	○回答者の属性 ○転入の理由 ○仕事 ○加古川市での生活	○回答者の属性 ○転出の理由 ○仕事 ○加古川市での生活

３．回収状況

	配布数	回収数	有効回答率
転入調査	2,000 人	567 人	28.4%
転出調査	4,000 人	1,289 人	32.2%

４．報告書の見方

① 図表上の「ｎ」は、設問に対する回答者数（number of case）のことを指しています。

② 回答比率（%）は回答者数（ｎ）を 100%として算出しています。小数点以下第２位を四捨五入しており、内訳の合計が計に一致しないことがあります。

③ 図表上の「ＭＡ%」（Multiple Answer の略）の表示は、複数回答形式の設問（回答選択肢の中から「あてはまるものをすべて」を選択する形式の設問）であり、複数の回答を求める設問では、回答比率（%）の計は 100.0%を超えます。

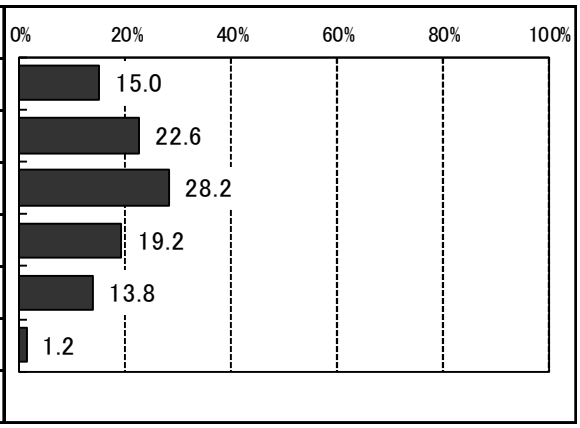
第２章　転入調査の結果

Ⅰ．あなたご自身のことやお住まいのことについて

問１　あなたの年齢と性別をお答えください。【１つに○】

■年齢

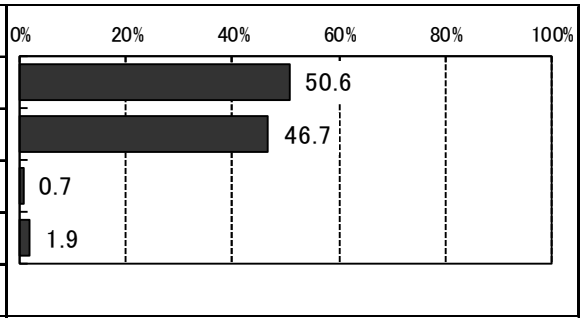
区分	
20～24歳	(n=85)
25～29歳	(n=128)
30～34歳	(n=160)
35～39歳	(n=109)
40歳以上	(n=78)
不明・無回答	(n=7)
全体	(n=567)



●「30～34 歳」が 28.2%で最も多く、次いで「25～29 歳」が 22.6%、「35～39 歳」が 19.2%となっています。

■性別

区分	
男性	(n=287)
女性	(n=265)
答えたくない	(n=4)
不明・無回答	(n=11)
全体	(n=567)



●「男性」が 50.6%で最も多く、次いで「女性」が 46.7%、「答えたくない」が 0.7%となっています。

問２　転入される前は、どちらにお住まいでしたか。

■転入前の都道府県

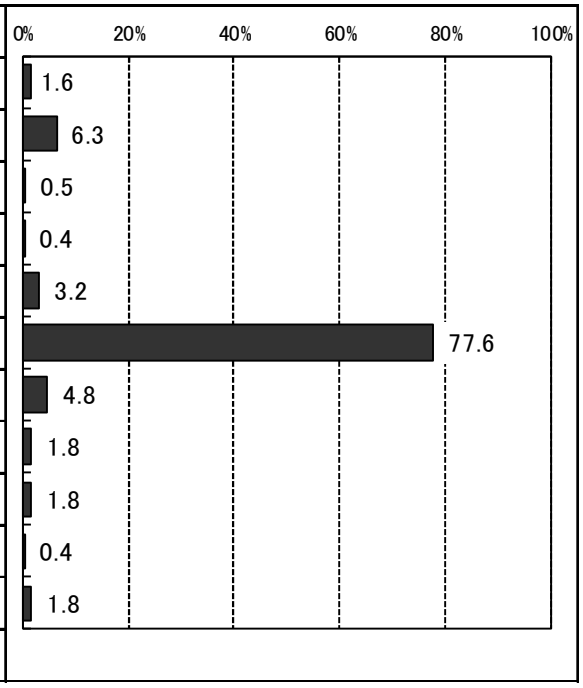
区分		
北海道	(n=6)	1.1
青森県	(n=0)	0.0
岩手県	(n=0)	0.0
宮城県	(n=1)	0.2
秋田県	(n=1)	0.2
山形県	(n=0)	0.0
福島県	(n=1)	0.2
茨城県	(n=2)	0.4
栃木県	(n=0)	0.0
群馬県	(n=1)	0.2
埼玉県	(n=2)	0.4
千葉県	(n=7)	1.2
東京都	(n=16)	2.8
神奈川県	(n=8)	1.4
新潟県	(n=3)	0.5
富山県	(n=0)	0.0
石川県	(n=2)	0.4
福井県	(n=0)	0.0
山梨県	(n=0)	0.0
長野県	(n=0)	0.0
岐阜県	(n=1)	0.2
静岡県	(n=1)	0.2
愛知県	(n=15)	2.6
三重県	(n=1)	0.2
滋賀県	(n=4)	0.7

区分		
京都府	(n=7)	1.2
大阪府	(n=46)	8.1
兵庫県	(n=377)	66.5
奈良県	(n=3)	0.5
和歌山県	(n=3)	0.5
鳥取県	(n=5)	0.9
島根県	(n=2)	0.4
岡山県	(n=9)	1.6
広島県	(n=6)	1.1
山口県	(n=5)	0.9
徳島県	(n=3)	0.5
香川県	(n=6)	1.1
愛媛県	(n=1)	0.2
高知県	(n=0)	0.0
福岡県	(n=3)	0.5
佐賀県	(n=0)	0.0
長崎県	(n=1)	0.2
熊本県	(n=2)	0.4
大分県	(n=1)	0.2
宮崎県	(n=1)	0.2
鹿児島県	(n=2)	0.4
沖縄県	(n=0)	0.0
海外	(n=2)	0.4
不明・無回答	(n=10)	1.8
全体	(n=567)	

●「兵庫県」が 66.5%で最も多く、次いで「大阪府」が 8.1%、「東京都」が 2.8%となっています。

■転入前の地方エリア

区分		
北海道･東北	(n=9)	1.6
関東	(n=36)	6.3
甲信越	(n=3)	0.5
北陸	(n=2)	0.4
東海	(n=18)	3.2
近畿	(n=440)	77.6
中国	(n=27)	4.8
四国	(n=10)	1.8
九州･沖縄	(n=10)	1.8
海外	(n=2)	0.4
不明･無回答	(n=10)	1.8
全体	(n=567)	



●「近畿」が 77.6%で最も多く、次いで「関東」が 6.3%、「中国」が 4.8%となっています。

※地方エリアと都道府県一覧

北海道･東北	北海道･青森･岩手･宮城･秋田･山形･福島
関東	茨城･栃木･群馬･埼玉･千葉･東京･神奈川
甲信越	新潟･山梨･長野
北陸	富山･石川･福井
東海	岐阜･静岡･愛知･三重
近畿	滋賀･京都･大阪･兵庫･奈良･和歌山
中国	鳥取･島根･岡山･広島･山口
四国	徳島･香川･愛媛･高知
九州･沖縄	福岡･佐賀･長崎･熊本･大分･宮崎･鹿児島･沖縄
海外	日本以外

【年齢別　転入前の地方エリア】

		(n)	北海道・東北	関東	甲信越	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄	海外	不明・無回答
全体		567	1.6	6.3	0.5	0.4	3.2	77.6	4.8	1.8	1.8	0.4	1.8
年齢別	20～24 歳	85	0.0	9.4	1.2	1.2	0.0	71.8	8.2	2.4	3.5	1.2	1.2
	25～29 歳	128	0.8	5.5	0.0	0.0	3.1	81.3	4.7	2.3	2.3	0.0	0.0
	30～34 歳	160	1.9	2.5	0.0	0.0	2.5	85.0	4.4	1.3	1.3	0.6	0.6
	35～39 歳	109	2.8	7.3	0.9	0.0	4.6	75.2	4.6	2.8	0.9	0.0	0.9
	40 歳以上	78	2.6	11.5	1.3	1.3	6.4	71.8	2.6	0.0	1.3	0.0	1.3

●年齢別にみると、「関東」は 40 歳以上のみ 10%台となっています。

■転入前の兵庫県下の市町

区分		
神戸市	(n=84)	22.3
姫路市	(n=42)	11.1
尼崎市	(n=6)	1.6
明石市	(n=57)	15.1
西宮市	(n=11)	2.9
洲本市	(n=5)	1.3
芦屋市	(n=4)	1.1
伊丹市	(n=1)	0.3
相生市	(n=1)	0.3
豊岡市	(n=1)	0.3
加古川市	(n=10)	2.7
赤穂市	(n=1)	0.3
西脇市	(n=2)	0.5
宝塚市	(n=3)	0.8
三木市	(n=13)	3.4
高砂市	(n=54)	14.3
川西市	(n=2)	0.5
小野市	(n=7)	1.9
三田市	(n=3)	0.8
加西市	(n=9)	2.4
丹波篠山市	(n=1)	0.3

区分		
養父市	(n=1)	0.3
丹波市	(n=0)	0.0
南あわじ市	(n=1)	0.3
朝来市	(n=1)	0.3
淡路市	(n=2)	0.5
宍粟市	(n=1)	0.3
加東市	(n=3)	0.8
たつの市	(n=1)	0.3
猪名川町	(n=1)	0.3
多可町	(n=1)	0.3
稲美町	(n=20)	5.3
播磨町	(n=17)	4.5
市川町	(n=0)	0.0
福崎町	(n=1)	0.3
神河町	(n=0)	0.0
太子町	(n=4)	1.1
上郡町	(n=0)	0.0
佐用町	(n=0)	0.0
香美町	(n=0)	0.0
新温泉町	(n=0)	0.0
不明・無回答	(n=6)	1.6
全体	(n=377)	

●「神戸市」が 22.3%で最も多く、次いで「明石市」が 15.1%、「高砂市」が 14.3%となっています。

【年齢別　転入前の兵庫県下の市町】

		(n)	神戸市	姫路市	尼崎市	明石市	西宮市	洲本市	芦屋市	伊丹市	相生市	豊岡市	加古川市	赤穂市	西脇市	宝塚市
全体		377	22.3	11.1	1.6	15.1	2.9	1.3	1.1	0.3	0.3	0.3	2.7	0.3	0.5	0.8
年齢別	20～24 歳	50	34.0	10.0	2.0	8.0	4.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0
	25～29 歳	93	22.6	6.5	2.2	17.2	6.5	2.2	2.2	0.0	1.1	1.1	2.2	1.1	0.0	1.1
	30～34 歳	114	21.1	14.9	1.8	12.3	1.8	1.8	0.0	0.9	0.0	0.0	2.6	0.0	0.9	0.0
	35～39 歳	71	15.5	15.5	1.4	19.7	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	1.4
	40 歳以上	48	22.9	6.3	0.0	16.7	2.1	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	2.1	2.1

		(n)	三木市	高砂市	川西市	小野市	三田市	加西市	丹波篠山市	養父市	丹波市	南あわじ市	朝来市	淡路市	宍粟市	加東市
全体		377	3.4	14.3	0.5	1.9	0.8	2.4	0.3	0.3	0.0	0.3	0.3	0.5	0.3	0.8
年齢別	20～24 歳	50	8.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0
	25～29 歳	93	3.2	12.9	1.1	1.1	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	1.1	1.1
	30～34 歳	114	2.6	14.9	0.9	2.6	2.6	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	35～39 歳	71	1.4	14.1	0.0	2.8	0.0	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	2.8
	40 歳以上	48	4.2	22.9	0.0	2.1	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		(n)	たつの市	猪名川町	多可町	稲美町	播磨町	市川町	福崎町	神河町	太子町	上郡町	佐用町	香美町	新温泉町	不明・無回答
全体		377	0.3	0.3	0.3	5.3	4.5	0.0	0.3	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6
年齢別	20～24 歳	50	0.0	0.0	2.0	8.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
	25～29 歳	93	0.0	0.0	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2
	30～34 歳	114	0.0	0.9	0.0	5.3	4.4	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
	35～39 歳	71	1.4	0.0	0.0	4.2	5.6	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4
	40 歳以上	48	0.0	0.0	0.0	6.3	4.2	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

●年齢別にみると、34 歳以下の年代は「神戸市」、35～39 歳は「明石市」、40 歳以上は「神戸市」と「高砂市」が最も多くなっています。

●20～24 歳の「神戸市」は 30%台と、特に多くなっています。

【性別　転入前の兵庫県下の市町】

		(n)	神戸市	姫路市	尼崎市	明石市	西宮市	洲本市	芦屋市	伊丹市	相生市	豊岡市	加古川市	赤穂市	西脇市	宝塚市
全体		377	22.3	11.1	1.6	15.1	2.9	1.3	1.1	0.3	0.3	0.3	2.7	0.3	0.5	0.8
性別	男性	187	19.8	7.5	1.1	18.7	2.7	1.6	0.0	0.5	0.0	0.5	3.7	0.0	0.5	1.1
	女性	184	25.5	15.2	1.6	10.9	3.3	1.1	2.2	0.0	0.5	0.0	1.6	0.5	0.5	0.5
	答えたくない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

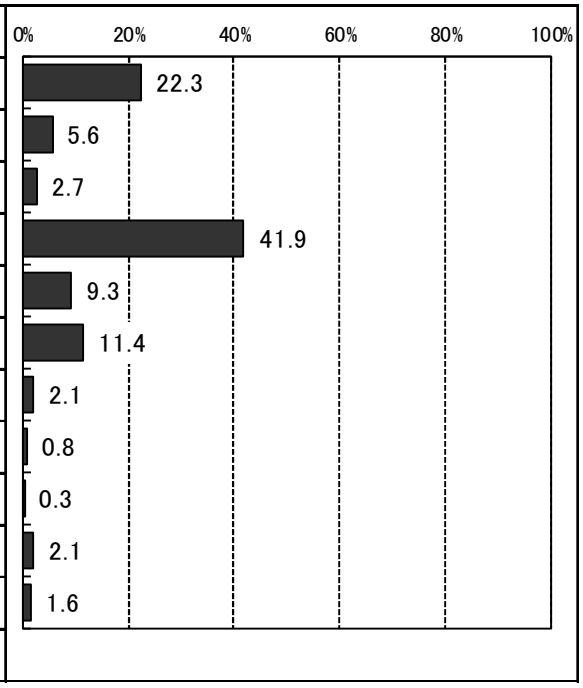
		(n)	三木市	高砂市	川西市	小野市	三田市	加西市	丹波篠山市	養父市	丹波市	南あわじ市	朝来市	淡路市	宍粟市	加東市
全体		377	3.4	14.3	0.5	1.9	0.8	2.4	0.3	0.3	0.0	0.3	0.3	0.5	0.3	0.8
性別	男性	187	2.7	15.5	0.5	2.1	0.5	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
	女性	184	4.3	13.0	0.5	1.6	1.1	2.2	0.5	0.5	0.0	0.5	0.5	1.1	0.5	1.1
	答えたくない	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		(n)	たつの市	猪名川町	多可町	稲美町	播磨町	市川町	福崎町	神河町	太子町	上郡町	佐用町	香美町	新温泉町	不明・無回答
全体		377	0.3	0.3	0.3	5.3	4.5	0.0	0.3	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6
性別	男性	187	0.0	0.5	0.0	7.5	5.3	0.0	0.5	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6
	女性	184	0.5	0.0	0.5	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1
	答えたくない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

●性別にみると、男女ともに「神戸市」が最も多く、次いで男性は「明石市」、女性は「姫路市」、３番目は男女ともに「高砂市」となっています。

■転入前の兵庫県下の圏域別集計

区分		
神戸地域	(n=84)	22.3
阪神南地域	(n=21)	5.6
阪神北地域	(n=10)	2.7
東播磨地域	(n=158)	41.9
北播磨地域	(n=35)	9.3
中播磨地域	(n=43)	11.4
西播磨地域	(n=8)	2.1
但馬地域	(n=3)	0.8
丹波地域	(n=1)	0.3
淡路地域	(n=8)	2.1
不明・無回答	(n=6)	1.6
全体	(n=377)	



●「東播磨地域」が 41.9%で最も多く、次いで「神戸地域」が 22.3%、「中播磨地域」が 11.4%となっています。

※兵庫県における圏域と市町一覧

神戸地域	神戸市
阪神南地域	尼崎市、西宮市、芦屋市
阪神北地域	伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町
東播磨地域	明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町
北播磨地域	西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町
中播磨地域	姫路市、市川町、福崎町、神河町
西播磨地域	相生市、赤穂市、宍粟市、たつの市、太子町、上郡町、佐用町
但馬地域	豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町
丹波地域	丹波篠山市、丹波市
淡路地域	洲本市、南あわじ市、淡路市

【年齢別・性別・転入前の世帯構成別・現在の世帯構成別　転入前の兵庫県下の市町】

		(n)	神戸地域	阪神南地域	阪神北地域	東播磨地域	北播磨地域	中播磨地域	西播磨地域	但馬地域	丹波地域	淡路地域	不明・無回答
全体		377	22.3	5.6	2.7	41.9	9.3	11.4	2.1	0.8	0.3	2.1	1.6
年齢別	20～24 歳	50	34.0	8.0	0.0	30.0	10.0	10.0	0.0	2.0	0.0	4.0	2.0
	25～29 歳	93	22.6	10.8	2.2	40.9	6.5	6.5	4.3	1.1	0.0	3.2	2.2
	30～34 歳	114	21.1	3.5	5.3	39.5	11.4	15.8	0.0	0.0	0.0	1.8	1.8
	35～39 歳	71	15.5	2.8	1.4	47.9	8.5	15.5	4.2	1.4	1.4	0.0	1.4
	40 歳以上	48	22.9	2.1	2.1	52.1	10.4	6.3	2.1	0.0	0.0	2.1	0.0
性別	男性	187	19.8	3.7	3.2	50.8	8.6	8.0	2.1	0.5	0.0	1.6	1.6
	女性	184	25.5	7.1	2.2	32.1	10.3	15.2	2.2	1.1	0.5	2.7	1.1
	答えたくない	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
転入前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	108	27.8	10.2	4.6	33.3	10.2	2.8	4.6	0.9	0.9	2.8	1.9
	夫婦のみの世帯	44	22.7	4.5	0.0	52.3	2.3	15.9	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0
	子どものいる世帯	81	16.0	3.7	1.2	51.9	7.4	16.0	0.0	0.0	0.0	1.2	2.5
	親と同居世帯	102	24.5	2.9	0.0	41.2	8.8	15.7	2.9	1.0	0.0	2.9	0.0
	三世代世帯	30	13.3	6.7	13.3	33.3	20.0	3.3	0.0	3.3	0.0	0.0	6.7
	その他の世帯	12	16.7	0.0	0.0	41.7	16.7	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	60	30.0	3.3	1.7	36.7	6.7	8.3	6.7	3.3	0.0	1.7	1.7
	夫婦のみの世帯	95	20.0	7.4	2.1	42.1	11.6	10.5	1.1	0.0	0.0	4.2	1.1
	子どものいる世帯	152	19.7	5.3	3.3	45.4	9.2	11.8	1.3	0.7	0.7	0.7	2.0
	親と同居世帯	38	31.6	7.9	2.6	39.5	7.9	5.3	2.6	0.0	0.0	2.6	0.0
	三世代世帯	18	11.1	5.6	5.6	27.8	11.1	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6
	その他の世帯	12	25.0	0.0	0.0	41.7	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0

●年齢別にみると、20～24 歳は「神戸地域」、そのほかの年代は「東播磨地域」が最も多くなっています。

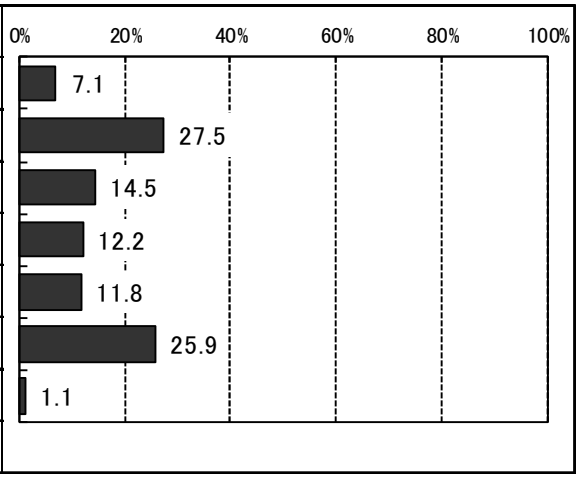
●性別にみると、男女ともに「東播磨地域」が最も多く、男性は 50%を超えています。

●転入前の世帯構成別にみると、世帯構成に関わらず「東播磨地域」が最も多く、特に夫婦のみの世帯・子どものいる世帯は 50%を超えています。

●現在の世帯構成別にみると、三世代世帯は「中播磨地域」、ほかの世帯は「東播磨地域」が最も多くなっています。また、ひとり暮らし世帯・親と同居世帯は「神戸地域」で 30%台と、ほかの世帯よりも多くなっています。

問３　転入前の市区町村では、通算で何年お住まいでしたか。【１つに○】

区分		
１年未満	(n=40)	7.1
１年以上3年未満	(n=156)	27.5
3年以上5年未満	(n=82)	14.5
5年以上10年未満	(n=69)	12.2
10年以上20年未満	(n=67)	11.8
20年以上	(n=147)	25.9
不明・無回答	(n=6)	1.1
全体	(n=567)	



●「１年以上３年未満」が 27.5%で最も多く、次いで「20 年以上」が 25.9%、「３年以上５年未満」が 14.5%となっています。

【年齢別・性別　転入前の市区町村での居住年数】

		(n)	１年未満	１年以上３年未満	３年以上５年未満	５年以上10 年未満	10 年以上20 年未満	20 年以上	不明・無回答
全体		567	7.1	27.5	14.5	12.2	11.8	25.9	1.1
年齢別	20～24 歳	85	16.5	22.4	12.9	4.7	24.7	18.8	0.0
	25～29 歳	128	5.5	32.0	13.3	8.6	7.0	33.6	0.0
	30～34 歳	160	6.3	28.8	17.5	11.9	8.8	26.9	0.0
	35～39 歳	109	4.6	29.4	13.8	19.3	8.3	24.8	0.0
	40 歳以上	78	5.1	23.1	14.1	17.9	16.7	23.1	0.0
性別	男性	287	5.6	33.1	15.7	11.8	11.1	22.6	0.0
	女性	265	9.1	22.3	13.2	13.2	12.5	29.8	0.0
	答えたくない	4	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0

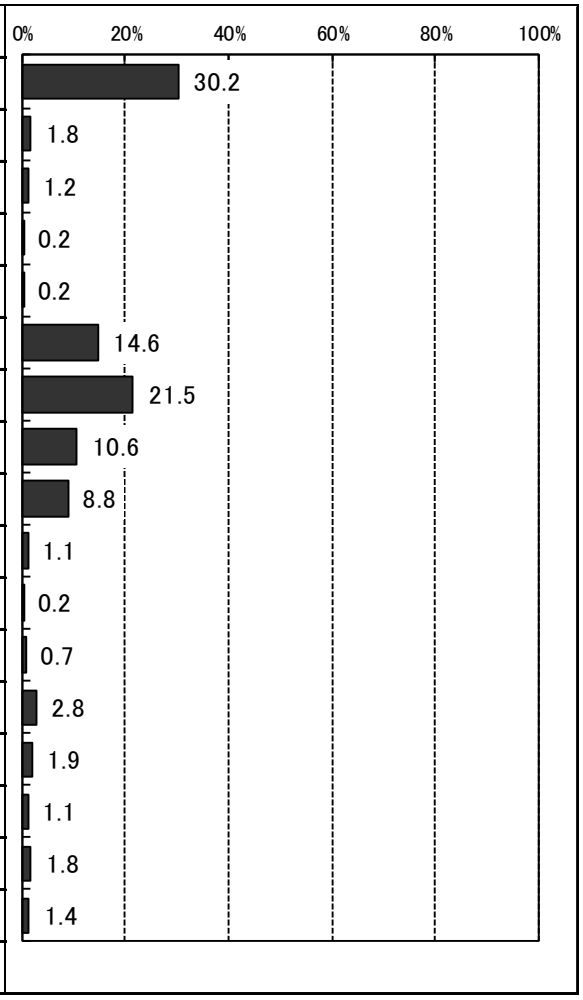
●年齢別にみると、20～24 歳は「10 年以上 20 年未満」、25～29 歳は「20 年以上」、そのほかの年代は「１年以上３年未満」が最も多くなっています。また 30 歳以上の年代は「20 年以上」が 20%台となっています。

●性別にみると、男性は「１年以上３年未満」、女性は「20 年以上」が最も多くなっています。

問４　現在、加古川市のどちらにお住まいですか。【１つに〇】

■居住地域（町名）

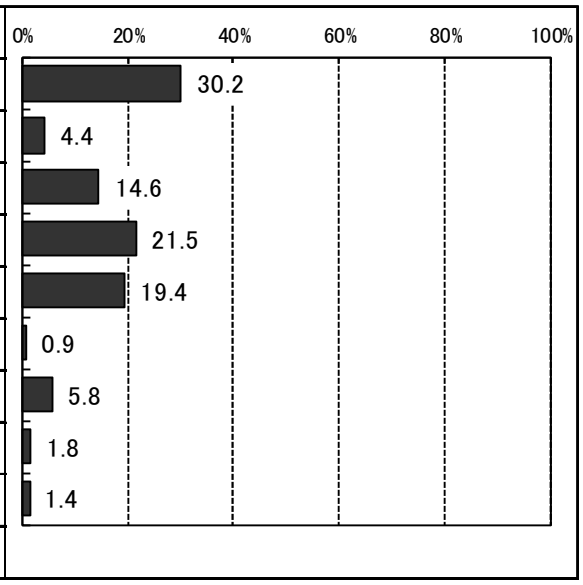
区分		
加古川町	(n=171)	30.2
神野町	(n=10)	1.8
新神野	(n=7)	1.2
西条山手	(n=1)	0.2
山手	(n=1)	0.2
野口町	(n=83)	14.6
平岡町	(n=122)	21.5
尾上町	(n=60)	10.6
別府町	(n=50)	8.8
八幡町	(n=6)	1.1
平荘町	(n=1)	0.2
上荘町	(n=4)	0.7
東神吉町	(n=16)	2.8
西神吉町	(n=11)	1.9
米田町	(n=6)	1.1
志方町	(n=10)	1.8
不明・無回答	(n=8)	1.4
全体	(n=567)	



●「加古川町」が 30.2%で最も多く、次いで「平岡町」が 21.5%、「野口町」が 14.6%となっています。

■居住地区別集計

区分		
加古川	(n=171)	30.2
加古川北	(n=25)	4.4
野口	(n=83)	14.6
平岡	(n=122)	21.5
浜の宮	(n=110)	19.4
両荘	(n=5)	0.9
加古川西	(n=33)	5.8
志方	(n=10)	1.8
不明・無回答	(n=8)	1.4
全体	(n=567)	



●「加古川」が 30.2%で最も多く、次いで「平岡」が 21.5%、「浜野宮」が 19.4%となっています。

※居住地区と町名一覧

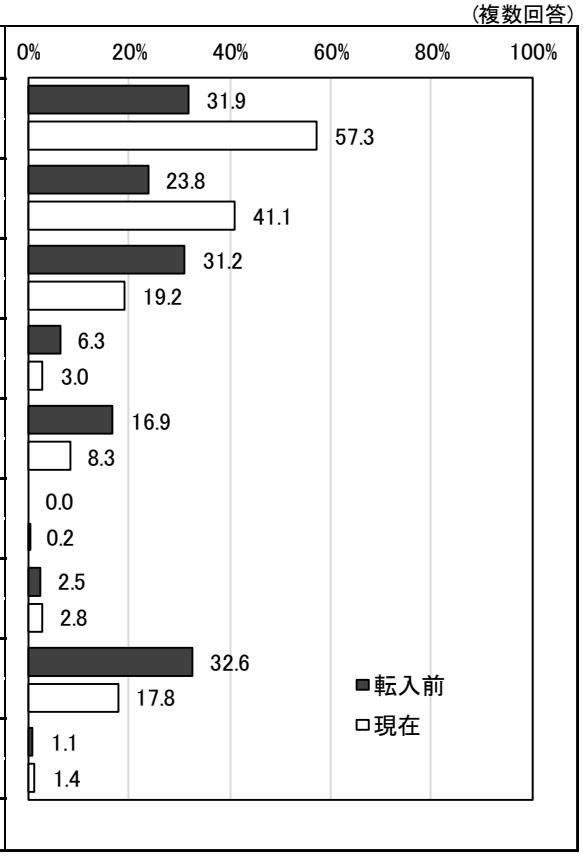
加古川	加古川町
加古川北	神野町、新神野、西条山手、山手、八幡町
野口	野口町
平岡	平岡町
浜の宮	尾上町、別府町
両荘	平荘町、上荘町
加古川西	東神吉町、西神吉町、米田町
志方	志方町

問５　転入前と現在の家族構成について、一緒に住んでいる方全員に〇をつけてください。また、転入前と現在の家族の人数をご記入ください。

■家族構成

（複数回答）

区分		
配偶者（夫・妻）	転入前(n=181)	31.9
	現在(n=325)	57.3
子ども	転入前(n=135)	23.8
	現在(n=233)	41.1
父親・母親	転入前(n=177)	31.2
	現在(n=109)	19.2
祖父母	転入前(n=36)	6.3
	現在(n=17)	3.0
兄弟姉妹	転入前(n=96)	16.9
	現在(n=47)	8.3
孫	転入前(n=0)	0.0
	現在(n=1)	0.2
その他	転入前(n=14)	2.5
	現在(n=16)	2.8
ひとり暮らし	転入前(n=185)	32.6
	現在(n=101)	17.8
不明・無回答	転入前(n=6)	1.1
	現在(n=8)	1.4
全体	(n=567)	



●転入前の家族構成は、「ひとり暮らし」が 32.6%で最も多く、次いで「配偶者（夫・妻）」が 31.9%、「父親・母親」が 31.2%となっています。

●現在（転入後）の家族構成は、「配偶者（夫・妻）」が 57.3%で最も多く、次いで「子ども」が 41.1%、「父親・母親」が 19.2%となっています。

【年齢別　転入前と現在（転入後）の家族構成】

			(n)	配偶者（夫・妻）	子ども	父親・母親	祖父母	兄弟姉妹	孫	その他	ひとり暮らし	不明・無回答
年齢別	転入前	全体	567	31.9	23.8	31.2	6.3	16.9	0.0	2.5	32.6	1.1
		20～24 歳	85	10.6	7.1	54.1	11.8	30.6	0.0	3.5	31.8	0.0
		25～29 歳	128	14.8	8.6	39.1	6.3	23.4	0.0	2.3	43.8	0.0
		30～34 歳	160	37.5	26.3	26.3	8.1	15.6	0.0	1.9	34.4	0.0
		35～39 歳	109	45.9	37.6	24.8	2.8	11.0	0.0	0.9	26.6	0.0
		40 歳以上	78	53.8	44.9	15.4	2.6	3.8	0.0	5.1	23.1	0.0
	現在（転入後）	全体	567	57.3	41.1	19.2	3.0	8.3	0.2	2.8	17.8	1.4
		20～24 歳	85	23.5	14.1	35.3	11.8	22.4	1.2	5.9	29.4	0.0
		25～29 歳	128	53.1	26.6	27.3	2.3	10.9	0.0	2.3	19.5	0.8
		30～34 歳	160	70.0	48.8	13.1	1.3	5.0	0.0	1.3	13.8	0.0
		35～39 歳	109	65.1	59.6	11.9	1.8	3.7	0.0	1.8	18.3	0.0
		40 歳以上	78	69.2	56.4	12.8	0.0	2.6	0.0	5.1	11.5	0.0

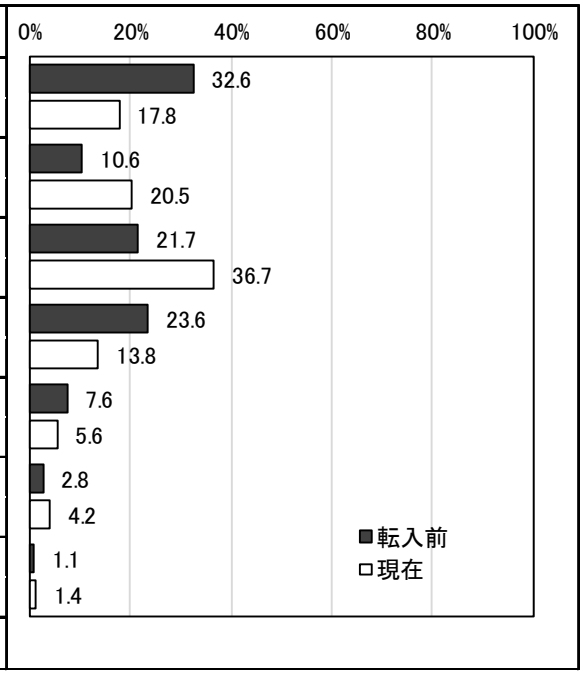
●年齢別にみると、転入前は 20～24 歳で「父親・母親」、25～29 歳で「ひとり暮らし」、そのほかの年代は「配偶者」が最も多くなっています。「子ども」は年齢が高くなるにつれて回答が増え、「父親・母親」「兄弟姉妹」は年齢が高くなるにつれて回答が減る傾向にあります。

●現在（転入後）は、20～24 歳は「父親・母親」、そのほかの年代は「配偶者（夫・妻）」が最も多くなっています。「配偶者（夫・妻）」は 25 歳以上の年代で 50%を超えています。

●転入前と転入後を比較すると、どの年代も「配偶者（夫・妻）」「子ども」は転入前から転入後で回答が増え、「父親・母親」「祖父母」「兄弟姉妹」「ひとり暮らし」は転入前から転入後で回答が減る傾向にあります。

■世帯構成

区分		
ひとり暮らし世帯	転入前(n=185)	32.6
	現在(n=101)	17.8
夫婦のみの世帯	転入前(n=60)	10.6
	現在(n=116)	20.5
子どものいる世帯	転入前(n=123)	21.7
	現在(n=208)	36.7
親と同居世帯	転入前(n=134)	23.6
	現在(n=78)	13.8
三世代世帯	転入前(n=43)	7.6
	現在(n=32)	5.6
その他の世帯	転入前(n=16)	2.8
	現在(n=24)	4.2
不明・無回答	転入前(n=6)	1.1
	現在(n=8)	1.4
全体	(n=567)	



●転入前の世帯構成は、「ひとり暮らし世帯」が 32.6%で最も多く、次いで「親と同居世帯」が 23.6%、「子どものいる世帯」が 21.7%となっています。

●現在（転入後）の世帯構成は、「子どものいる世帯」が 36.7%で最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」が 20.5%、「ひとり暮らし世帯」が 17.8%となっています。

【年齢別・性別　転入前と現在（転入後）の世帯構成】

			(n)	ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	子どものいる世帯	親と同居世帯	三世代世帯	その他の世帯	不明・無回答
年齢別	転入前	全体	567	32.6	10.6	21.7	23.6	7.6	2.8	1.1
		20～24 歳	85	31.8	4.7	7.1	42.4	10.6	3.5	0.0
		25～29 歳	128	43.8	6.3	8.6	32.8	5.5	3.1	0.0
		30～34 歳	160	34.4	13.1	23.1	17.5	10.0	1.9	0.0
		35～39 歳	109	26.6	11.9	34.9	19.3	5.5	1.8	0.0
		40 歳以上	78	23.1	16.7	39.7	9.0	6.4	5.1	0.0
	現在（転入後）	全体	567	17.8	20.5	36.7	13.8	5.6	4.2	1.4
		20～24 歳	85	29.4	11.8	10.6	24.7	10.6	12.9	0.0
		25～29 歳	128	19.5	25.8	22.7	23.4	4.7	3.1	0.8
		30～34 歳	160	13.8	26.9	44.4	9.4	4.4	1.3	0.0
		35～39 歳	109	18.3	15.6	53.2	3.7	7.3	1.8	0.0
		40 歳以上	78	11.5	16.7	52.6	10.3	2.6	6.4	0.0

●年齢別にみると、転入前は 20～24 歳で「親と同居」、25～34 歳の年代は「ひとり暮らし世帯」、35 歳以上は「子どものいる世帯」が最も多くなっています。

●現在（転入後）は、20～24 歳は「ひとり暮らし世帯」、25～29 歳は「夫婦のみの世帯」、30 歳以上の年代は「子どものいる世帯」が最も多くなっています。

●転入前と転入後を比較すると、どの年代も「夫婦のみの世帯」「子どものいる世帯」は転入前から転入後で回答が増え、「ひとり暮らし世帯」「親と同居世帯」は転入前から転入後で回答が減る傾向にあります。

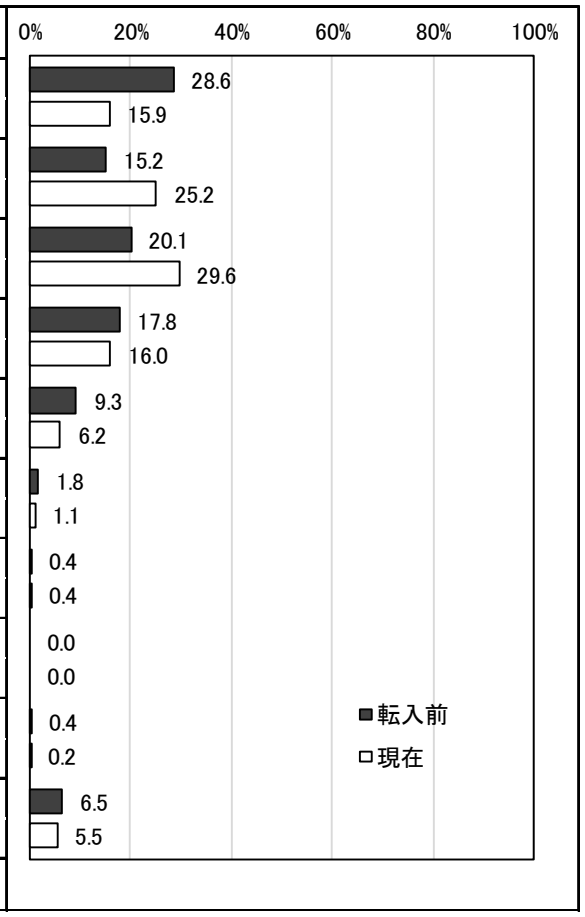
【転入前の世帯構成別　現在（転入後）の世帯構成】

		(n)	ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	子どものいる世帯	親と同居世帯	三世代世帯	その他の世帯	不明・無回答
全体		567	17.8	20.5	36.7	13.8	5.6	4.2	1.4
転入前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	185	29.2	20.5	15.7	26.5	3.8	3.8	0.5
	夫婦のみの世帯	60	3.3	35.0	45.0	10.0	3.3	1.7	1.7
	子どものいる世帯	123	2.4	0.8	78.9	3.3	13.0	1.6	0.0
	親と同居世帯	134	23.1	32.8	28.4	9.7	1.5	4.5	0.0
	三世代世帯	43	16.3	20.9	37.2	7.0	11.6	7.0	0.0
	その他の世帯	16	25.0	18.8	6.3	18.8	0.0	31.3	0.0

●転入前の世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯は「ひとり暮らし世帯」、夫婦のみの世帯・子どものいる世帯・三世代世帯は「子どものいる世帯」、親と同居世帯は「夫婦のみの世帯」が最も多くなっています。

■家族の人数

区分		
1人	転入前(n=162)	28.6
	現在(n=90)	15.9
2人	転入前(n=86)	15.2
	現在(n=143)	25.2
3人	転入前(n=114)	20.1
	現在(n=168)	29.6
4人	転入前(n=101)	17.8
	現在(n=91)	16.0
5人	転入前(n=53)	9.3
	現在(n=35)	6.2
6人	転入前(n=10)	1.8
	現在(n=6)	1.1
7人	転入前(n=2)	0.4
	現在(n=2)	0.4
8人	転入前(n=0)	0.0
	現在(n=0)	0.0
9人	転入前(n=2)	0.4
	現在(n=1)	0.2
不明・無回答	転入前(n=37)	6.5
	現在(n=31)	5.5
全体	(n=567)	



●転入前の家族の人数は、「１人」が 28.6%で最も多く、次いで「３人」が 20.1%、「４人」が 17.8%となっています。平均は 2.7 人となっています。

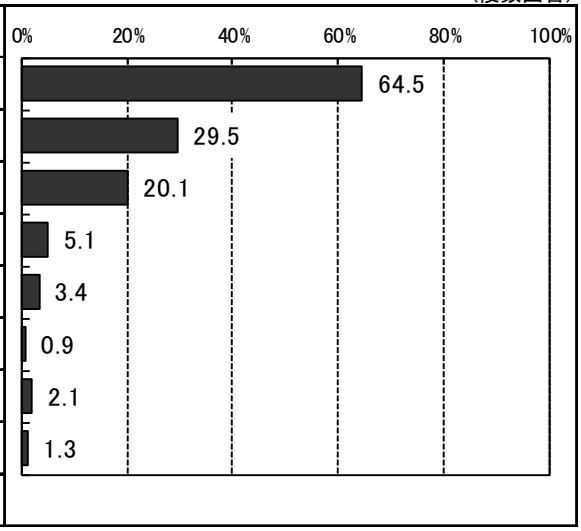
●現在（転入後）の家族の人数は、「３人」が 29.6%で最も多く、次いで「２人」が 25.2%、「４人」が 16.0%となっています。平均は 2.8 人となっています。

問５の「現在の家族構成」で「２．子ども」「６．孫」と答えた方におうかがいします。

問６　お子さんやお孫さんは、以下のどちらにあてはまりますか。【あてはまるものすべてに○】

（複数回答）

区分		
乳幼児（3歳未満）	(n=151)	64.5
幼児（3歳以上の未就学児）	(n=69)	29.5
小学生	(n=47)	20.1
中学生	(n=12)	5.1
高校生	(n=8)	3.4
大学生（短大・大学院・専門学校を含む）	(n=2)	0.9
社会人	(n=5)	2.1
不明・無回答	(n=3)	1.3
全体	(n=234)	



●「乳幼児（３歳未満）」が 64.5%で最も多く、次いで「幼児（３歳以上の未就学児）」が 29.5%、「小学生」が 20.1%となっています。

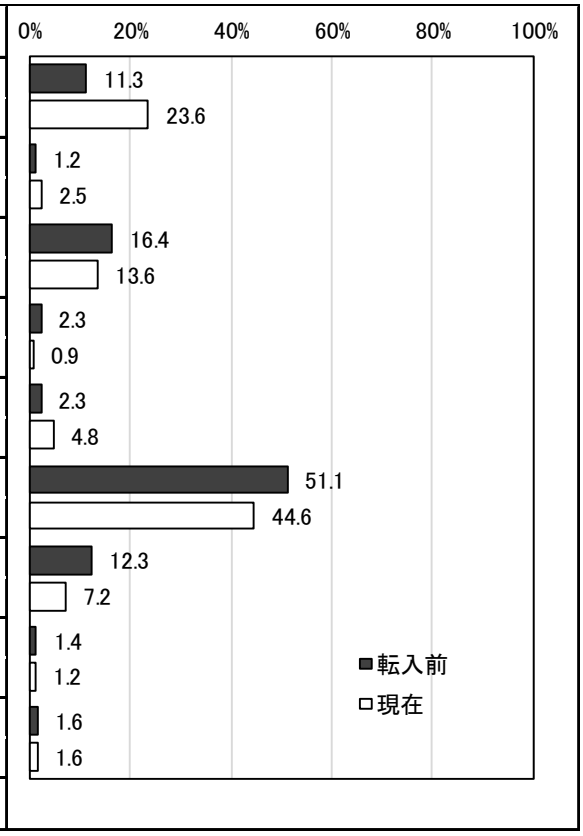
【年齢別　子どもの学齢期】

		(n)	乳幼児（3歳未満）	幼児（3歳以上の未就学児）	小学生	中学生	高校生	大学生（短大・大学院・専門学校を含む）	社会人	不明・無回答
全体		234	64.5	29.5	20.1	5.1	3.4	0.9	2.1	1.3
年齢別	20～24 歳	13	69.2	30.8	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7
	25～29 歳	34	88.2	20.6	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～34 歳	78	76.9	30.8	7.7	1.3	1.3	0.0	0.0	1.3
	35～39 歳	65	63.1	33.8	29.2	4.6	3.1	0.0	1.5	1.5
	40 歳以上	44	25.0	27.3	45.5	18.2	11.4	4.5	6.8	0.0

●年齢別にみると、40 歳以上は「小学生」、そのほかの年代は「乳幼児（３歳未満）」が最も多くなっています。

問７　転入前後の住居について、それぞれあてはまるもの１つに○をつけてください。

区分		
持ち家（一戸建て）	転入前(n=64)	11.3
	現在(n=134)	23.6
持ち家（分譲マンション）	転入前(n=7)	1.2
	現在(n=14)	2.5
親の家（一戸建て）	転入前(n=93)	16.4
	現在(n=77)	13.6
親の家（分譲マンション）	転入前(n=13)	2.3
	現在(n=5)	0.9
民間の借家（一戸建て）	転入前(n=13)	2.3
	現在(n=27)	4.8
民間の借家（アパート、賃貸マンション）	転入前(n=290)	51.1
	現在(n=253)	44.6
給与住宅（社宅・官舎・独身寮等）	転入前(n=70)	12.3
	現在(n=41)	7.2
その他	転入前(n=8)	1.4
	現在(n=7)	1.2
不明・無回答	転入前(n=9)	1.6
	現在(n=9)	1.6
全体	(n=567)	



●転入前の住居は、「民間の借家（アパート、賃貸マンション）」が 51.1%で最も多く、次いで「親の家（一戸建て）」が 16.4%、「給与住宅（社宅・官舎・独身寮等）」が 12.3%となっています。

●現在（転入後）の住居は、「民間の借家（アパート、賃貸マンション）」が 44.6%で最も多く、次いで「持ち家（一戸建て）」が 23.6%、「親の家（一戸建て）」が 13.6%となっています。

【年齢別　転入前と現在（転入後）の住居】

			(n)	持ち家（一戸建て）	持ち家（分譲マンション）	親の家（一戸建て）	親の家（分譲マンション）	民間の借家（一戸建て）	民間の借家（アパート、賃貸マンション）	給与住宅（社宅・官舎・独身寮等）	その他	不明・無回答
年齢別	転入前	全体	567	11.3	1.2	16.4	2.3	2.3	51.1	12.3	1.4	1.6
		20～24 歳	85	11.8	1.2	15.3	4.7	2.4	49.4	9.4	4.7	1.2
		25～29 歳	128	10.9	0.8	19.5	3.9	0.0	45.3	17.2	1.6	0.8
		30～34 歳	160	10.6	0.6	16.9	2.5	1.3	54.4	13.8	0.0	0.0
		35～39 歳	109	9.2	2.8	18.3	0.0	2.8	56.0	10.1	0.9	0.0
		40 歳以上	78	16.7	1.3	10.3	0.0	7.7	52.6	9.0	1.3	1.3
	現在（転入後）	全体	567	23.6	2.5	13.6	0.9	4.8	44.6	7.2	1.2	1.6
		20～24 歳	85	7.1	2.4	22.4	2.4	2.4	54.1	5.9	2.4	1.2
		25～29 歳	128	15.6	3.1	17.2	2.3	3.1	47.7	8.6	1.6	0.8
		30～34 歳	160	26.9	1.3	11.3	0.0	3.1	49.4	8.1	0.0	0.0
		35～39 歳	109	30.3	3.7	11.9	0.0	8.3	36.7	8.3	0.9	0.0
		40 歳以上	78	39.7	2.6	6.4	0.0	9.0	34.6	3.8	2.6	1.3

●年齢別にみると、転入前は年代に関わらず「民間の借家（アパート、賃貸マンション）」が最も多くなっています。

●現在（転入後）は、20～39 歳の年代は「民間の借家（アパート、賃貸マンション）」、40 歳以上は「持ち家（一戸建て）」が最も多くなっています。

●転入前と現在（転入後）を比較すると、「持ち家（一戸建て）」は、転入前は 10%程度となっていますが、転入後は 30 歳以上の年代で回答が増えています。

【転入前の世帯構成別　転入前の住居】

		(n)	持ち家（一戸建て）	持ち家（分譲マンション）	親の家（一戸建て）	親の家（分譲マンション）	民間の借家（一戸建て）	民間の借家（アパート、賃貸マンション）	給与住宅（社宅・官舎・独身寮等）	その他	不明・無回答
全体		567	11.3	1.2	16.4	2.3	2.3	51.1	12.3	1.4	1.6
転入前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	185	2.2	0.0	2.2	0.0	0.5	67.0	27.6	0.0	0.5
	夫婦のみの世帯	60	5.0	0.0	3.3	0.0	3.3	85.0	1.7	0.0	1.7
	子どものいる世帯	123	8.9	2.4	3.3	0.0	5.7	66.7	12.2	0.8	0.0
	親と同居世帯	134	21.6	3.0	43.3	9.0	1.5	16.4	0.7	3.7	0.7
	三世代世帯	43	37.2	0.0	51.2	2.3	0.0	4.7	2.3	2.3	0.0
	その他の世帯	16	6.3	0.0	18.8	0.0	6.3	56.3	6.3	6.3	0.0

●転入前の世帯構成別にみると、親と同居世帯・三世代世帯は「親の家（一戸建て）」、ほかの世帯は「民間の借家（アパート、賃貸マンション）」が最も多くなっています。また、親と同居世帯・三世代世帯は「持ち家（一戸建て）」がほかの世帯より多くなっています。ひとり暮らし世帯は「給与住宅（社宅・官舎・独身寮等）」が 20%台と、ほかの世帯より多くなっています。

【現在（転入後）の世帯構成別　現在（転入後）の住居】

		(n)	持ち家（一戸建て）	持ち家（分譲マンション）	親の家（一戸建て）	親の家（分譲マンション）	民間の借家（一戸建て）	民間の借家（アパート、賃貸マンション）	給与住宅（社宅・官舎・独身寮等）	その他	不明・無回答
全体		567	23.6	2.5	13.6	0.9	4.8	44.6	7.2	1.2	1.6
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	101	3.0	1.0	0.0	0.0	2.0	76.2	15.8	1.0	1.0
	夫婦のみの世帯	116	14.7	2.6	1.7	0.0	2.6	69.8	6.9	0.9	0.9
	子どものいる世帯	208	43.3	2.9	1.9	0.0	7.2	36.5	7.7	0.5	0.0
	親と同居世帯	78	15.4	3.8	62.8	5.1	6.4	5.1	0.0	0.0	1.3
	三世代世帯	32	18.8	0.0	65.6	3.1	3.1	9.4	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	24	20.8	4.2	4.2	0.0	4.2	45.8	4.2	16.7	0.0

●現在（転入後）の世帯構成別にみると、子どものいる世帯は「持ち家（一戸建て）」、親と同居世帯・三世代世帯は「親の家（一戸建て）」、ほかの世帯は「民間の借家（アパート、賃貸マンション）」が最も多くなっています。

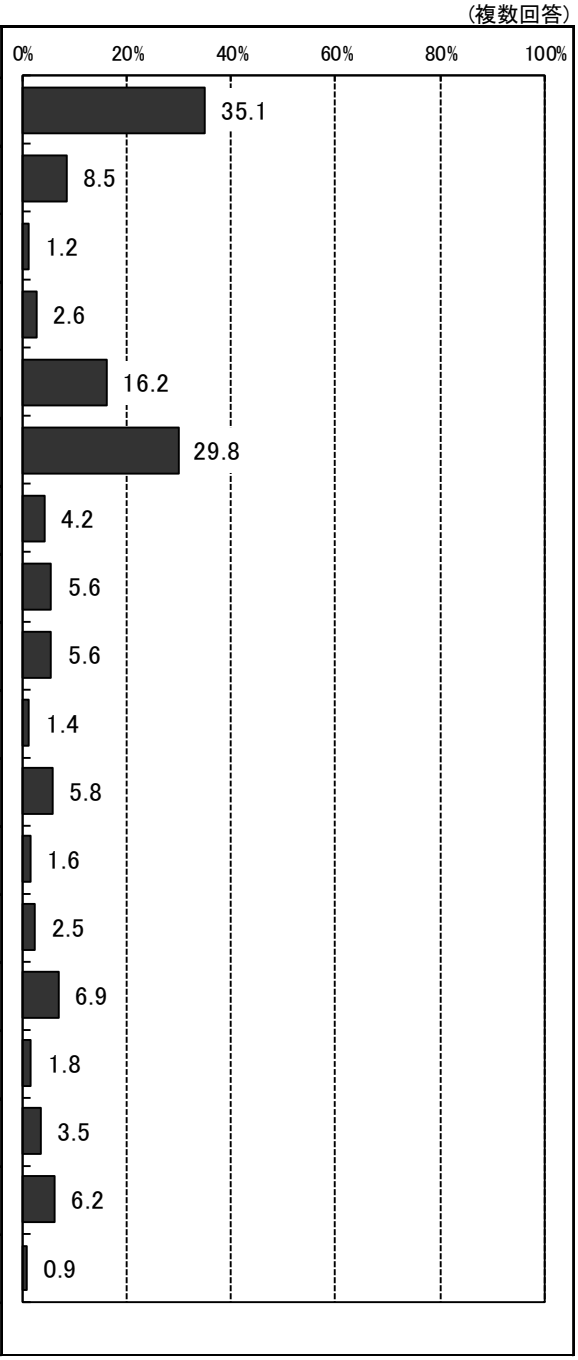
Ⅱ　転入の理由等について

問８　転入前の市区町村から転出した理由（引越しした理由）をすべてお答えください。また、転出理由の中で最も大きな理由を１つ、回答欄にご記入ください。

■転出した理由

（複数回答）

区分		
自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	(n=199)	35.1
家族の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	(n=48)	8.5
自分の学校上の理由（入学、進学等）	(n=7)	1.2
家族の学校上の理由（入学、進学等）	(n=15)	2.6
住宅事情（住宅購入、住み替え等）	(n=92)	16.2
結婚のため（事実婚を含む）	(n=169)	29.8
離婚のため	(n=24)	4.2
子どもが生まれたため（生まれる予定があったため）	(n=32)	5.6
子育て環境をより良くしたいため	(n=32)	5.6
教育環境をより良くしたいため	(n=8)	1.4
通勤・通学に不便であったため	(n=33)	5.8
バスや電車などの公共交通が不便であったため	(n=9)	1.6
生活環境（買い物など）が不便であったため	(n=14)	2.5
親や子ども等との同居、近居が必要になったため（親等の介護が必要になったなど）	(n=39)	6.9
地域の風潮、風土、文化が合わなかったため	(n=10)	1.8
自分または家族の生まれ、育ったまちではないため	(n=20)	3.5
その他	(n=35)	6.2
不明・無回答	(n=5)	0.9
全体	(n=567)	



●「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」が 35.1％で最も多く、次いで「結婚のため（事実婚を含む）」が 29.8％、「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」が 16.2％となっています。

【年齢別　転出した理由】

		(n)	自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	家族の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	自分の学校上の理由（入学、進学等）	家族の学校上の理由（入学、進学等）	住宅事情（住宅購入、住み替え等）	結婚のため（事実婚を含む）	離婚のため	子どもが生まれたため（生まれる予定があったため）	子育て環境をより良くしたいため
全体		567	35.1	8.5	1.2	2.6	16.2	29.8	4.2	5.6	5.6
年齢別	20～24 歳	85	52.9	7.1	7.1	1.2	4.7	14.1	3.5	4.7	4.7
	25～29 歳	128	39.8	8.6	0.8	0.0	10.2	39.1	2.3	3.9	3.1
	30～34 歳	160	25.6	7.5	0.0	0.6	16.9	37.5	6.9	6.3	4.4
	35～39 歳	109	33.9	9.2	0.0	4.6	26.6	25.7	3.7	11.0	10.1
	40 歳以上	78	29.5	11.5	0.0	10.3	23.1	19.2	3.8	1.3	7.7

		(n)	教育環境をより良くしたいため	通勤・通学に不便であったため	バスや電車などの公共交通が不便であったため	生活環境（買い物など）が不便であったため	親や子ども等との同居、近居が必要になったため（親等の介護が必要になったなど）	地域の風潮、風土、文化が合わなかったため	自分または家族の生まれ、育ったまちではないため	その他	不明・無回答
全体		567	1.4	5.8	1.6	2.5	6.9	1.8	3.5	6.2	0.9
年齢別	20～24 歳	85	0.0	5.9	2.4	1.2	3.5	2.4	2.4	5.9	1.2
	25～29 歳	128	0.8	7.8	0.8	4.7	7.8	2.3	2.3	8.6	0.0
	30～34 歳	160	1.9	5.6	1.3	3.1	5.0	0.0	3.8	6.9	1.3
	35～39 歳	109	2.8	3.7	1.8	0.9	6.4	3.7	4.6	4.6	0.9
	40 歳以上	78	1.3	6.4	2.6	1.3	14.1	1.3	3.8	3.8	1.3

●年齢別にみると、30～34 歳は「結婚のため（事実婚を含む）」、そのほかの年代は「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」が最も多くなっています。

●「結婚のため（事実婚を含む）」は 25～34 歳で 30%台と、ほかの年代より多くなっています。

●「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」は 35 歳以上の年代で 20%台と、ほかの年代より多くなっています。

【性別　転出した理由】

		(n)	自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	家族の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	自分の学校上の理由（入学、進学等）	家族の学校上の理由（入学、進学等）	住宅事情（住宅購入、住み替え等）	結婚のため（事実婚を含む）	離婚のため	子どもが生まれたため（生まれる予定があったため）	子育て環境をより良くしたいため
全体		567	35.1	8.5	1.2	2.6	16.2	29.8	4.2	5.6	5.6
性別	男性	287	45.3	5.6	1.4	2.4	18.8	25.4	1.4	5.2	5.6
	女性	265	24.2	11.3	1.1	3.0	14.0	34.3	7.2	6.4	6.0
	答えたくない	4	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0

		(n)	教育環境をより良くしたいため	通勤・通学に不便であったため	バスや電車などの公共交通が不便であったため	生活環境（買い物など）が不便であったため	親や子ども等との同居、近居が必要になったため（親等の介護が必要になったなど）	地域の風潮、風土、文化が合わなかったため	自分または家族の生まれ、育ったまちではないため	その他	不明・無回答
全体		567	1.4	5.8	1.6	2.5	6.9	1.8	3.5	6.2	0.9
性別	男性	287	2.1	5.6	1.7	2.8	5.6	1.7	1.4	5.6	1.4
	女性	265	0.8	6.0	1.5	2.3	8.7	1.9	5.7	6.8	0.4
	答えたくない	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

●性別にみると、男性は「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」、女性は「結婚のため（事実婚を含む）」が最も多くなっています。

【転入前の世帯構成別　転出した理由】

		(n)	自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	家族の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	自分の学校上の理由（入学、進学等）	家族の学校上の理由（入学、進学等）	住宅事情（住宅購入、住み替え等）	結婚のため（事実婚を含む）	離婚のため	子どもが生まれたため（生まれる予定があったため）	子育て環境をより良くしたいため
全体		567	35.1	8.5	1.2	2.6	16.2	29.8	4.2	5.6	5.6
転入前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	185	48.6	2.7	2.7	0.5	5.4	30.8	0.5	2.7	1.1
	夫婦のみの世帯	60	30.0	5.0	0.0	0.0	40.0	13.3	6.7	15.0	8.3
	子どものいる世帯	123	22.0	17.1	0.0	9.8	34.1	4.1	14.6	7.3	17.1
	親と同居世帯	134	30.6	10.4	1.5	0.0	6.0	55.2	0.0	6.0	1.5
	三世代世帯	43	32.6	7.0	0.0	4.7	14.0	44.2	2.3	2.3	4.7
	その他の世帯	16	43.8	12.5	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0

		(n)	教育環境をより良くしたいため	通勤・通学に不便であったため	バスや電車などの公共交通が不便であったため	生活環境（買い物など）が不便であったため	親や子ども等との同居、近居が必要になったため（親等の介護が必要になったなど）	地域の風潮、風土、文化が合わなかったため	自分または家族の生まれ、育ったまちではないため	その他	不明・無回答
全体		567	1.4	5.8	1.6	2.5	6.9	1.8	3.5	6.2	0.9
転入前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	185	0.0	5.4	2.7	4.9	6.5	2.2	2.2	7.6	0.5
	夫婦のみの世帯	60	3.3	3.3	0.0	1.7	10.0	1.7	6.7	0.0	1.7
	子どものいる世帯	123	4.1	6.5	0.8	1.6	13.8	1.6	7.3	4.1	0.0
	親と同居世帯	134	0.7	6.0	0.7	0.7	1.5	1.5	0.0	5.2	2.2
	三世代世帯	43	0.0	4.7	4.7	2.3	0.0	0.0	2.3	11.6	0.0
	その他の世帯	16	0.0	18.8	0.0	0.0	12.5	6.3	6.3	25.0	0.0

●転入前の世帯構成別にみると、夫婦のみの世帯・子どものいる世帯は「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」、親と同居世帯・三世代世帯は「結婚のため（事実婚を含む）」、ほかの世帯は「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」が最も多くなっています。

●「離婚のため」は子どものいる世帯のみ 10%台と、ほかの世帯より多くなっています。

●「子どもが生まれたため（生まれる予定があったため）」は夫婦のみの世帯のみ 10%台と、ほかの世帯よりも多くなっています。

●「子育て環境をより良くしたいため」は子どものいる世帯のみ 10%台と、ほかの世帯より多くなっています。

【現在（転入後）の世帯構成別　転出した理由】

		(n)	自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	家族の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	自分の学校上の理由（入学、進学等）	家族の学校上の理由（入学、進学等）	住宅事情（住宅購入、住み替え等）	結婚のため（事実婚を含む）	離婚のため	子どもが生まれたため（生まれる予定があったため）	子育て環境をより良くしたいため
全体		567	35.1	8.5	1.2	2.6	16.2	29.8	4.2	5.6	5.6
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	101	68.3	4.0	0.0	0.0	5.9	2.0	2.0	0.0	1.0
	夫婦のみの世帯	116	20.7	4.3	0.0	0.0	12.1	67.2	0.9	0.0	0.9
	子どものいる世帯	208	22.1	13.9	0.0	6.7	27.9	35.1	4.8	13.0	12.0
	親と同居世帯	78	51.3	6.4	5.1	1.3	11.5	6.4	2.6	1.3	2.6
	三世代世帯	32	21.9	6.3	3.1	0.0	6.3	12.5	21.9	12.5	9.4
	その他の世帯	24	41.7	12.5	8.3	0.0	8.3	12.5	8.3	0.0	0.0

		(n)	教育環境をより良くしたいため	通勤・通学に不便であったため	バスや電車などの公共交通が不便であったため	生活環境（買い物など）が不便であったため	親や子ども等との同居、近居が必要になったため（親等の介護が必要になったなど）	地域の風潮、風土、文化が合わなかったため	自分または家族の生まれ、育ったまちではないため	その他	不明・無回答
全体		567	1.4	5.8	1.6	2.5	6.9	1.8	3.5	6.2	0.9
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	101	1.0	10.9	2.0	6.9	1.0	5.0	4.0	8.9	2.0
	夫婦のみの世帯	116	0.0	4.3	1.7	1.7	0.9	0.0	0.9	2.6	0.0
	子どものいる世帯	208	2.9	5.8	1.4	1.0	9.6	1.0	5.3	2.9	0.5
	親と同居世帯	78	1.3	2.6	1.3	1.3	15.4	2.6	2.6	14.1	1.3
	三世代世帯	32	0.0	6.3	0.0	6.3	12.5	3.1	3.1	3.1	0.0
	その他の世帯	24	0.0	4.2	4.2	0.0	4.2	0.0	0.0	20.8	4.2

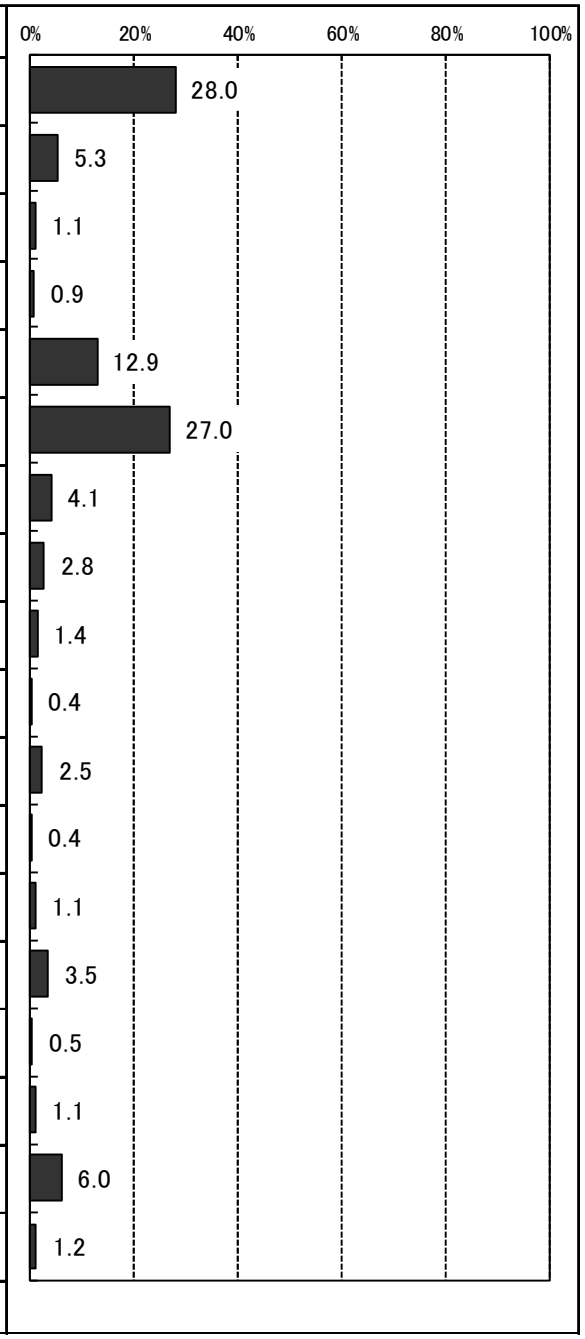
●現在（転入後）の世帯構成別にみると、夫婦のみの世帯・子どものいる世帯は「結婚のため（事実婚を含む）」、三世代世帯は「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」「離婚のため」、ほかの世帯は「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」が最も多くなっています。

●「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」は、子どものいる世帯のみ 20%台と、多くなっています。

●「通勤・通学に不便であったため」は、ひとり暮らし世帯のみ 10%台となっています。

■転出した最も大きな理由

区分		
自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	(n=159)	28.0
家族の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	(n=30)	5.3
自分の学校上の理由（入学、進学等）	(n=6)	1.1
家族の学校上の理由（入学、進学等）	(n=5)	0.9
住宅事情（住宅購入、住み替え等）	(n=73)	12.9
結婚のため（事実婚を含む）	(n=153)	27.0
離婚のため	(n=23)	4.1
子どもが生まれたため（生まれる予定があったため）	(n=16)	2.8
子育て環境をより良くしたいため	(n=8)	1.4
教育環境をより良くしたいため	(n=2)	0.4
通勤・通学に不便であったため	(n=14)	2.5
バスや電車などの公共交通が不便であったため	(n=2)	0.4
生活環境（買い物など）が不便であったため	(n=6)	1.1
親や子ども等との同居、近居が必要になったため（親等の介護が必要になったなど）	(n=20)	3.5
地域の風潮、風土、文化が合わなかったため	(n=3)	0.5
自分または家族の生まれ、育ったまちではないため	(n=6)	1.1
その他	(n=34)	6.0
不明・無回答	(n=7)	1.2
全体	(n=567)	



●「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」が 28.0%で最も多く、次いで「結婚のため（事実婚を含む）」が 27.0%、「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」が 12.9%となっています。

【年齢別　転出した最も大きな理由】

		(n)	自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	家族の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	自分の学校上の理由（入学、進学等）	家族の学校上の理由（入学、進学等）	住宅事情（住宅購入、住み替え等）	結婚のため（事実婚を含む）	離婚のため	子どもが生まれたため（生まれる予定があったため）	子育て環境をより良くしたいため
全体		567	28.0	5.3	1.1	0.9	12.9	27.0	4.1	2.8	1.4
年齢別	20～24 歳	85	49.4	7.1	5.9	0.0	4.7	12.9	3.5	1.2	2.4
	25～29 歳	128	30.5	5.5	0.8	0.0	7.0	35.9	1.6	1.6	0.0
	30～34 歳	160	19.4	3.8	0.0	0.0	15.0	33.1	6.9	3.8	0.6
	35～39 歳	109	24.8	5.5	0.0	1.8	19.3	22.9	3.7	5.5	2.8
	40 歳以上	78	23.1	6.4	0.0	3.8	17.9	17.9	3.8	1.3	2.6

		(n)	教育環境をより良くしたいため	通勤・通学に不便であったため	バスや電車などの公共交通が不便であったため	生活環境（買い物など）が不便であったため	親や子ども等との同居、近居が必要になったため（親等の介護が必要になったなど）	地域の風潮、風土、文化が合わなかったため	自分または家族の生まれ、育ったまちではないため	その他	不明・無回答
全体		567	0.4	2.5	0.4	1.1	3.5	0.5	1.1	6.0	1.2
年齢別	20～24 歳	85	0.0	2.4	1.2	1.2	2.4	0.0	0.0	4.7	1.2
	25～29 歳	128	0.0	3.1	0.0	1.6	2.3	0.8	0.8	8.6	0.0
	30～34 歳	160	0.0	2.5	0.0	1.9	3.1	0.0	1.9	6.9	1.3
	35～39 歳	109	0.9	1.8	0.0	0.0	3.7	1.8	0.0	4.6	0.9
	40 歳以上	78	1.3	2.6	1.3	0.0	7.7	0.0	2.6	3.8	3.8

●年齢別にみると、25～34 歳の年代は「結婚のため（事実婚を含む）」、そのほかの年代は「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」が最も多くなっています。

●「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」は 30 歳以上の年代で 10%台と、ほかの年代より多くなっています。

【性別　転出した最も大きな理由】

		(n)	自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	家族の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	自分の学校上の理由（入学、進学等）	家族の学校上の理由（入学、進学等）	住宅事情（住宅購入、住み替え等）	結婚のため（事実婚を含む）	離婚のため	子どもが生まれたため（生まれる予定があったため）	子育て環境をより良くしたいため
全体		567	28.0	5.3	1.1	0.9	12.9	27.0	4.1	2.8	1.4
性別	男性	287	38.0	2.8	1.0	1.4	14.3	21.3	1.0	2.4	0.7
	女性	265	17.4	7.5	1.1	0.4	11.7	32.8	7.2	3.4	2.3
	答えたくない	4	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0

		(n)	教育環境をより良くしたいため	通勤・通学に不便であったため	バスや電車などの公共交通が不便であったため	生活環境（買い物など）が不便であったため	親や子ども等との同居、近居が必要になったため（親等の介護が必要になったなど）	地域の風潮、風土、文化が合わなかったため	自分または家族の生まれ、育ったまちではないため	その他	不明・無回答
全体		567	0.4	2.5	0.4	1.1	3.5	0.5	1.1	6.0	1.2
性別	男性	287	0.7	2.8	0.3	1.7	3.5	0.7	0.3	5.2	1.7
	女性	265	0.0	1.9	0.4	0.4	3.8	0.4	1.9	6.8	0.8
	答えたくない	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

●性別にみると、男性は「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」、女性は「結婚のため（事実婚を含む）」が最も多くなっています。

【転入前の世帯構成別　転出した最も大きな理由】

		(n)	自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	家族の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	自分の学校上の理由（入学、進学等）	家族の学校上の理由（入学、進学等）	住宅事情（住宅購入、住み替え等）	結婚のため（事実婚を含む）	離婚のため	子どもが生まれたため（生まれる予定があったため）	子育て環境をより良くしたいため
全体		567	28.0	5.3	1.1	0.9	12.9	27.0	4.1	2.8	1.4
転入前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	185	42.7	1.1	2.2	0.5	3.2	27.6	0.5	1.6	0.0
	夫婦のみの世帯	60	26.7	3.3	0.0	0.0	35.0	8.3	6.7	11.7	3.3
	子どものいる世帯	123	12.2	11.4	0.0	3.3	29.3	3.3	13.8	3.3	4.9
	親と同居世帯	134	21.6	6.7	1.5	0.0	3.7	51.5	0.0	1.5	0.0
	三世代世帯	43	25.6	4.7	0.0	0.0	9.3	44.2	2.3	0.0	0.0
	その他の世帯	16	43.8	6.3	0.0	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0

		(n)	教育環境をより良くしたいため	通勤・通学に不便であったため	バスや電車などの公共交通が不便であったため	生活環境（買い物など）が不便であったため	親や子ども等との同居、近居が必要になったため（親等の介護が必要になったなど）	地域の風潮、風土、文化が合わなかったため	自分または家族の生まれ、育ったまちではないため	その他	不明・無回答
全体		567	0.4	2.5	0.4	1.1	3.5	0.5	1.1	6.0	1.2
転入前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	185	0.0	3.2	0.5	2.7	3.8	1.1	1.1	7.6	0.5
	夫婦のみの世帯	60	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	1.7
	子どものいる世帯	123	1.6	1.6	0.0	0.0	6.5	0.0	3.3	4.1	1.6
	親と同居世帯	134	0.0	3.0	0.7	0.7	1.5	0.7	0.0	4.5	2.2
	三世代世帯	43	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.6	0.0
	その他の世帯	16	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	25.0	0.0

●転入前の世帯構成別にみると、夫婦のみの世帯・子どものいる世帯は「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」、親と同居世帯・三世代世帯は「結婚のため（事実婚を含む）」、ほかの世帯は「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」が最も多くなっています。

●「家族の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」は子どものいる世帯のみ 10%台と、ほかの世帯より多くなっています。

●「離婚のため」は子どものいる世帯のみ 10%台と、ほかの世帯よりも多くなっています。

●「子どもが生まれたため（生まれる予定があったため）」は夫婦のみの世帯のみ 10%台と、ほかの世帯よりも多くなっています。

【現在（転入後）の世帯構成別　転出した最も大きな理由】

		(n)	自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	家族の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	自分の学校上の理由（入学、進学等）	家族の学校上の理由（入学、進学等）	住宅事情（住宅購入、住み替え等）	結婚のため（事実婚を含む）	離婚のため	子どもが生まれたため（生まれる予定があったため）	子育て環境をより良くしたいため
全体		567	28.0	5.3	1.1	0.9	12.9	27.0	4.1	2.8	1.4
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	101	63.4	3.0	0.0	0.0	4.0	1.0	2.0	0.0	0.0
	夫婦のみの世帯	116	18.1	2.6	0.0	0.0	8.6	65.5	0.9	0.0	0.0
	子どものいる世帯	208	10.6	7.2	0.0	2.4	22.6	29.8	4.8	6.3	2.9
	親と同居世帯	78	42.3	6.4	3.8	0.0	9.0	6.4	2.6	0.0	0.0
	三世代世帯	32	21.9	6.3	3.1	0.0	6.3	12.5	21.9	9.4	6.3
	その他の世帯	24	37.5	8.3	8.3	0.0	8.3	4.2	4.2	0.0	0.0

		(n)	教育環境をより良くしたいため	通勤・通学に不便であったため	バスや電車などの公共交通が不便であったため	生活環境（買い物など）が不便であったため	親や子ども等との同居、近居が必要になったため（親等の介護が必要になったなど）	地域の風潮、風土、文化が合わなかったため	自分または家族の生まれ、育ったまちではないため	その他	不明・無回答
全体		567	0.4	2.5	0.4	1.1	3.5	0.5	1.1	6.0	1.2
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	101	0.0	8.9	0.0	5.0	1.0	1.0	0.0	8.9	2.0
	夫婦のみの世帯	116	0.0	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0
	子どものいる世帯	208	1.0	1.4	0.0	0.0	4.8	0.0	1.9	2.9	1.4
	親と同居世帯	78	0.0	0.0	1.3	1.3	9.0	1.3	1.3	14.1	1.3
	三世代世帯	32	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	3.1	3.1	3.1	0.0
	その他の世帯	24	0.0	4.2	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	16.7	4.2

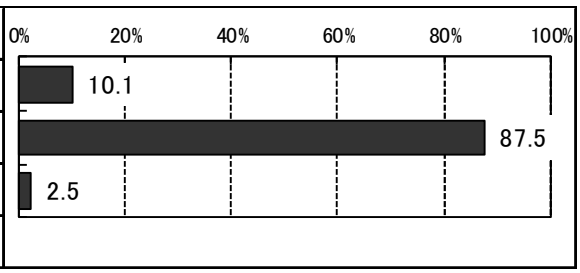
●現在（転入後）の世帯構成別にみると、夫婦のみの世帯・子どものいる世帯は「結婚のため（事実婚を含む）」、三世代世帯は「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」「離婚のため」、ほかの世帯は「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」が最も多くなっています。

●「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」は、子どものいる世帯のみ 20%台と、多くなっています。

●「通勤・通学に不便であったため」は、ひとり暮らし世帯のみ 8.9%となっています。

問９　転入先（引越し先）を加古川市に決めるにあたり、加古川市の行政サービスや事業、取組を調べましたか。【１つに○】

区分	
調べた	(n=57)
調べていない	(n=496)
不明・無回答	(n=14)
全体	(n=567)



●「調べていない」が 87.5%、「調べた」が 10.1%となっています。

【年齢別・転入前の世帯構成別　加古川市の情報の収集状況】

		(n)	調べた	調べていない	不明・無回答
全体		567	10.1	87.5	2.5
年齢別	20～24 歳	85	2.4	94.1	3.5
	25～29 歳	128	7.8	89.8	2.3
	30～34 歳	160	13.8	84.4	1.9
	35～39 歳	109	13.8	83.5	2.8
	40 歳以上	78	9.0	89.7	1.3
転入前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	185	4.3	94.1	1.6
	夫婦のみの世帯	60	3.3	96.7	0.0
	子どものいる世帯	123	27.6	68.3	4.1
	親と同居世帯	134	5.2	91.0	3.7
	三世代世帯	43	11.6	88.4	0.0
	その他の世帯	16	0.0	100.0	0.0

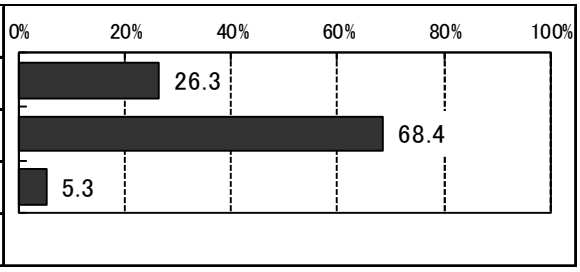
●年齢にみると、どの年代も「調べていない」が最も多く、20～24 歳は 90%を超えています。「調べた」は、30～39 歳の年代で 10%台となっています。

●転入前の世帯構成別にみると、世帯構成に関わらず「調べていない」が最も多くなっています。「調べた」は子どものいる世帯のみ 20%台と、ほかの世帯より多くなっています。

問９で「１．調べた」と答えた方におうかがいします。

問 10　加古川市の行政サービスや事業、取組において、魅力を感じたものはありましたか。
【１つに○】

区分		
あった	(n=15)	26.3
なかった	(n=39)	68.4
不明・無回答	(n=3)	5.3
全体	(n=57)	



●「なかった」が 68.4%、「あった」が 26.3%となっています。

【転入前の世帯構成別　魅力のあったサービス等の有無】

		(n)	あった	なかった	不明・無回答
全体		57	26.3	68.4	5.3
転入前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	8	0.0	87.5	12.5
	夫婦のみの世帯	2	50.0	50.0	0.0
	子どものいる世帯	34	35.3	61.8	2.9
	親と同居世帯	7	14.3	71.4	14.3
	三世代世帯	5	20.0	80.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0

●転入前の世帯構成別にみると、子どものいる世帯では「なかった」が 61.8%、「あった」が 35.3%となっています。

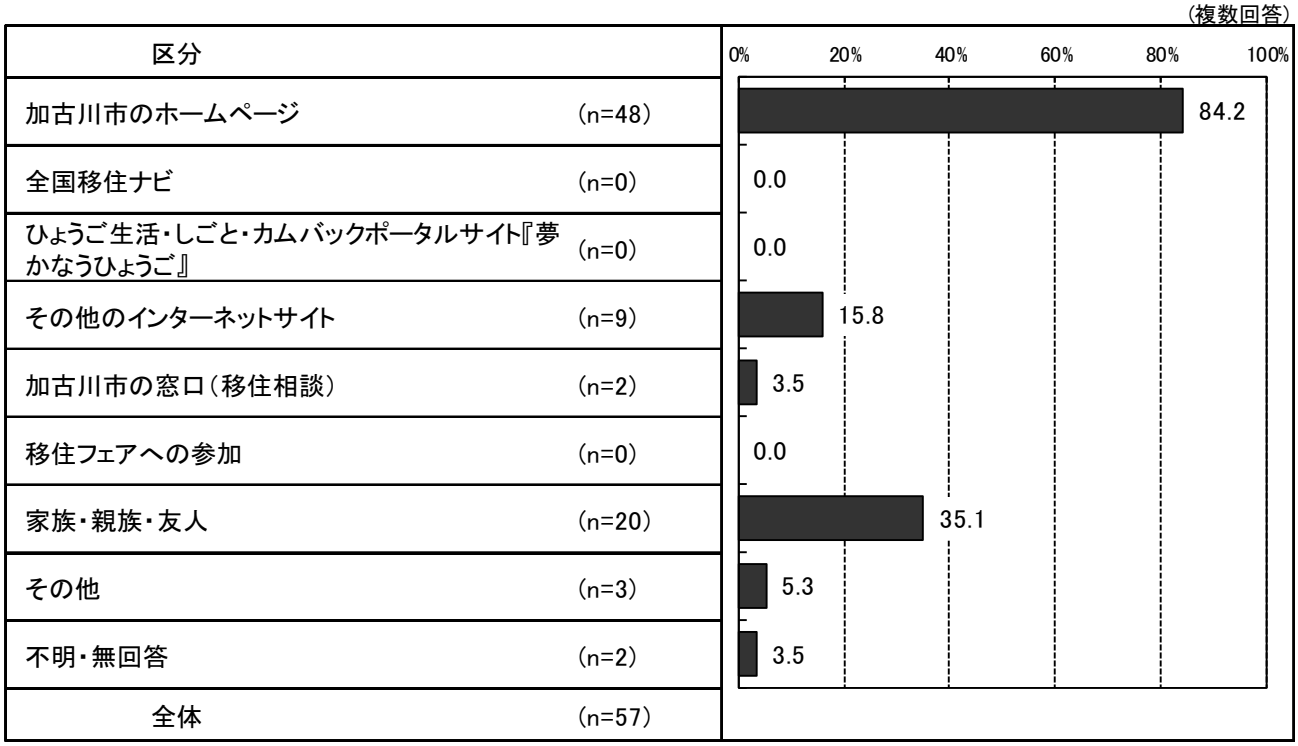
■魅力を感じた行政サービスや事業、取組【自由記述】

○子どもの医療費の助成（無償化）　７件
○見守りカメラ　２件
○子育てプラザが充実している　２件
○子育て支援のセミナー　１件
○乳幼児の予防接種費用の助成　１件
○相談にのってくれる　１件
○母子支援制度　１件
○子育て支援　１件
○ごみ収集方法　１件
○水道料金の安さ　１件

問９で「１．調べた」と答えた方におうかがいします。

問 11　加古川市の行政サービスや事業、取組を調べる際、どのような方法（情報源）で調べましたか。【あてはまるものすべてに○】

（複数回答）



●「加古川市のホームページ」が 84.2%で最も多く、次いで「家族・親族・友人」が 35.1%、「その他のインターネットサイト」が 15.8%となっています。

【転入前の世帯構成別　加古川市のサービス等を調べた情報源】

		(n)	加古川市のホームページ	全国移住ナビ	ひょうご生活・しごと・カムバックポータルサイト『夢かなうひょうご』	その他のインターネットサイト	加古川市の窓口（移住相談）	移住フェアへの参加	家族・親族・友人	その他	不明・無回答
全体		57	84.2	0.0	0.0	15.8	3.5	0.0	35.1	5.3	3.5
転入前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	8	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5
	夫婦のみの世帯	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子どものいる世帯	34	91.2	0.0	0.0	11.8	2.9	0.0	41.2	8.8	0.0
	親と同居世帯	7	57.1	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0	42.9	0.0	14.3
	三世代世帯	5	80.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

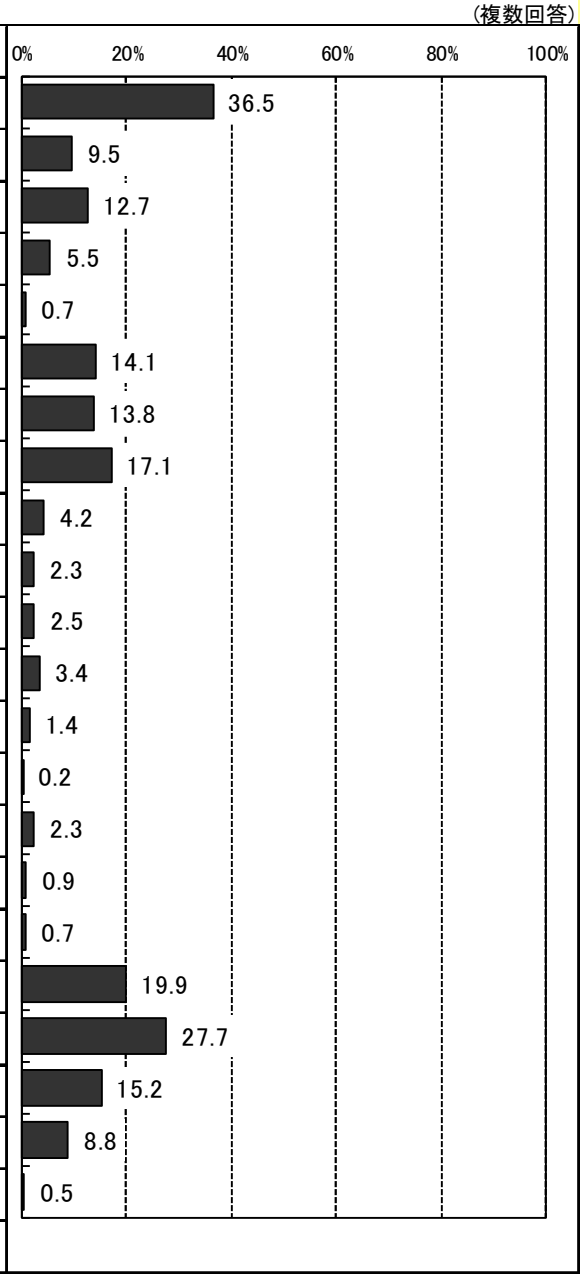
●転入前の世帯構成別にみると、子どものいる世帯は「加古川市のホームページ」が 91.2%で最も多く、次いで「家族・親族・友人」が 41.2%、「その他のインターネットサイト」が 11.8%となっています。

問 12　転入先（引越し先）として加古川市を選んだ際、決め手となったことはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。また、決め手となった理由のうち、最も大きな理由を１つ、回答欄にご記入ください。

■転入先として決め手となった理由

（複数回答）

区分		
通勤・通学の利便性	(n=207)	36.5
バスや電車などの公共交通の利便性	(n=54)	9.5
最寄り駅が近い（駅へのアクセスが良い）	(n=72)	12.7
都心部へのアクセスが良い	(n=31)	5.5
レジャー・娯楽施設が充実している	(n=4)	0.7
買い物等の日常生活の利便性	(n=80)	14.1
住宅条件が良い（広さや周囲の静けさなど）	(n=78)	13.8
家賃・住宅の価格	(n=97)	17.1
まちなみや、まちの雰囲気	(n=24)	4.2
治安	(n=13)	2.3
公園や自然環境	(n=14)	2.5
自然災害が少ない	(n=19)	3.4
医療環境が充実している	(n=8)	1.4
福祉サービスが充実している	(n=1)	0.2
子育て環境が充実している	(n=13)	2.3
小中高校などの教育環境が充実している	(n=5)	0.9
道路や下水道などの都市基盤が整っている	(n=4)	0.7
自分または家族が生まれ育ったところだから	(n=113)	19.9
親族等が住んでいるため	(n=157)	27.7
住宅が用意されていたため（社宅、家族との同居等）	(n=86)	15.2
その他	(n=50)	8.8
不明・無回答	(n=3)	0.5
全体	(n=567)	



●「通勤・通学の利便性」が 36.5％で最も多く、次いで「親族等が住んでいるため」が 27.7％、「自分または家族が生まれ育ったところだから」が 19.9％となっています。

【年齢別　転入先として決め手となった理由】

		(n)	通勤・通学の利便性	バスや電車などの公共交通の利便性	最寄り駅が近い（駅へのアクセスが良い）	都心部へのアクセスが良い	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物等の日常生活の利便性	住宅条件が良い（広さや周囲の静けさなど）	家賃・住宅の価格	まちなみや、まちの雰囲気	治安	公園や自然環境
全体		567	36.5	9.5	12.7	5.5	0.7	14.1	13.8	17.1	4.2	2.3	2.5
年齢別	20～24 歳	85	30.6	14.1	12.9	8.2	0.0	10.6	14.1	12.9	4.7	0.0	0.0
	25～29 歳	128	38.3	7.0	11.7	5.5	1.6	15.6	11.7	18.8	5.5	2.3	1.6
	30～34 歳	160	36.3	8.8	15.6	3.8	0.0	14.4	11.9	11.3	4.4	3.1	2.5
	35～39 歳	109	42.2	11.0	11.0	6.4	0.0	14.7	16.5	26.6	3.7	3.7	3.7
	40 歳以上	78	33.3	9.0	11.5	5.1	2.6	15.4	17.9	19.2	2.6	1.3	5.1

		(n)	自然災害が少ない	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	小中高校などの教育環境が充実している	道路や下水道などの都市基盤が整っている	自分または家族が生まれ育ったところだから	親族等が住んでいるため	住宅が用意されていたため（社宅、家族との同居等）	その他	不明・無回答
全体		567	3.4	1.4	0.2	2.3	0.9	0.7	19.9	27.7	15.2	8.8	0.5
年齢別	20～24 歳	85	2.4	0.0	0.0	1.2	0.0	2.4	15.3	31.8	15.3	12.9	0.0
	25～29 歳	128	3.1	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	18.0	27.3	19.5	3.9	0.0
	30～34 歳	160	1.3	0.6	0.6	1.3	0.6	0.0	23.1	27.5	15.0	8.8	0.6
	35～39 歳	109	4.6	3.7	0.0	1.8	1.8	0.9	22.9	26.6	15.6	7.3	0.0
	40 歳以上	78	7.7	3.8	0.0	5.1	2.6	1.3	16.7	24.4	5.1	15.4	2.6

●年齢別にみると、20～24 歳は「親族等が住んでいるため」、そのほかの年代は「通勤・通学の利便性」が最も多く、20～24 歳は「通勤・通学の利便性」も 30.6%と多くなっています。

●「家賃・住宅の価格」は 35～39 歳で 20%台と、ほかの年代より多くなっています。

●「自分または家族が生まれ育ったところだから」は 30～39 歳の年代で 20%台と、ほかの年代より多くなっています。

【性別　転入先として決め手となった理由】

		(n)	通勤・通学の利便性	バスや電車などの公共交通の利便性	最寄り駅が近い（駅へのアクセスが良い）	都心部へのアクセスが良い	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物等の日常生活の利便性	住宅条件が良い（広さや周囲の静けさなど）	家賃・住宅の価格	まちなみや、まちの雰囲気	治安	公園や自然環境
全体		567	36.5	9.5	12.7	5.5	0.7	14.1	13.8	17.1	4.2	2.3	2.5
性別	男性	287	39.7	10.1	15.3	6.6	0.7	15.0	15.3	21.3	3.8	2.1	2.4
	女性	265	32.8	9.4	10.2	4.5	0.8	14.0	12.8	13.6	4.9	2.6	2.6
	答えたくない	4	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		(n)	自然災害が少ない	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	小中高校などの教育環境が充実している	道路や下水道などの都市基盤が整っている	自分または家族が生まれ育ったところだから	親族等が住んでいるため	住宅が用意されていたため（社宅、家族との同居等）	その他	不明・無回答
全体		567	3.4	1.4	0.2	2.3	0.9	0.7	19.9	27.7	15.2	8.8	0.5
性別	男性	287	2.4	1.4	0.3	2.8	1.0	0.0	18.1	23.3	13.9	9.8	1.0
	女性	265	4.5	1.5	0.0	1.9	0.8	1.5	22.3	32.8	15.8	7.2	0.0
	答えたくない	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0

●性別にみると、男性は「通勤・通学の利便性」、女性は「通勤・通学の利便性」「親族等が住んでいるため」が最も多くなっています。

【転入前の世帯構成別　転入先として決め手となった理由】

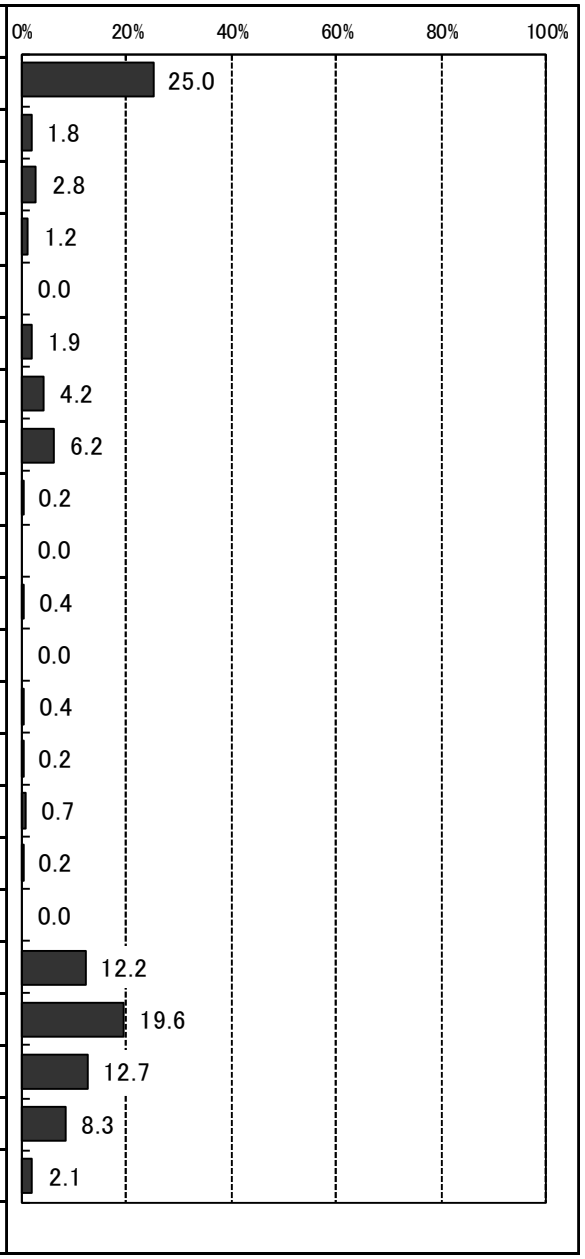
		(n)	通勤・通学の利便性	バスや電車などの公共交通の利便性	最寄り駅が近い（駅へのアクセスが良い）	都心部へのアクセスが良い	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物等の日常生活の利便性	住宅条件が良い（広さや周囲の静けさなど）	家賃・住宅の価格	まちなみや、まちの雰囲気	治安	公園や自然環境
全体		567	36.5	9.5	12.7	5.5	0.7	14.1	13.8	17.1	4.2	2.3	2.5
転入前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	185	37.8	11.4	15.1	7.6	1.1	16.2	9.7	10.3	4.9	2.2	2.2
	夫婦のみの世帯	60	36.7	6.7	10.0	6.7	1.7	15.0	21.7	23.3	8.3	6.7	5.0
	子どものいる世帯	123	28.5	7.3	9.8	2.4	0.0	10.6	17.1	18.7	4.1	0.8	4.1
	親と同居世帯	134	44.8	8.2	14.9	3.0	0.7	15.7	12.7	19.4	2.2	1.5	0.7
	三世代世帯	43	27.9	11.6	9.3	9.3	0.0	7.0	14.0	20.9	2.3	4.7	2.3
	その他の世帯	16	37.5	25.0	12.5	12.5	0.0	25.0	18.8	37.5	6.3	0.0	0.0

		(n)	自然災害が少ない	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	小中高校などの教育環境が充実している	道路や下水道などの都市基盤が整っている	自分または家族が生まれ育ったところだから	親族等が住んでいるため	住宅が用意されていたため（社宅、家族との同居等）	その他	不明・無回答
全体		567	3.4	1.4	0.2	2.3	0.9	0.7	19.9	27.7	15.2	8.8	0.5
転入前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	185	3.2	2.2	0.5	1.6	0.5	0.5	22.7	29.7	16.8	9.2	0.0
	夫婦のみの世帯	60	6.7	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	21.7	33.3	8.3	10.0	1.7
	子どものいる世帯	123	4.1	2.4	0.0	5.7	3.3	0.8	27.6	40.7	9.8	6.5	0.8
	親と同居世帯	134	1.5	0.0	0.0	1.5	0.0	0.7	9.7	15.7	18.7	7.5	0.7
	三世代世帯	43	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	7.0	9.3	18.6	20.9	0.0
	その他の世帯	16	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	43.8	25.0	12.5	0.0	0.0

●転入前の世帯構成別にみると、子どものいる世帯は「親族等が住んでいるため」、その他の世帯は「自分または家族が生まれ育ったところだから」、ほかの世帯は「通勤・通学の利便性」が最も多くなっています。

■転入先として決め手となった最も大きな理由

区分		
通勤・通学の利便性	(n=142)	25.0
バスや電車などの公共交通の利便性	(n=10)	1.8
最寄り駅が近い(駅へのアクセスが良い)	(n=16)	2.8
都心部へのアクセスが良い	(n=7)	1.2
レジャー・娯楽施設が充実している	(n=0)	0.0
買い物等の日常生活の利便性	(n=11)	1.9
住宅条件が良い(広さや周囲の静けさなど)	(n=24)	4.2
家賃・住宅の価格	(n=35)	6.2
まちなみや、まちの雰囲気	(n=1)	0.2
治安	(n=0)	0.0
公園や自然環境	(n=2)	0.4
自然災害が少ない	(n=0)	0.0
医療環境が充実している	(n=2)	0.4
福祉サービスが充実している	(n=1)	0.2
子育て環境が充実している	(n=4)	0.7
小中高校などの教育環境が充実している	(n=1)	0.2
道路や下水道などの都市基盤が整っている	(n=0)	0.0
自分または家族が生まれ育ったところだから	(n=69)	12.2
親族等が住んでいるため	(n=111)	19.6
住宅が用意されていたため(社宅、家族との同居等)	(n=72)	12.7
その他	(n=47)	8.3
不明・無回答	(n=12)	2.1
全体	(n=567)	



●「通勤・通学の利便性」が 25.0%で最も多く、次いで「親族等が住んでいるため」が 19.6%、「住宅が用意されていたため（社宅、家族との同居等）」が 12.7%となっています。

【年齢別　転入先として決め手となった最も大きな理由】

		(n)	通勤・通学の利便性	バスや電車などの公共交通の利便性	最寄り駅が近い（駅へのアクセスが良い）	都心部へのアクセスが良い	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物等の日常生活の利便性	住宅条件が良い（広さや周囲の静けさなど）	家賃・住宅の価格	まちなみや、まちの雰囲気	治安	公園や自然環境
全体		567	25.0	1.8	2.8	1.2	0.0	1.9	4.2	6.2	0.2	0.0	0.4
年齢別	20～24 歳	85	24.7	3.5	2.4	1.2	0.0	2.4	3.5	3.5	1.2	0.0	0.0
	25～29 歳	128	26.6	0.8	3.9	2.3	0.0	2.3	5.5	4.7	0.0	0.0	0.0
	30～34 歳	160	25.0	1.9	3.8	1.3	0.0	1.3	3.1	5.6	0.0	0.0	0.6
	35～39 歳	109	27.5	0.0	1.8	0.9	0.0	1.8	2.8	8.3	0.0	0.0	0.9
	40 歳以上	78	19.2	3.8	1.3	0.0	0.0	2.6	7.7	10.3	0.0	0.0	0.0

		(n)	自然災害が少ない	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	小中高校などの教育環境が充実している	道路や下水道などの都市基盤が整っている	自分または家族が生まれ育ったところだから	親族等が住んでいるため	住宅が用意されていたため（社宅、家族との同居等）	その他	不明・無回答
全体		567	0.0	0.4	0.2	0.7	0.2	0.0	12.2	19.6	12.7	8.3	2.1
年齢別	20～24 歳	85	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	9.4	22.4	12.9	11.8	0.0
	25～29 歳	128	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	11.7	19.5	15.6	3.9	2.3
	30～34 歳	160	0.0	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	14.4	18.1	13.1	7.5	3.1
	35～39 歳	109	0.0	0.0	0.0	1.8	0.9	0.0	11.9	19.3	12.8	7.3	1.8
	40 歳以上	78	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3	20.5	5.1	15.4	2.6

●年齢別にみると、40 歳以上は「親族等が住んでいるため」、そのほかの年代は「通勤・通学の利便性」が最も多くなっています。また、「親族等が住んでいるため」は 20～24 歳においても 20%台となっています。

【性別　転入先として決め手となった最も大きな理由】

		(n)	通勤・通学の利便性	バスや電車などの公共交通の利便性	最寄り駅が近い（駅へのアクセスが良い）	都心部へのアクセスが良い	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物等の日常生活の利便性	住宅条件が良い（広さや周囲の静けさなど）	家賃・住宅の価格	まちなみや、まちの雰囲気	治安	公園や自然環境
全体		567	25.0	1.8	2.8	1.2	0.0	1.9	4.2	6.2	0.2	0.0	0.4
性別	男性	287	28.2	0.3	3.1	1.0	0.0	2.1	5.2	7.3	0.3	0.0	0.3
	女性	265	21.1	3.4	2.3	1.5	0.0	1.9	3.4	5.3	0.0	0.0	0.4
	答えたくない	4	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		(n)	自然災害が少ない	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	小中高校などの教育環境が充実している	道路や下水道などの都市基盤が整っている	自分または家族が生まれ育ったところだから	親族等が住んでいるため	住宅が用意されていたため（社宅、家族との同居等）	その他	不明・無回答
全体		567	0.0	0.4	0.2	0.7	0.2	0.0	12.2	19.6	12.7	8.3	2.1
性別	男性	287	0.0	0.3	0.3	1.0	0.3	0.0	10.5	16.0	11.1	8.7	3.5
	女性	265	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	14.0	24.2	14.0	7.2	0.8
	答えたくない	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0

●性別にみると、男性は「通勤・通学の利便性」、女性は「親族等が住んでいるため」が最も多くなっています。

【転入前の世帯構成別　転入先として決め手となった最も大きな理由】

		(n)	通勤・通学の利便性	バスや電車などの公共交通の利便性	最寄り駅が近い（駅へのアクセスが良い）	都心部へのアクセスが良い	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物等の日常生活の利便性	住宅条件が良い（広さや周囲の静けさなど）	家賃・住宅の価格	まちなみや、まちの雰囲気	治安	公園や自然環境
全体		567	25.0	1.8	2.8	1.2	0.0	1.9	4.2	6.2	0.2	0.0	0.4
転入前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	185	25.4	1.1	2.2	1.6	0.0	2.7	3.2	2.2	0.0	0.0	0.0
	夫婦のみの世帯	60	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	3.3	13.3	0.0	0.0	1.7
	子どものいる世帯	123	16.3	0.0	3.3	0.0	0.0	0.8	5.7	7.3	0.8	0.0	0.0
	親と同居世帯	134	32.1	5.2	5.2	0.7	0.0	3.0	5.2	3.7	0.0	0.0	0.7
	三世代世帯	43	25.6	0.0	2.3	7.0	0.0	0.0	4.7	11.6	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	16	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0

		(n)	自然災害が少ない	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	小中高校などの教育環境が充実している	道路や下水道などの都市基盤が整っている	自分または家族が生まれ育ったところだから	親族等が住んでいるため	住宅が用意されていたため（社宅、家族との同居等）	その他	不明・無回答
全体		567	0.0	0.4	0.2	0.7	0.2	0.0	12.2	19.6	12.7	8.3	2.1
転入前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	185	0.0	0.0	0.5	0.5	0.0	0.0	13.5	21.6	13.5	8.6	3.2
	夫婦のみの世帯	60	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	21.7	6.7	6.7	3.3
	子どものいる世帯	123	0.0	0.8	0.0	2.4	0.8	0.0	16.3	30.1	7.3	6.5	1.6
	親と同居世帯	134	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	11.9	17.2	7.5	0.7
	三世代世帯	43	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	4.7	16.3	20.9	2.3
	その他の世帯	16	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	12.5	12.5	0.0	0.0

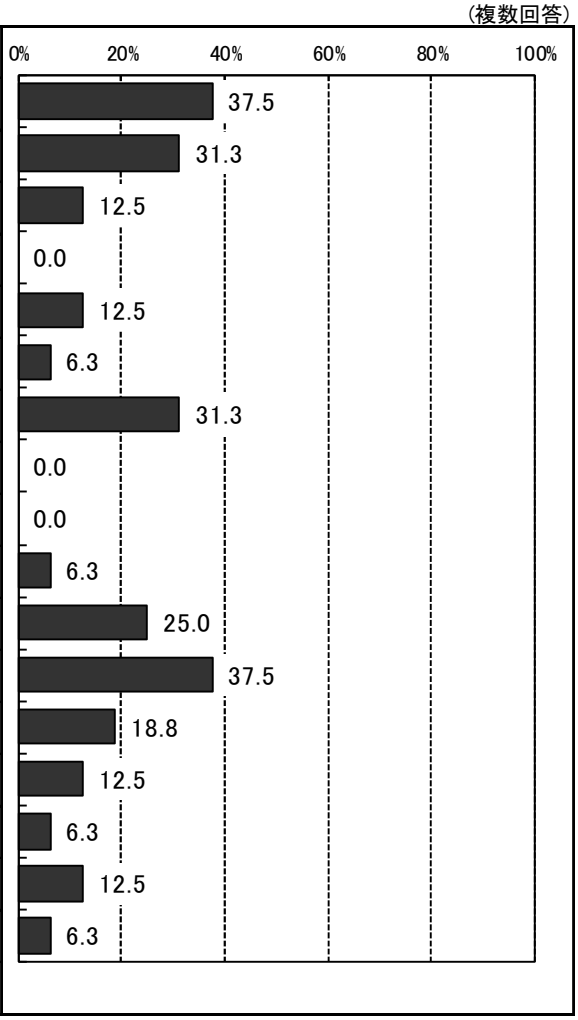
●転入前の世帯構成別にみると、子どものいる世帯は「親族等が住んでいるため」、その他の世帯は「自分または家族が生まれ育ったところだから」、ほかの世帯は「通勤・通学の利便性」が最も多くなっています。

問 12 で「15. 子育て環境が充実している」「16. 小中高校などの教育環境が充実している」と答えた方におうかがいします。

問 13　加古川市の子育て環境や教育環境が良いと思ったのは、どのような点ですか。
【あてはまるものすべてに〇】

（複数回答）

区分		
子育てにかかる費用負担の支援が充実している（手厚い）	(n=6)	37.5
保育所（園）に入りやすい	(n=5)	31.3
保育料が安い	(n=2)	12.5
保育サービスが充実している	(n=0)	0.0
幼稚園が充実している	(n=2)	12.5
放課後児童クラブ（学童保育）に入りやすい	(n=1)	6.3
市立小中学校が近い	(n=5)	31.3
市立小中学校の教育水準が高い	(n=0)	0.0
国立・私立の学校に通学しやすい	(n=0)	0.0
習い事や学習塾が多い（通いやすい）	(n=1)	6.3
自然環境が良い	(n=4)	25.0
公園などの遊び場が多い	(n=6)	37.5
図書館・スポーツ施設などが充実している	(n=3)	18.8
小児医療が充実している	(n=2)	12.5
産前産後のケアが充実している	(n=1)	6.3
その他	(n=2)	12.5
不明・無回答	(n=1)	6.3
全体	(n=16)	



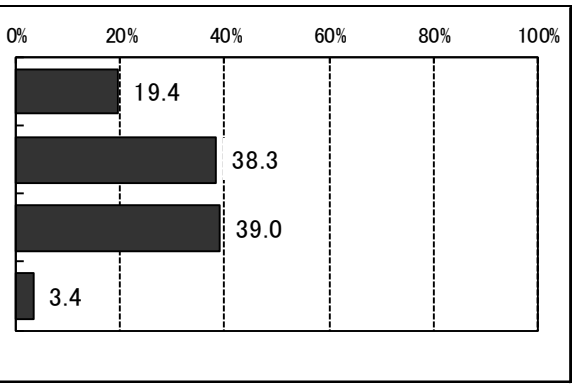
●「子育てにかかる費用負担の支援が充実している（手厚い）」と「公園などの遊び場が多い」が、ともに 37.5%で最も多く、次いで「保育所（園）に入りやすい」と「市立小中学校が近い」が、ともに 31.3%、「自然環境が良い」が 25.0%となっています。

■「幼稚園が充実している」と答えた人の具体的な意見

〇公立の幼稚園と小学校の連携がとれていると感じた　１件

問 14　転入先（引越し先）を選ぶにあたり、加古川市以外も検討されましたか。【１つに○】

区分		
住むなら加古川市と決めていた（ほかの市区町村は検討していない）	(n=110)	19.4
ほかの市区町村も検討した（探した）が、加古川市に決めた	(n=217)	38.3
加古川市に住むしかなかった	(n=221)	39.0
不明・無回答	(n=19)	3.4
全体	(n=567)	



●「加古川市に住むしかなかった」が 39.0%で最も多く、次いで「ほかの市区町村も検討した（探した）が、加古川市に決めた」が 38.3%、「住むなら加古川市と決めていた（ほかの市区町村は検討していない)」が 19.4%となっています。

【年齢別・性別・転入前の世帯構成別・現在の世帯構成別　転入先として加古川市以外の検討状況】

		(n)	住むなら加古川市と決めていた（ほかの市区町村は検討していない）	ほかの市区町村も検討した（探した）が、加古川市に決めた	加古川市に住むしかなかった	不明・無回答
全体		567	19.4	38.3	39.0	3.4
年齢別	20～24 歳	85	17.6	30.6	43.5	8.2
	25～29 歳	128	18.0	35.2	43.8	3.1
	30～34 歳	160	20.0	37.5	41.3	1.3
	35～39 歳	109	20.2	41.3	36.7	1.8
	40 歳以上	78	23.1	48.7	23.1	5.1
性別	男性	287	17.4	41.1	38.3	3.1
	女性	265	22.6	34.7	38.9	3.8
	答えたくない	4	0.0	50.0	50.0	0.0
転入前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	185	21.6	31.4	43.2	3.8
	夫婦のみの世帯	60	33.3	40.0	23.3	3.3
	子どものいる世帯	123	23.6	38.2	35.0	3.3
	親と同居世帯	134	10.4	43.3	43.3	3.0
	三世代世帯	43	14.0	44.2	39.5	2.3
	その他の世帯	16	6.3	56.3	31.3	6.3
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	101	16.8	43.6	32.7	6.9
	夫婦のみの世帯	116	15.5	42.2	39.7	2.6
	子どものいる世帯	208	23.1	41.8	32.7	2.4
	親と同居世帯	78	25.6	23.1	46.2	5.1
	三世代世帯	32	18.8	18.8	62.5	0.0
	その他の世帯	24	4.2	37.5	58.3	0.0

●年齢別にみると、20～34 歳の年代は「加古川市に住むしかなかった」、35 歳以上の年代は「ほかの市区町村も検討した（探した）が、加古川市に決めた」が最も多くなっています。

●性別にみると、男性は「ほかの市区町村も検討した（探した）が、加古川市に決めた」、女性は「加古川市に住むしかなかった」が最も多くなっています。

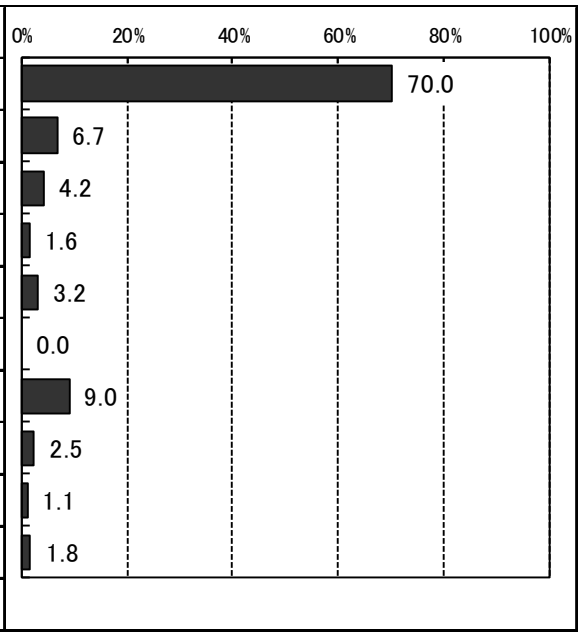
●転入前の世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯は「加古川市に住むしかなかった」、親と同居世帯は「ほかの市区町村も検討した（探した）が、加古川市に決めた」「加古川市に住むしかなかった」、ほかの世帯は「ほかの市区町村も検討した（探した）が、加古川市に決めた」が最も多くなっています。また、「住むなら加古川市と決めていた（ほかの市区町村は検討していない）」は夫婦のみの世帯のみ 30%台となっています。

●現在（転入後）の世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯・夫婦のみの世帯・子どものいる世帯は「ほかの市区町村も検討した（探した）が、加古川市に決めた」、ほかの世帯は「加古川市に住むしかなかった」が最も多くなっています。

Ⅲ　仕事について

問 15　現在のあなたの職業をお答えください。【１つに○】

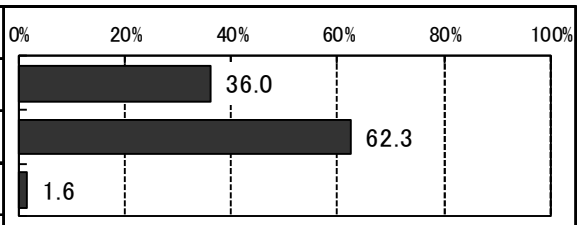
区分		
会社員・公務員	(n=397)	70.0
パート・アルバイト	(n=38)	6.7
派遣・嘱託・契約社員	(n=24)	4.2
学生（予備校生を含む）	(n=9)	1.6
自営業・会社経営	(n=18)	3.2
家族従業者	(n=0)	0.0
専業主婦・主夫	(n=51)	9.0
無職（年金生活者を含む）	(n=14)	2.5
その他	(n=6)	1.1
不明・無回答	(n=10)	1.8
全体	(n=567)	



●「会社員・公務員」が 70.0%で最も多く、次いで「専業主婦・主夫」が 9.0%、「パート・アルバイト」が 6.7%となっています。

■通勤・通学先

区分		
加古川市内	(n=175)	36.0
加古川市外	(n=303)	62.3
不明・無回答	(n=8)	1.6
全体	(n=486)	



●「加古川市外」が 62.3%、「加古川市内」が 36.0%となっています。

【転入前の世帯構成別・現在の世帯構成別　通勤・通学先】

		(n)	加古川市内	加古川市外	不明・無回答
全体		486	36.0	62.3	1.6
転入前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	161	28.6	70.8	0.6
	夫婦のみの世帯	53	32.1	66.0	1.9
	子どものいる世帯	99	46.5	50.5	3.0
	親と同居世帯	113	42.5	54.9	2.7
	三世代世帯	41	26.8	73.2	0.0
	その他の世帯	13	30.8	69.2	0.0
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	93	43.0	54.8	2.2
	夫婦のみの世帯	104	31.7	67.3	1.0
	子どものいる世帯	169	37.9	59.8	2.4
	親と同居世帯	69	26.1	72.5	1.4
	三世代世帯	22	22.7	77.3	0.0
	その他の世帯	21	57.1	42.9	0.0

●転入前の世帯構成別にみると、世帯構成に関わらず「加古川市外」が最も多くなっています。「加古川市内」は子どものいる世帯・親と同居世帯で 40%台と、ほかの世帯より多くなっています。

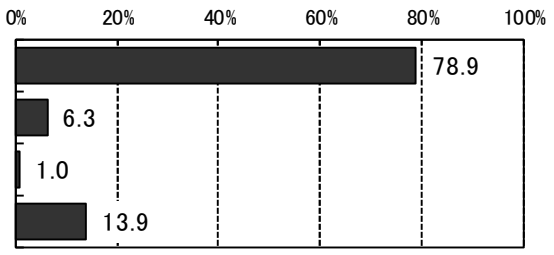
●現在（転入後）の世帯構成別にみると、その他の世帯は「加古川市内」、ほかの世帯は「加古川市外」が最も多くなっています。

●転入前と現在（転入後）を比べると、「加古川市内」はひとり暮らし世帯は転入前より現在（転入後）のほうが 10 ポイント以上多く、親と同居世帯は転入前より現在（転入後）のほうが 10 ポイント以上少なくなっています。

■「加古川市外」と答えた人の通勤・通学先の都道府県

（複数回答）

区分	
兵庫県内	（n=239）
大阪府内	（n=19）
その他	（n=3）
不明・無回答	（n=42）
全体	（n=303）



●「兵庫県内」が 78.9%で最も多く、次いで「大阪府内」が 6.3%、「その他」が 1.0%となっています。

【転入前の世帯構成別　通勤・通学先の都道府県】

		(n)	兵庫県内	大阪府内	その他	不明・無回答
全体		303	78.9	6.3	1.0	13.9
転入前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	114	80.7	6.1	1.8	11.4
	夫婦のみの世帯	35	82.9	0.0	0.0	17.1
	子どものいる世帯	50	84.0	8.0	2.0	6.0
	親と同居世帯	62	77.4	3.2	0.0	19.4
	三世代世帯	30	66.7	20.0	0.0	13.3
	その他の世帯	9	66.7	0.0	0.0	33.3

●転入前の世帯構成別にみると、世帯構成に関わらず「兵庫県内」が最も多くなっています。「大阪府内」は三世代世帯のみ 20.0%と、ほかの世帯より多くなっています。

■通勤・通学先の市町（兵庫県内）

区分		
神戸市	(n=66)	27.6
姫路市	(n=36)	15.1
尼崎市	(n=5)	2.1
明石市	(n=30)	12.6
西宮市	(n=5)	2.1
洲本市	(n=0)	0.0
芦屋市	(n=0)	0.0
伊丹市	(n=0)	0.0
相生市	(n=1)	0.4
豊岡市	(n=0)	0.0
赤穂市	(n=1)	0.4
西脇市	(n=1)	0.4
宝塚市	(n=1)	0.4
三木市	(n=4)	1.7
高砂市	(n=39)	16.3
川西市	(n=0)	0.0
小野市	(n=5)	2.1
三田市	(n=0)	0.0
加西市	(n=17)	7.1
丹波篠山市	(n=0)	0.0
養父市	(n=0)	0.0

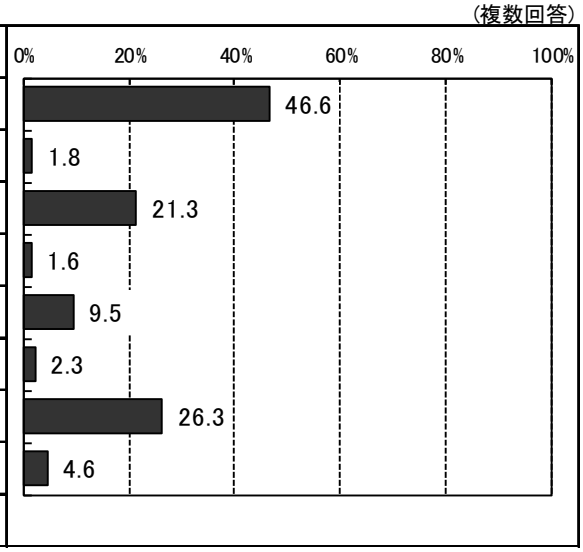
区分		
丹波市	(n=0)	0.0
南あわじ市	(n=0)	0.0
朝来市	(n=0)	0.0
淡路市	(n=0)	0.0
宍粟市	(n=0)	0.0
加東市	(n=3)	1.3
たつの市	(n=0)	0.0
猪名川町	(n=0)	0.0
多可町	(n=1)	0.4
稲美町	(n=7)	2.9
播磨町	(n=14)	5.9
市川町	(n=0)	0.0
福崎町	(n=0)	0.0
神河町	(n=0)	0.0
太子町	(n=1)	0.4
上郡町	(n=0)	0.0
佐用町	(n=0)	0.0
香美町	(n=0)	0.0
新温泉町	(n=0)	0.0
不明・無回答	(n=2)	0.8
全体	(n=239)	

●「神戸市」が 27.6%で最も多く、次いで「高砂市」が 16.3%、「姫路市」が 15.1%となっています。

問 16　あなたの家庭で働いている方はいますか。【あてはまるものすべてに〇】
　　また、働いている方の就業場所をお答えください。【あてはまるものそれぞれ１つに〇】

■家族の就労状況

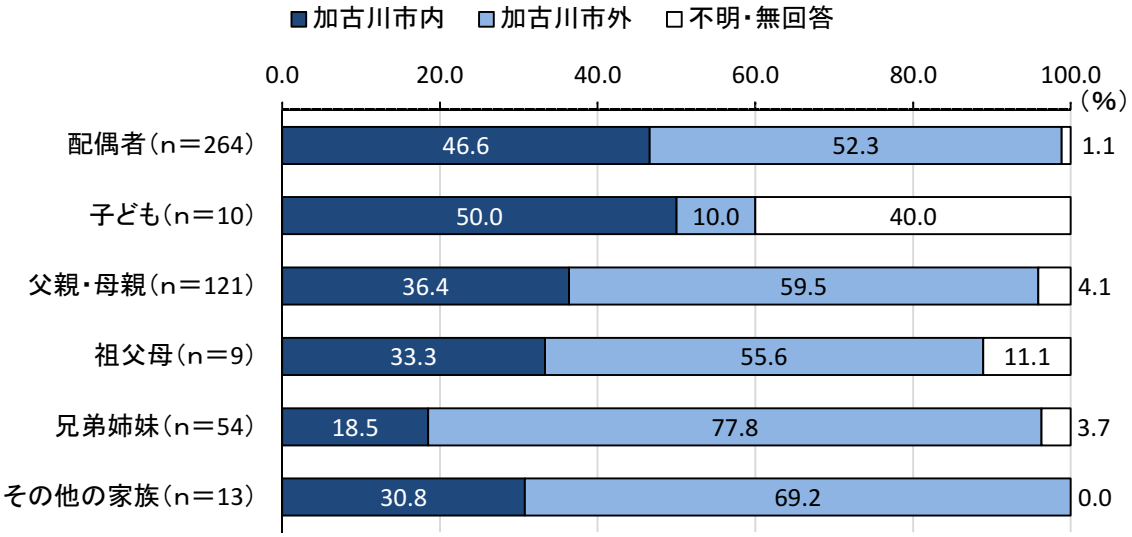
（複数回答）



区分	
配偶者（夫・妻）	（n=264）
子ども	（n=10）
父親・母親	（n=121）
祖父母	（n=9）
兄弟姉妹	（n=54）
その他	（n=13）
働いている人はいない	（n=149）
不明・無回答	（n=26）
全体	（n=567）

●「配偶者（夫・妻）」が 46.6%で最も多く、次いで「働いている人はいない」が 26.3%、「父親・母親」が 21.3%となっています。

■働いている人の就業場所



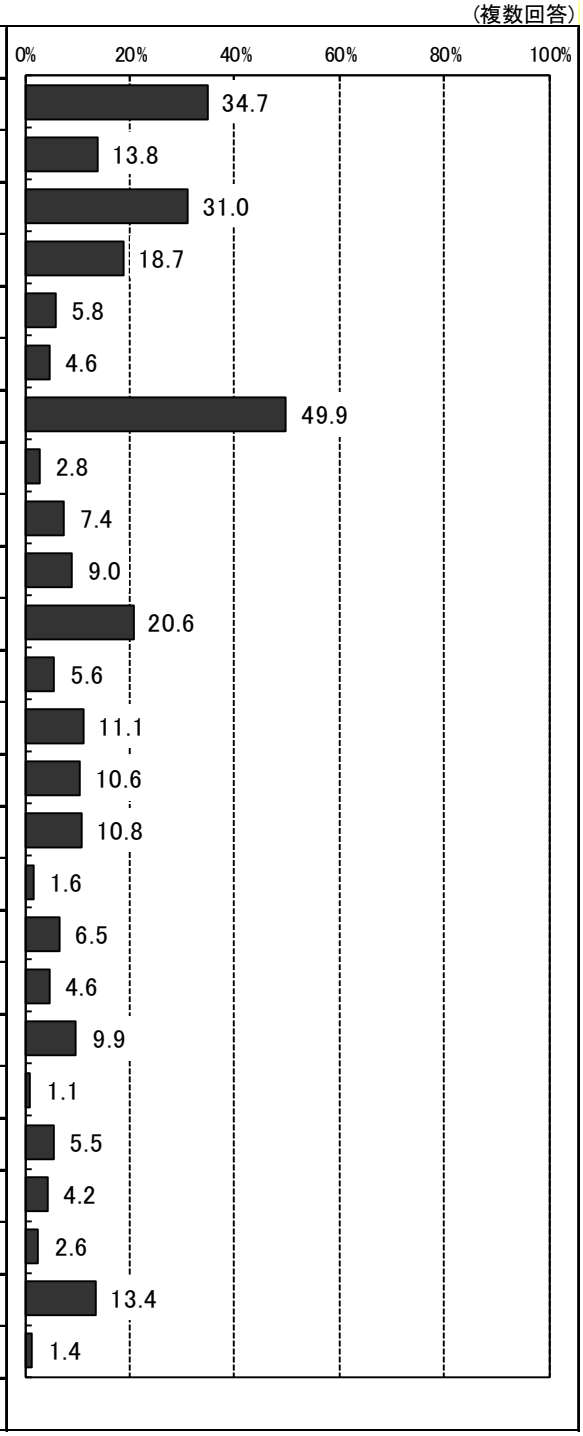
●働いている人の就業場所について、子どもは「加古川市内」、そのほかの人は「加古川市外」がそれぞれ最も多くなっています。

Ⅳ　加古川市での生活について

問 17　加古川市に住んでみて良かった点はどのようなことですか。【あてはまるものすべてに○】

（複数回答）

区分		
通勤・通学が便利	(n=197)	34.7
バスや電車など市内公共交通が便利	(n=78)	13.8
最寄り駅が近い（駅へのアクセスが良い）	(n=176)	31.0
都心部へのアクセスが良い	(n=106)	18.7
駅前がにぎわっている	(n=33)	5.8
レジャー・娯楽施設が充実している	(n=26)	4.6
買い物などの日常生活が便利	(n=283)	49.9
地域活動が盛んである	(n=16)	2.8
近所づきあい・人間関係が良い	(n=42)	7.4
物価が安い	(n=51)	9.0
住宅価格・家賃が適当	(n=117)	20.6
まちのイメージが良い	(n=32)	5.6
まちが安全・安心である	(n=63)	11.1
自然環境が良い	(n=60)	10.6
医療環境が充実している	(n=61)	10.8
福祉サービスが充実している	(n=9)	1.6
子育て環境が充実している	(n=37)	6.5
子育てにかかる費用負担の支援が手厚い	(n=26)	4.6
小中学校に通いやすい	(n=56)	9.9
小中学校の教育水準が高い	(n=6)	1.1
道路などの都市基盤が整備されている	(n=31)	5.5
道路や公園の美化など生活環境が良い	(n=24)	4.2
その他	(n=15)	2.6
特にない	(n=76)	13.4
不明・無回答	(n=8)	1.4
全体	(n=567)	



●「買い物などの日常生活が便利」が 49.9%で最も多く、次いで「通勤・通学が便利」が 34.7%、「最寄り駅が近い（駅へのアクセスが良い）」が 31.0%となっています。

【年齢別　加古川市に住んでよかった点】

		(n)	通勤・通学が便利	バスや電車など市内公共交通が便利	最寄り駅が近い(駅へのアクセスが良い)	都心部へのアクセスが良い	駅前がにぎわっている	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物などの日常生活が便利	地域活動が盛んである	近所づきあい・人間関係が良い	物価が安い	住宅価格・家賃が適当	まちのイメージが良い	まちが安全・安心である
全体		567	34.7	13.8	31.0	18.7	5.8	4.6	49.9	2.8	7.4	9.0	20.6	5.6	11.1
年齢別	20～24 歳	85	30.6	22.4	32.9	24.7	14.1	5.9	44.7	3.5	7.1	14.1	18.8	3.5	7.1
	25～29 歳	128	32.0	13.3	32.8	18.8	3.9	7.0	53.9	1.6	3.9	5.5	22.7	7.0	8.6
	30～34 歳	160	38.8	11.9	30.6	20.6	4.4	3.1	53.1	1.9	5.0	5.6	18.1	7.5	13.1
	35～39 歳	109	33.9	9.2	26.6	12.8	4.6	3.7	48.6	4.6	12.8	13.8	24.8	4.6	11.9
	40 歳以上	78	33.3	12.8	33.3	16.7	3.8	2.6	43.6	2.6	10.3	7.7	19.2	2.6	14.1

		(n)	自然環境が良い	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	子育てにかかる費用負担の支援が手厚い	小中学校に通いやすい	小中学校の教育水準が高い	道路などの都市基盤が整備されている	道路や公園の美化など生活環境が良い	その他	特にない	不明・無回答
全体		567	10.6	10.8	1.6	6.5	4.6	9.9	1.1	5.5	4.2	2.6	13.4	1.4
年齢別	20～24 歳	85	10.6	14.1	1.2	4.7	5.9	8.2	0.0	5.9	2.4	2.4	10.6	1.2
	25～29 歳	128	7.8	10.2	0.0	7.0	2.3	3.1	0.8	6.3	3.1	2.3	13.3	2.3
	30～34 歳	160	8.1	10.0	2.5	8.1	6.3	13.1	1.3	5.6	4.4	1.9	12.5	0.6
	35～39 歳	109	18.3	11.0	1.8	6.4	3.7	12.8	1.8	4.6	7.3	3.7	17.4	0.9
	40 歳以上	78	9.0	9.0	2.6	3.8	5.1	11.5	1.3	3.8	2.6	3.8	11.5	2.6

●年齢別にみると、どの年代も「買い物などの日常生活が便利」が最も多く、２番目・３番目に「通勤・通学が便利」「最寄り駅が近い（駅へのアクセスが良い)」が続いています。

●「バスや電車など市内公共交通が便利」は 20～24 歳のみ 20%台と、ほかの年代より多くなっています。

【現在（転入後）の世帯構成別　加古川市に住んでよかった点】

		(n)	通勤・通学が便利	バスや電車など市内公共交通が便利	最寄り駅が近い（駅へのアクセスが良い）	都心部へのアクセスが良い	駅前がにぎわっている	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物などの日常生活が便利	地域活動が盛んである	近所づきあい・人間関係が良い	物価が安い	住宅価格・家賃が適当	まちのイメージが良い	まちが安全・安心である
全体		567	34.7	13.8	31.0	18.7	5.8	4.6	49.9	2.8	7.4	9.0	20.6	5.6	11.1
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	101	49.5	18.8	38.6	23.8	12.9	5.0	43.6	4.0	3.0	11.9	31.7	4.0	9.9
	夫婦のみの世帯	116	44.0	14.7	31.0	19.0	3.4	4.3	56.0	2.6	3.4	8.6	25.9	6.0	12.1
	子どものいる世帯	208	29.3	11.1	29.3	16.3	4.3	5.3	51.9	3.4	12.0	8.2	21.2	5.8	10.1
	親と同居世帯	78	21.8	11.5	32.1	19.2	2.6	5.1	42.3	0.0	6.4	7.7	9.0	2.6	9.0
	三世代世帯	32	18.8	12.5	18.8	3.1	3.1	0.0	40.6	0.0	6.3	3.1	0.0	12.5	18.8
	その他の世帯	24	29.2	12.5	29.2	37.5	12.5	0.0	62.5	4.2	8.3	12.5	12.5	8.3	16.7

		(n)	自然環境が良い	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	子育てにかかる費用負担の支援が手厚い	小中学校に通いやすい	小中学校の教育水準が高い	道路などの都市基盤が整備されている	道路や公園の美化など生活環境が良い	その他	特にない	不明・無回答
全体		567	10.6	10.8	1.6	6.5	4.6	9.9	1.1	5.5	4.2	2.6	13.4	1.4
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	101	8.9	6.9	2.0	1.0	0.0	2.0	1.0	8.9	2.0	1.0	9.9	3.0
	夫婦のみの世帯	116	8.6	12.1	2.6	3.4	1.7	2.6	0.0	3.4	6.9	5.2	9.5	0.9
	子どものいる世帯	208	10.6	11.5	1.0	12.5	10.1	20.7	1.4	5.8	5.3	2.9	12.5	1.4
	親と同居世帯	78	9.0	10.3	1.3	0.0	1.3	5.1	1.3	2.6	0.0	1.3	21.8	1.3
	三世代世帯	32	25.0	15.6	0.0	12.5	6.3	6.3	3.1	3.1	3.1	0.0	18.8	0.0
	その他の世帯	24	12.5	8.3	4.2	4.2	0.0	4.2	0.0	8.3	4.2	4.2	16.7	0.0

●現在の世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯は「通勤・通学が便利」、ほかの世帯は「買い物などの日常生活が便利」が最も多くなっています。

●「通勤・通学が便利」はひとり暮らし世帯・夫婦のみの世帯で40%台と、ほかの世帯より多くなっています。

●「住宅価格・家賃が適当」はひとり暮らし世帯で30%台、夫婦のみの世帯・子どものいる世帯で20%台と、ほかの世帯より多くなっています。

●「自然環境が良い」は三世代世帯のみ20%台と、ほかの世帯より多くなっています。

●「子育てにかかる費用負担の支援が手厚い」は子どものいる世帯のみ10%台となっています。

●「小中学校に通いやすい」は子どものいる世帯のみ20%台となっています。

【転入前の県下地域別　加古川市に住んでよかった点】※n 数が 10 件以下は分析の対象外

		(n)	通勤・通学が便利	バスや電車など市内公共交通が便利	最寄り駅が近い（駅へのアクセスが良い）	都心部へのアクセスが良い	駅前がにぎわっている	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物などの日常生活が便利	地域活動が盛んである	近所づきあい・人間関係が良い	物価が安い	住宅価格・家賃が適当	まちのイメージが良い	まちが安全・安心である
全体		567	34.7	13.8	31.0	18.7	5.8	4.6	49.9	2.8	7.4	9.0	20.6	5.6	11.1
転入前の県下地域別	神戸地域	84	31.0	10.7	34.5	16.7	4.8	8.3	44.0	6.0	4.8	9.5	35.7	13.1	10.7
	阪神南地域	21	33.3	4.8	19.0	23.8	0.0	4.8	47.6	0.0	9.5	19.0	33.3	14.3	19.0
	阪神北地域	10	20.0	10.0	40.0	10.0	0.0	0.0	30.0	0.0	20.0	0.0	10.0	10.0	30.0
	東播磨地域	158	36.7	13.9	29.7	14.6	5.1	3.2	53.8	1.3	8.2	5.7	17.7	4.4	12.0
	北播磨地域	35	37.1	34.3	37.1	45.7	14.3	5.7	71.4	0.0	5.7	0.0	14.3	2.9	14.3
	中播磨地域	43	37.2	16.3	23.3	11.6	7.0	7.0	58.1	0.0	9.3	0.0	14.0	9.3	11.6
	西播磨地域	8	37.5	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	但馬地域	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	丹波地域	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	淡路地域	8	87.5	25.0	25.0	37.5	0.0	12.5	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0

		(n)	自然環境が良い	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	子育てにかかる費用負担の支援が手厚い	小中学校に通いやすい	小中学校の教育水準が高い	道路などの都市基盤が整備されている	道路や公園の美化など生活環境が良い	その他	特にない	不明・無回答
全体		567	10.6	10.8	1.6	6.5	4.6	9.9	1.1	5.5	4.2	2.6	13.4	1.4
転入前の県下地域別	神戸地域	84	10.7	6.0	0.0	8.3	4.8	4.8	1.2	8.3	3.6	2.4	11.9	1.2
	阪神南地域	21	23.8	14.3	4.8	4.8	9.5	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8	28.6	0.0
	阪神北地域	10	30.0	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0
	東播磨地域	158	7.6	9.5	1.3	5.1	3.2	12.0	0.6	3.2	2.5	3.8	13.9	0.6
	北播磨地域	35	5.7	14.3	0.0	8.6	2.9	5.7	0.0	11.4	8.6	2.9	2.9	0.0
	中播磨地域	43	4.7	14.0	0.0	2.3	9.3	14.0	4.7	9.3	11.6	4.7	11.6	0.0
	西播磨地域	8	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	但馬地域	3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	丹波地域	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	淡路地域	8	0.0	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0

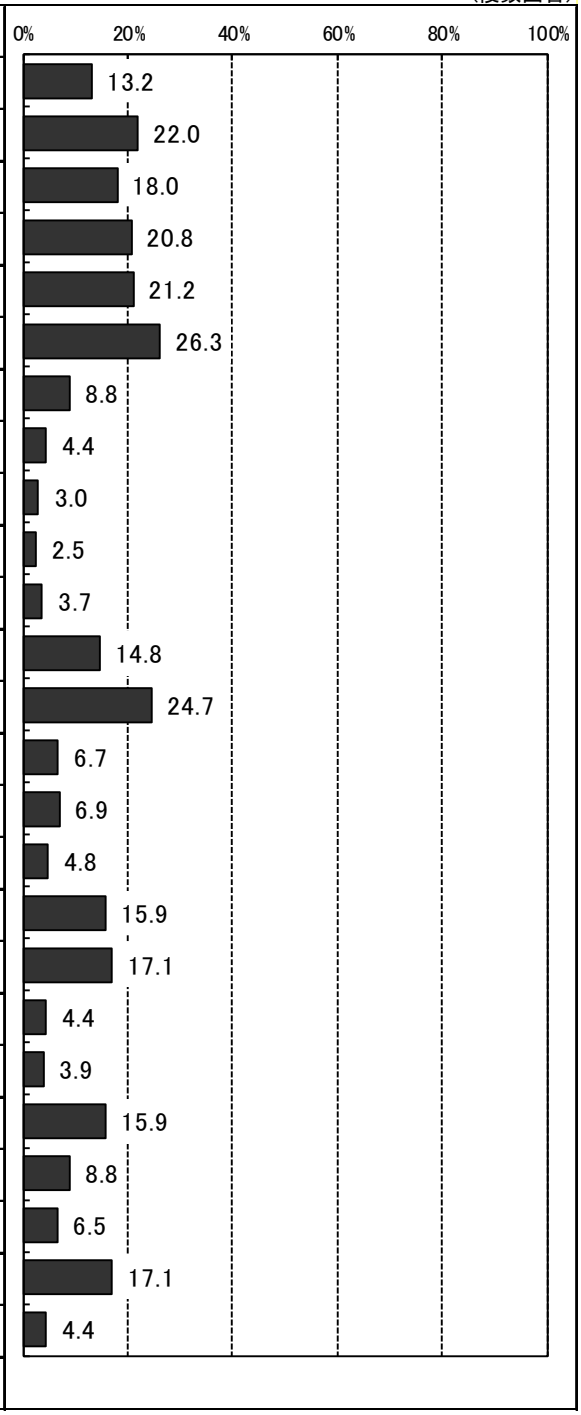
●転入前の県下地域別にみると、どの地域の人も「買い物などの日常生活が便利」が最も多くなっています。

●「住宅価格・家賃が適当」は神戸地域・阪神南地域の人で 30%台となっています。

問 18　転入前の市区町村と比較して、加古川市が住みにくいと思う点はどのようなことですか。
【あてはまるものすべてに○】

（複数回答）

区分		
通勤・通学が不便	(n=75)	13.2
バスや電車など市内公共交通が不便	(n=125)	22.0
最寄り駅が遠い（駅へのアクセスが悪い）	(n=102)	18.0
都心部から離れている	(n=118)	20.8
駅前のにぎわいが足りない	(n=120)	21.2
レジャー・娯楽施設が少ない	(n=149)	26.3
買い物などの日常生活が不便	(n=50)	8.8
地域活動が多過ぎる	(n=25)	4.4
近所づきあい・人間関係が良くない	(n=17)	3.0
物価が高い	(n=14)	2.5
住宅価格・家賃が合っていない	(n=21)	3.7
まちのイメージが良くない	(n=84)	14.8
まちの治安が良くない	(n=140)	24.7
自然環境が良くない	(n=38)	6.7
医療環境が充実していない	(n=39)	6.9
福祉サービスが充実していない	(n=27)	4.8
子育て環境が充実していない	(n=90)	15.9
子育てにかかる費用負担の支援が少ない	(n=97)	17.1
小中学校に通いにくい	(n=25)	4.4
小中学校の教育水準が低い	(n=22)	3.9
道路などの都市基盤の整備が不十分	(n=90)	15.9
道路や公園の美化など生活環境が良くない	(n=50)	8.8
その他	(n=37)	6.5
特にない	(n=97)	17.1
不明・無回答	(n=25)	4.4
全体	(n=567)	



●「レジャー・娯楽施設が少ない」が 26.3%で最も多く、次いで「まちの治安が良くない」が 24.7%、「バスや電車など市内公共交通が不便」が 22.0%となっています。

【年齢別　加古川市が住みにくいと思う点】

		(n)	通勤・通学が不便	バスや電車など市内公共交通が不便	最寄り駅が遠い（駅へのアクセスが悪い）	都心部から離れている	駅前のにぎわいが足りない	レジャー・娯楽施設が少ない	買い物などの日常生活が不便	地域活動が多過ぎる	近所づきあい・人間関係が良くない	物価が高い	住宅価格・家賃が合っていない	まちのイメージが良くない	まちの治安が良くない
全体		567	13.2	22.0	18.0	20.8	21.2	26.3	8.8	4.4	3.0	2.5	3.7	14.8	24.7
年齢別	20～24 歳	85	10.6	20.0	22.4	23.5	16.5	29.4	11.8	7.1	4.7	1.2	2.4	12.9	34.1
	25～29 歳	128	14.8	21.1	20.3	23.4	22.7	24.2	6.3	3.9	3.9	6.3	3.9	17.2	28.1
	30～34 歳	160	12.5	20.0	11.9	18.8	18.1	27.5	7.5	3.1	1.9	1.3	4.4	11.9	20.6
	35～39 歳	109	16.5	25.7	19.3	20.2	25.7	27.5	8.3	2.8	3.7	1.8	2.8	22.0	26.6
	40 歳以上	78	11.5	25.6	21.8	17.9	25.6	21.8	14.1	7.7	1.3	1.3	3.8	10.3	16.7

		(n)	自然環境が良くない	医療環境が充実していない	福祉サービスが充実していない	子育て環境が充実していない	子育てにかかる費用負担の支援が少ない	小中学校に通いにくい	小中学校の教育水準が低い	道路などの都市基盤の整備が不十分	道路や公園の美化など生活環境が良くない	その他	特にない	不明・無回答
全体		567	6.7	6.9	4.8	15.9	17.1	4.4	3.9	15.9	8.8	6.5	17.1	4.4
年齢別	20～24 歳	85	3.5	3.5	3.5	7.1	8.2	3.5	1.2	12.9	5.9	4.7	15.3	1.2
	25～29 歳	128	10.2	8.6	2.3	7.8	11.7	3.1	2.3	15.6	10.2	4.7	16.4	6.3
	30～34 歳	160	6.9	3.8	4.4	21.9	20.0	3.8	3.8	15.6	8.1	7.5	18.1	4.4
	35～39 歳	109	9.2	9.2	7.3	24.8	26.6	4.6	8.3	19.3	10.1	6.4	16.5	2.8
	40 歳以上	78	1.3	10.3	6.4	12.8	17.9	9.0	3.8	15.4	9.0	10.3	17.9	7.7

●年齢別にみると、20～29 歳の年代は「まちの治安が良くない」、30～39 歳は「レジャー・娯楽施設が少ない」、40 歳以上は「バスや電車など市内公共交通が不便」「駅前のにぎわいが足りない」が最も多くなっています。

●「子育て環境が充実していない」は 30～39 歳の年代で 20%台と、ほかの年代より多くなっています。

●「子育てにかかる費用負担の支援が少ない」は 30～39 歳の年代で 20%台と、ほかの年代より多くなっています。

【転入前の県下地域別　加古川市が住みにくいと思う点】※n数が10件以下は分析の対象外

		(n)	通勤・通学が不便	バスや電車など市内公共交通が不便	最寄り駅が遠い（駅へのアクセスが悪い）	都心部から離れている	駅前のにぎわいが足りない	レジャー・娯楽施設が少ない	買い物などの日常生活が不便	地域活動が多過ぎる	近所づきあい・人間関係が良くない	物価が高い	住宅価格・家賃が合っていない	まちのイメージが良くない	まちの治安が良くない
全体		567	13.2	22.0	18.0	20.8	21.2	26.3	8.8	4.4	3.0	2.5	3.7	14.8	24.7
転入前の県下地域別	神戸地域	84	21.4	35.7	26.2	32.1	22.6	34.5	11.9	9.5	2.4	2.4	2.4	22.6	32.1
	阪神南地域	21	23.8	28.6	23.8	42.9	38.1	42.9	19.0	4.8	4.8	0.0	9.5	19.0	23.8
	阪神北地域	10	30.0	10.0	10.0	20.0	10.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
	東播磨地域	158	8.9	20.9	18.4	15.8	20.9	19.6	8.2	5.1	2.5	1.9	3.2	12.7	21.5
	北播磨地域	35	11.4	8.6	5.7	8.6	8.6	28.6	0.0	2.9	0.0	5.7	11.4	11.4	37.1
	中播磨地域	43	18.6	25.6	27.9	4.7	20.9	20.9	7.0	0.0	7.0	4.7	2.3	9.3	16.3
	西播磨地域	8	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	37.5	37.5
	但馬地域	3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	丹波地域	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	淡路地域	8	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	12.5	25.0	12.5	12.5	0.0	12.5	25.0	37.5

		(n)	自然環境が良くない	医療環境が充実していない	福祉サービスが充実していない	子育て環境が充実していない	子育てにかかる費用負担の支援が少ない	小中学校に通いにくい	小中学校の教育水準が低い	道路などの都市基盤の整備が不十分	道路や公園の美化など生活環境が良くない	その他	特にない	不明・無回答
全体		567	6.7	6.9	4.8	15.9	17.1	4.4	3.9	15.9	8.8	6.5	17.1	4.4
転入前の県下地域別	神戸地域	84	3.6	8.3	2.4	17.9	10.7	6.0	7.1	23.8	9.5	3.6	10.7	4.8
	阪神南地域	21	0.0	4.8	4.8	14.3	28.6	0.0	4.8	9.5	9.5	19.0	4.8	0.0
	阪神北地域	10	20.0	0.0	10.0	10.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	10.0
	東播磨地域	158	7.6	5.7	4.4	20.3	25.3	5.7	1.3	14.6	7.6	5.7	16.5	5.1
	北播磨地域	35	14.3	2.9	5.7	25.7	31.4	5.7	8.6	20.0	0.0	5.7	11.4	2.9
	中播磨地域	43	2.3	4.7	7.0	14.0	16.3	11.6	9.3	11.6	4.7	4.7	30.2	2.3
	西播磨地域	8	25.0	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	37.5	25.0	0.0	25.0	0.0
	但馬地域	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
	丹波地域	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	淡路地域	8	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	37.5	12.5	12.5

●転入前の県下地域別にみると、神戸地域の人は「バスや電車など市内公共交通が不便」、阪神南地域の人は「都心部から離れている」「レジャー・娯楽施設が少ない」、東播磨地域の人は「子育てにかかる費用負担の支援が少ない」、北播磨地域の人は「まちの治安が良くない」、西播磨地域の人は「道路などの都市基盤の整備が不十分」が最も多くなっています。

【年齢別　加古川市が住みにくいと思う点】

		(n)	通勤・通学が不便	バスや電車など市内公共交通が不便	最寄り駅が遠い（駅へのアクセスが悪い）	都心部から離れている	駅前のにぎわいが足りない	レジャー・娯楽施設が少ない	買い物などの日常生活が不便	地域活動が多過ぎる	近所づきあい・人間関係が良くない	物価が高い	住宅価格・家賃が合っていない	まちのイメージが良くない	まちの治安が良くない
全体		567	13.2	22.0	18.0	20.8	21.2	26.3	8.8	4.4	3.0	2.5	3.7	14.8	24.7
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	101	8.9	17.8	14.9	21.8	14.9	22.8	9.9	1.0	4.0	4.0	3.0	17.8	30.7
	夫婦のみの世帯	116	12.9	21.6	16.4	21.6	18.1	26.7	8.6	2.6	0.9	1.7	5.2	17.2	28.4
	子どものいる世帯	208	11.5	23.1	15.9	21.2	26.0	31.3	8.2	8.2	2.9	2.9	3.4	14.4	24.0
	親と同居世帯	78	21.8	28.2	29.5	24.4	24.4	19.2	9.0	3.8	2.6	1.3	3.8	15.4	20.5
	三世代世帯	32	18.8	18.8	21.9	12.5	21.9	28.1	9.4	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	15.6
	その他の世帯	24	16.7	20.8	20.8	8.3	16.7	16.7	12.5	4.2	16.7	4.2	4.2	12.5	20.8

		(n)	自然環境が良くない	医療環境が充実していない	福祉サービスが充実していない	子育て環境が充実していない	子育てにかかる費用負担の支援が少ない	小中学校に通いにくい	小中学校の教育水準が低い	道路などの都市基盤の整備が不十分	道路や公園の美化など生活環境が良くない	その他	特にない	不明・無回答
全体		567	6.7	6.9	4.8	15.9	17.1	4.4	3.9	15.9	8.8	6.5	17.1	4.4
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	101	7.9	3.0	4.0	3.0	1.0	1.0	0.0	15.8	8.9	3.0	19.8	7.9
	夫婦のみの世帯	116	6.9	9.5	4.3	13.8	18.1	5.2	2.6	19.8	6.9	12.1	12.9	1.7
	子どものいる世帯	208	7.7	7.2	5.8	30.3	28.8	7.7	6.7	18.3	13.0	8.7	14.4	4.8
	親と同居世帯	78	6.4	10.3	2.6	2.6	7.7	2.6	3.8	9.0	3.8	1.3	19.2	3.8
	三世代世帯	32	3.1	3.1	6.3	12.5	21.9	0.0	3.1	3.1	3.1	0.0	15.6	6.3
	その他の世帯	24	0.0	0.0	4.2	0.0	8.3	0.0	4.2	16.7	4.2	4.2	37.5	0.0

●現在の世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯・夫婦のみの世帯は「まちの治安が良くない」、子どものいる世帯・三世代世帯は「レジャー・娯楽施設が少ない」、親と同居世帯は「最寄り駅が遠い（駅へのアクセスが悪い）」、その他の世帯は「特にない」が最も多くなっています。

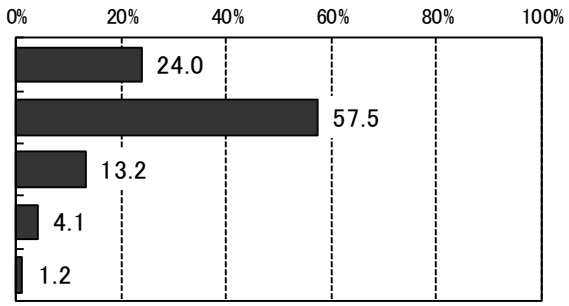
●「通勤・通学が不便」は親と同居世帯のみ 20%台となっています。

●「子育て環境が充実していない」は子どものいる世帯のみ 30%台となっています。

●「子育てにかかる費用負担の支援が少ない」は子どものいる世帯・三世代世帯で 20%台となっています。

問 19　加古川市の住みよさ、住みにくさ両方を踏まえ、加古川市は住みやすいと思いますか。
【１つに○】

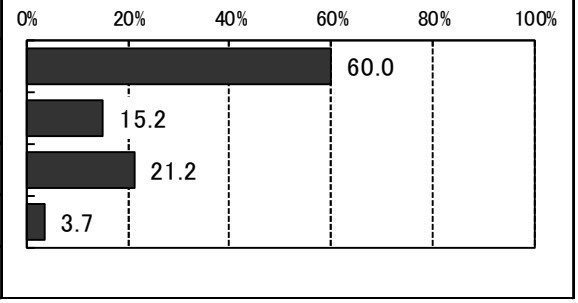
区分	
住みやすい	(n=136)
どちらかと言えば住みやすい	(n=326)
どちらかと言えば住みにくい	(n=75)
住みにくい	(n=23)
不明・無回答	(n=7)
全体	(n=567)



●「どちらかと言えば住みやすい」が 57.5%で最も多く、次いで「住みやすい」が 24.0%、「どちらかと言えば住みにくい」が 13.2%となっています。

問 20　あなたは、加古川市に住み続けたいと思いますか。【１つに○】

区分	
住み続けたい	(n=340)
住み続けたいが、住み続けられない	(n=86)
住み続けたくない	(n=120)
不明・無回答	(n=21)
全体	(n=567)



●「住み続けたい」が 60.0%で最も多く、次いで「住み続けたくない」が 21.2%、「住み続けたいが、住み続けられない」が 15.2%となっています。

【年齢別・転入前の県下地域別・現在の世帯構成別　定住意向】

		(n)	住み続けたい	住み続けたいが、住み続けられない	住み続けたくない	不明・無回答
全体		567	60.0	15.2	21.2	3.7
年齢別	20～24 歳	85	55.3	23.5	18.8	2.4
	25～29 歳	128	60.9	15.6	20.3	3.1
	30～34 歳	160	62.5	16.3	20.0	1.3
	35～39 歳	109	56.9	11.9	24.8	6.4
	40 歳以上	78	64.1	7.7	20.5	7.7
転入前の県下地域別	神戸地域	84	53.6	10.7	31.0	4.8
	阪神南地域	21	61.9	14.3	23.8	0.0
	阪神北地域	10	60.0	10.0	30.0	0.0
	東播磨地域	158	70.9	14.6	10.8	3.8
	北播磨地域	35	71.4	8.6	14.3	5.7
	中播磨地域	43	76.7	11.6	11.6	0.0
	西播磨地域	8	50.0	12.5	25.0	12.5
	但馬地域	3	66.7	0.0	33.3	0.0
	丹波地域	1	0.0	0.0	0.0	100.0
	淡路地域	8	50.0	12.5	37.5	0.0
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	101	53.5	21.8	20.8	4.0
	夫婦のみの世帯	116	53.4	19.0	24.1	3.4
	子どものいる世帯	208	65.9	10.6	18.8	4.8
	親と同居世帯	78	59.0	14.1	24.4	2.6
	三世代世帯	32	75.0	9.4	15.6	0.0
	その他の世帯	24	54.2	20.8	20.8	4.2

●年齢別にみると、どの年代も「住み続けたい」が最も多くなっています。「住み続けたいが、住み続けられない」は 20～24 歳のみ 20%台となっています。

●転入前の県下地域別にみると、どの地域の人も「住み続けたい」が最も多くなっていますが、東播磨地域・北播磨地域・中播磨地域の人は 70%台と、特に多くなっています。「住み続けたくない」は神戸地域の人で 30%台と、ほかの地域の人より多くなっています。

●現在の世帯構成別にみると、世帯構成に関わらず「住み続けたい」が最も多く、特に三世代世帯は 70%台と、特に多くなっています。

問 21　加古川市への思いやメッセージを、ご自由にお書きください。

有効回答 567 件のうち、記述があったのは 244 件で、いただいた意見をテーマ（分野）ごとに分類し、集約した結果、延意見数は 392 件でした。

いただいた意見を、さらに「問 20　定住意向」ごとに集約した結果は以下の通りです。

■「住み続けたい」と答えた人の意見（延 219 件）

意見		件数
子育て支援		57
	子育て支援の充実（支援が少ない、明石市に負けるななど）	23
	医療費の充実（範囲の拡大、助成、無償化など）	12
	保育の充実（保育料の軽減、待機児童の解消など）	9
	給食の充実（中学生まで）	5
	幼稚園の充実（3年保育の実施）	5
	預かり保育の充実	1
	遅れている	1
	児童館が少ない	1
道路		28
	道路・歩道が危ない（舗装されていない、白線が消えてる、見通しが悪いなど）	10
	道路が狭い	7
	渋滞を何とかしてほしい、改善してほしい	6
	街灯が少ない	2
	その他	3
住みやすさ		27
	住みやすい	26
	可も不可もない	1
商業・観光		13
	駅前が活性化してほしい（にぎわいがない、栄えてほしい）	6
	買い物等が不便（ショッピングモール、買い物する場所がない）	4
	観光スポットがない	3
今後のまちづくりに期待		12
市民生活の安全・安定		11
	もっと働ける場所を	3
	治安が悪い	3
	運転・交通マナーが悪い	2
	災害対策に力を入れてほしい	2
	マナーが悪い	1
公共交通		10
	バスの本数が少ない、最終バスの時刻が早い	8
	車がなくても生活できるようにしてほしい	2

意見	件数
公園や娯楽施設、遊ぶところが少ない	9
行政の対応	8
広報を充実してほしい（情報を取得しにくい、ホームページがわかりづらい）	5
行政の対応がよい	2
窓口の時間を延長してほしい	1
学校教育	8
幼稚園・小学校にエアコンをつけてほしい	4
教育を充実してほしい（質が低い）	1
学校生活を楽しくしてほしい	1
奨学金	1
スポーツや文化・芸術	7
スポーツ施設が少ない	3
その他	4
負担軽減	5
水道料金が高い（安くしてほしい）	3
税金（市民税）を安くしてほしい	2
安全で快適な暮らし	5
下水道を整備してほしい	2
空家対策を進めてほしい	2
住宅（地価）が高くなっている	1
環境保全	5
空気が悪い、汚い（ゴミが落ちてる）、まちをきれいにしてほしい	4
ゴミ収集の改善（収集が少ない、場所が少ない）	1
健康づくり・地域医療の充実	4
医療機関が少ない（産婦人科など）	2
その他	2
その他	10

■「住み続けたいが、住み続けられない」と答えた人の意見（延 56 件）

意見	件数
公共交通	8
バスの本数が少ない、最終バスの時刻が早い	4
JRの本数が少ない	2
その他（山陽電車が高い、便が悪い）	2
住みやすさ	7
住みやすい	5
可も不可もない	1
住みにくい	1

意見	件数
子育て支援	7
子育て支援の充実	3
その他（安心して子育てできる、医療費に満足している、幼稚園に入れない）	4
市民生活の安全・安定	5
運転・交通マナーが悪い	2
その他（働ける場所、災害対策、治安が悪い）	3
道路	4
道路が狭い	2
その他（街灯が少ない、渋滞が多い）	2
公園や娯楽施設、遊ぶところが少ない	4
行政の対応	4
行政の対応がよい	2
プロモーションに力を入れてほしい	1
市民センター等で住民票がとれるのが便利	1
今後のまちづくりに期待	3
商業・観光	3
駅前が活性化してほしい（にぎわいがない、栄えてほしい）	2
その他（買い物が不便）	1
環境保全	3
ゴミ収集の改善（収集が少ない、場所が少ない）	2
空気が悪い、汚い（ゴミが落ちてる）、まちをきれいにしてほしい	1
都会まで遠い	2
負担軽減	2
水道料金が高い	1
国民健康保険料を軽減してほしい	1
その他	4

■「住み続けたくない」と答えた人の意見（延 117 件）

意見	件数
道路	17
渋滞を何とかしてほしい	6
道路が危ない（舗装されていない、白線が消えてる、見通しが悪いなど）	5
街灯が少ない	2
道路が狭い	2
その他	2
市民生活の安全・安定	15
マナーが悪い	5
運転・交通マナーが悪い	4

意見	件数
治安が悪い	4
見守りカメラの取組はとてもよい	2
子育て支援	14
子育て支援	7
医療費の充実（範囲の拡大、助成、無償化など）	4
保育の充実（保育料の軽減、待機児童の解消）	2
給食（中学まで）	1
公共交通	14
バスの本数が少ない、最終バスの時刻が早い	9
車がなくても生活できるようにしてほしい	4
その他（駐輪所を無料に）	1
住みやすさ	10
住みやすい	4
住みたくない	4
可も不可もない	2
その他（教室にエアコンを設置してほしい、教育の充実、先生が厳しく子どもが大変）	3
商業・観光	8
駅前が活性化してほしい（にぎわいがない、栄えてほしい）	6
その他（観光に力を入れるな、スーパーが近い）	2
環境保全	7
空気が悪い、汚い（ゴミが落ちてる）、まちをきれいにしてほしい	5
その他（ゴミ収集の場所を１か所に、自然がよい）	2
行政の対応	5
行政の対応がよい	3
プロモーションに力を入れてほしい	1
市役所が暗い	1
公園や娯楽施設、遊ぶところが少ない	4
今後のまちづくりに期待	3
学校教育（先生が厳しい、教育の充実、エアコンの設置）	3
医療体制を充実してほしい	2
住宅（地価）が高くなっている	2
その他	13

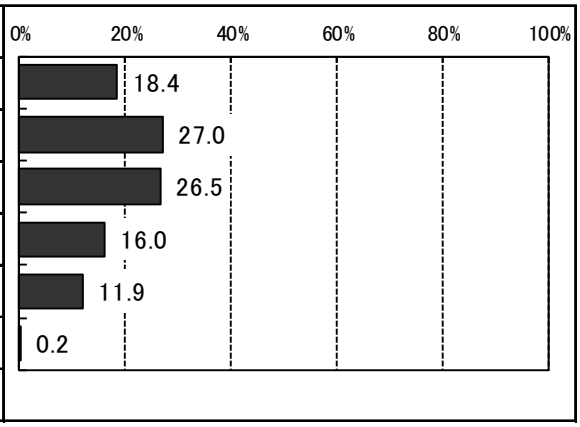
第３章　転出調査の結果

Ⅰ．あなたご自身のことやお住まいのことについて

問１　あなたの年齢と性別をお答えください。【１つに○】

■年齢

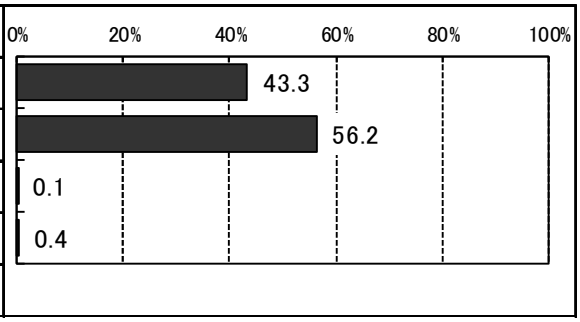
区分	
20～24歳	(n=237)
25～29歳	(n=348)
30～34歳	(n=342)
35～39歳	(n=206)
40歳以上	(n=153)
不明・無回答	(n=3)
全体	(n=1,289)



●「25～29 歳」が 27.0%で最も多く、次いで「30～34 歳」が 26.5%、「20～24 歳」が 18.4%となっています。

■性別

区分	
男性	(n=558)
女性	(n=725)
答えたくない	(n=1)
不明・無回答	(n=5)
全体	(n=1,289)



●「女性」が 56.2%で最も多く、次いで「男性」が 43.3%、「答えたくない」が 0.1%となっています。

問２　あなたは現在、どちらにお住まいですか。

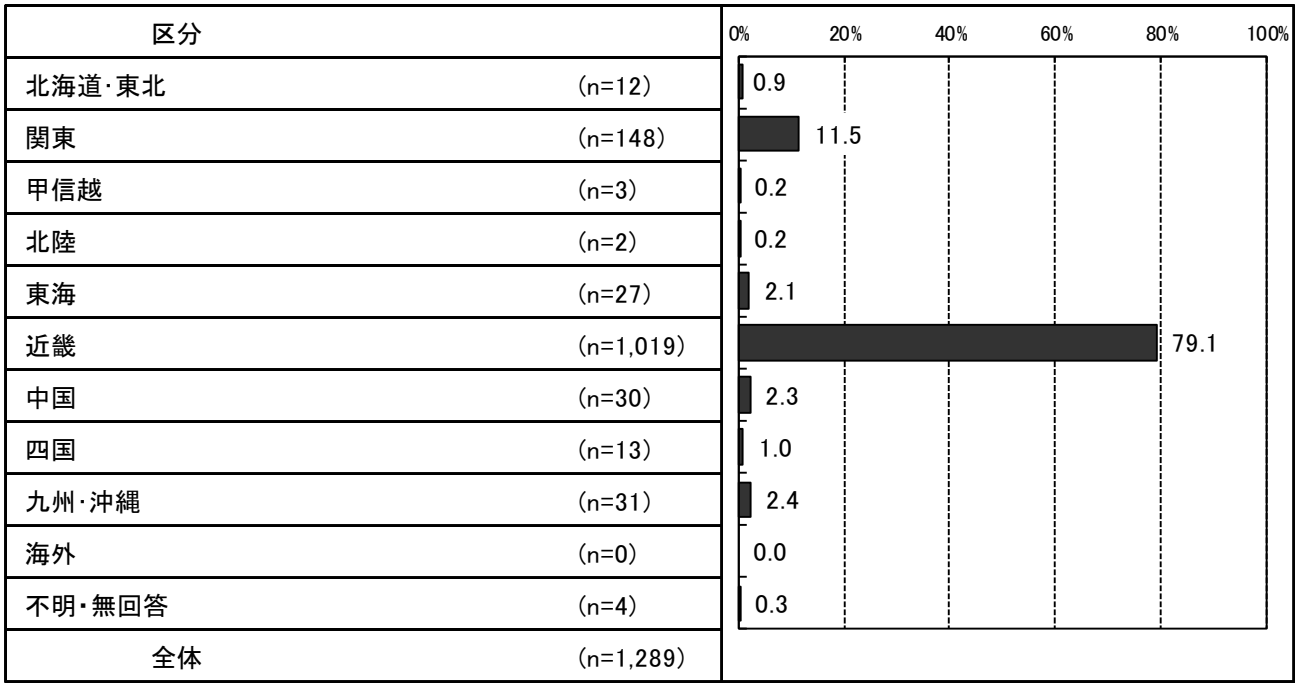
■転出先（現在住んでいる）の都道府県

区分		
北海道	(n=4)	0.3
青森県	(n=2)	0.2
岩手県	(n=1)	0.1
宮城県	(n=3)	0.2
秋田県	(n=0)	0.0
山形県	(n=1)	0.1
福島県	(n=1)	0.1
茨城県	(n=5)	0.4
栃木県	(n=1)	0.1
群馬県	(n=2)	0.2
埼玉県	(n=14)	1.1
千葉県	(n=14)	1.1
東京都	(n=85)	6.6
神奈川県	(n=27)	2.1
新潟県	(n=0)	0.0
富山県	(n=1)	0.1
石川県	(n=0)	0.0
福井県	(n=1)	0.1
山梨県	(n=1)	0.1
長野県	(n=2)	0.2
岐阜県	(n=0)	0.0
静岡県	(n=4)	0.3
愛知県	(n=19)	1.5
三重県	(n=4)	0.3
滋賀県	(n=10)	0.8

区分		
京都府	(n=23)	1.8
大阪府	(n=155)	12.0
兵庫県	(n=821)	63.7
奈良県	(n=6)	0.5
和歌山県	(n=4)	0.3
鳥取県	(n=1)	0.1
島根県	(n=1)	0.1
岡山県	(n=16)	1.2
広島県	(n=8)	0.6
山口県	(n=4)	0.3
徳島県	(n=3)	0.2
香川県	(n=6)	0.5
愛媛県	(n=2)	0.2
高知県	(n=2)	0.2
福岡県	(n=10)	0.8
佐賀県	(n=2)	0.2
長崎県	(n=0)	0.0
熊本県	(n=2)	0.2
大分県	(n=5)	0.4
宮崎県	(n=4)	0.3
鹿児島県	(n=3)	0.2
沖縄県	(n=5)	0.4
海外	(n=0)	0.0
不明・無回答	(n=4)	0.3
全体	(n=1,289)	

●「兵庫県」が 63.7%で最も多く、次いで「大阪府」が 12.0%、「東京都」が 6.6%となっています。

■転出先（現在住んでいる）の地方エリア



●「近畿」が 79.1%で最も多く、次いで「関東」が 11.5%、「九州･沖縄」が 2.4%となっています。

【年齢別　転出先の地方エリア】

		(n)	北海道･東北	関東	甲信越	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州･沖縄	海外	不明･無回答
全体		1,289	0.9	11.5	0.2	0.2	2.1	79.1	2.3	1.0	2.4	0.0	0.3
年齢別	20～24 歳	237	1.3	21.5	0.4	0.4	3.8	64.1	3.4	2.5	2.5	0.0	0.0
	25～29 歳	348	0.9	13.5	0.0	0.0	2.9	78.2	1.7	0.9	2.0	0.0	0.0
	30～34 歳	342	1.2	6.4	0.0	0.0	0.9	86.5	2.0	0.9	2.0	0.0	0.0
	35～39 歳	206	1.0	10.2	1.0	0.0	1.5	80.1	1.9	0.0	3.9	0.0	0.5
	40 歳以上	153	0.0	4.6	0.0	0.7	1.3	87.6	3.3	0.7	2.0	0.0	0.0

●年齢別にみると、どの年代も「近畿」が最も多くなっています。次いで「関東」となっていますが 20～24 歳のみ 20%台と、ほかの年代より多くなっています。

■転出先の兵庫県下の市町

区分		
神戸市	(n=190)	23.1
姫路市	(n=116)	14.1
尼崎市	(n=29)	3.5
明石市	(n=133)	16.2
西宮市	(n=42)	5.1
洲本市	(n=4)	0.5
芦屋市	(n=5)	0.6
伊丹市	(n=6)	0.7
相生市	(n=2)	0.2
豊岡市	(n=7)	0.9
加古川市	(n=22)	2.7
赤穂市	(n=8)	1.0
西脇市	(n=4)	0.5
宝塚市	(n=11)	1.3
三木市	(n=6)	0.7
高砂市	(n=86)	10.5
川西市	(n=7)	0.9
小野市	(n=19)	2.3
三田市	(n=2)	0.2
加西市	(n=9)	1.1
丹波篠山市	(n=1)	0.1

区分		
養父市	(n=2)	0.2
丹波市	(n=4)	0.5
南あわじ市	(n=2)	0.2
朝来市	(n=1)	0.1
淡路市	(n=1)	0.1
宍粟市	(n=1)	0.1
加東市	(n=9)	1.1
たつの市	(n=7)	0.9
猪名川町	(n=1)	0.1
多可町	(n=0)	0.0
稲美町	(n=35)	4.3
播磨町	(n=32)	3.9
市川町	(n=0)	0.0
福崎町	(n=2)	0.2
神河町	(n=1)	0.1
太子町	(n=3)	0.4
上郡町	(n=0)	0.0
佐用町	(n=0)	0.0
香美町	(n=1)	0.1
新温泉町	(n=1)	0.1
不明・無回答	(n=9)	1.1
全体	(n=821)	

●「神戸市」が 23.1%で最も多く、次いで「明石市」が 16.2%、「姫路市」が 14.1%となっています。

【年齢別　転出先の兵庫県下の市町】

		(n)	神戸市	姫路市	尼崎市	明石市	西宮市	洲本市	芦屋市	伊丹市	相生市	豊岡市	加古川市	赤穂市	西脇市	宝塚市
全体		821	23.1	14.1	3.5	16.2	5.1	0.5	0.6	0.7	0.2	0.9	2.7	1.0	0.5	1.3
年齢別	20～24 歳	90	26.7	6.7	8.9	7.8	8.9	0.0	2.2	3.3	0.0	3.3	2.2	2.2	0.0	3.3
	25～29 歳	214	23.8	12.6	6.1	15.4	6.1	0.9	0.5	0.5	0.0	0.9	2.8	1.4	0.5	0.9
	30～34 歳	252	24.2	15.1	0.8	21.0	4.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.4	3.6	0.8	0.4	1.2
	35～39 歳	140	15.7	13.6	2.9	17.1	4.3	0.7	1.4	0.0	0.7	0.7	2.1	0.7	1.4	2.1
	40 歳以上	125	25.6	20.8	1.6	12.8	4.0	0.8	0.0	0.8	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0

		(n)	三木市	高砂市	川西市	小野市	三田市	加西市	丹波篠山市	養父市	丹波市	南あわじ市	朝来市	淡路市	宍粟市	加東市
全体		821	0.7	10.5	0.9	2.3	0.2	1.1	0.1	0.2	0.5	0.2	0.1	0.1	0.1	1.1
年齢別	20～24 歳	90	0.0	5.6	0.0	1.1	0.0	2.2	0.0	0.0	1.1	1.1	0.0	0.0	1.1	0.0
	25～29 歳	214	0.9	9.3	1.4	2.3	0.5	0.5	0.0	0.0	1.4	0.0	0.5	0.0	0.0	1.4
	30～34 歳	252	0.4	9.9	0.8	2.4	0.4	0.8	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	35～39 歳	140	1.4	15.0	0.7	2.9	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	2.1
	40 歳以上	125	0.8	12.0	0.8	2.4	0.0	2.4	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4

		(n)	たつの市	猪名川町	多可町	稲美町	播磨町	市川町	福崎町	神河町	太子町	上郡町	佐用町	香美町	新温泉町	不明・無回答
全体		821	0.9	0.1	0.0	4.3	3.9	0.0	0.2	0.1	0.4	0.0	0.0	0.1	0.1	1.1
年齢別	20～24 歳	90	0.0	0.0	0.0	4.4	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	3.3
	25～29 歳	214	1.4	0.0	0.0	3.3	2.8	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5
	30～34 歳	252	0.4	0.0	0.0	4.8	5.6	0.0	0.4	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8
	35～39 歳	140	0.7	0.7	0.0	3.6	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4
	40 歳以上	125	1.6	0.0	0.0	5.6	1.6	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8

●年齢別にみると、35～39 歳は「明石市」、そのほかの年代は「神戸市」が最も多くなっています。

【現在の世帯構成別　転出先の兵庫県下の市町】

		(n)	神戸市	姫路市	尼崎市	明石市	西宮市	洲本市	芦屋市	伊丹市	相生市	豊岡市	加古川市	赤穂市	西脇市	宝塚市
全体		821	23.1	14.1	3.5	16.2	5.1	0.5	0.6	0.7	0.2	0.9	2.7	1.0	0.5	1.3
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	150	38.7	9.3	8.0	13.3	10.0	0.0	0.7	1.3	0.0	2.7	1.3	2.0	1.3	1.3
	夫婦のみの世帯	265	26.8	15.5	2.3	16.2	5.7	0.4	0.8	0.8	0.0	0.4	2.6	0.0	0.4	1.1
	子どものいる世帯	301	14.0	15.3	3.0	19.9	2.7	0.7	0.3	0.3	0.7	0.0	2.7	1.3	0.0	1.0
	親と同居世帯	45	17.8	13.3	0.0	13.3	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	11.1	0.0	0.0	2.2
	三世代世帯	36	11.1	19.4	0.0	5.6	2.8	2.8	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	2.8	2.8
	その他の世帯	23	30.4	8.7	8.7	8.7	8.7	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3

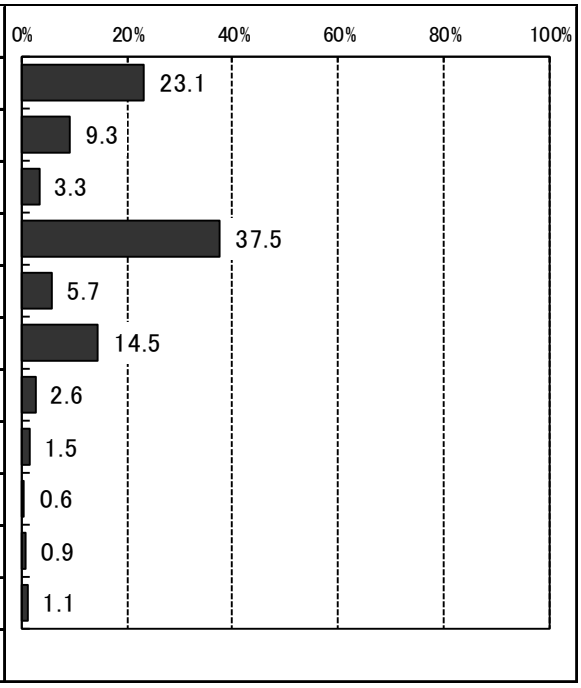
		(n)	三木市	高砂市	川西市	小野市	三田市	加西市	丹波篠山市	養父市	丹波市	南あわじ市	朝来市	淡路市	宍粟市	加東市
全体		821	0.7	10.5	0.9	2.3	0.2	1.1	0.1	0.2	0.5	0.2	0.1	0.1	0.1	1.1
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	150	0.0	4.7	0.0	1.3	0.0	0.7	0.0	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7
	夫婦のみの世帯	265	1.5	8.7	1.1	1.9	0.0	0.4	0.4	0.4	0.4	0.0	0.4	0.4	0.0	1.9
	子どものいる世帯	301	0.3	15.9	1.0	3.3	0.0	1.3	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.7
	親と同居世帯	45	0.0	2.2	0.0	0.0	4.4	2.2	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	三世代世帯	36	2.8	19.4	0.0	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8
	その他の世帯	23	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		(n)	たつの市	猪名川町	多可町	稲美町	播磨町	市川町	福崎町	神河町	太子町	上郡町	佐用町	香美町	新温泉町	不明・無回答
全体		821	0.9	0.1	0.0	4.3	3.9	0.0	0.2	0.1	0.4	0.0	0.0	0.1	0.1	1.1
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	150	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0
	夫婦のみの世帯	265	0.0	0.4	0.0	3.4	4.5	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8
	子どものいる世帯	301	1.7	0.0	0.0	5.3	5.6	0.0	0.0	0.3	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3
	親と同居世帯	45	4.4	0.0	0.0	11.1	4.4	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	2.2
	三世代世帯	36	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	23	0.0	0.0	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7

●現在（転出後）の世帯構成別にみると、子どものいる世帯は「明石市」、三世代世帯は「姫路市」と「高砂市」、ほかの世帯は「神戸市」が最も多くなっています。

■転出先の兵庫県下の圏域別集計

区分		
神戸地域	(n=190)	23.1
阪神南地域	(n=76)	9.3
阪神北地域	(n=27)	3.3
東播磨地域	(n=308)	37.5
北播磨地域	(n=47)	5.7
中播磨地域	(n=119)	14.5
西播磨地域	(n=21)	2.6
但馬地域	(n=12)	1.5
丹波地域	(n=5)	0.6
淡路地域	(n=7)	0.9
不明・無回答	(n=9)	1.1
全体	(n=821)	



●「東播磨地域」が 37.5%で最も多く、次いで「神戸地域」が 23.1%、「中播磨地域」が 14.5%となっています。

【年齢別・現在の世帯構成別　転出先の兵庫県下の圏域】

		(n)	神戸地域	阪神南地域	阪神北地域	東播磨地域	北播磨地域	中播磨地域	西播磨地域	但馬地域	丹波地域	淡路地域	不明・無回答
全体		821	23.1	9.3	3.3	37.5	5.7	14.5	2.6	1.5	0.6	0.9	1.1
年齢別	20～24 歳	90	26.7	20.0	6.7	23.3	3.3	6.7	3.3	4.4	1.1	1.1	3.3
	25～29 歳	214	23.8	12.6	3.3	33.6	5.6	12.6	3.7	1.9	1.4	0.9	0.5
	30～34 歳	252	24.2	4.8	2.8	44.8	4.0	15.9	2.0	0.4	0.4	0.0	0.8
	35～39 歳	140	15.7	8.6	3.6	42.9	8.6	13.6	2.1	1.4	0.0	2.1	1.4
	40 歳以上	125	25.6	5.6	1.6	33.6	8.0	21.6	1.6	0.8	0.0	0.8	0.8
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	150	38.7	18.7	2.7	19.3	4.0	9.3	2.7	4.0	0.7	0.0	0.0
	夫婦のみの世帯	265	26.8	8.7	3.4	35.5	6.0	15.8	0.4	1.1	0.8	0.8	0.8
	子どものいる世帯	301	14.0	6.0	2.3	49.5	5.6	15.6	4.3	0.0	0.3	1.0	1.3
	親と同居世帯	45	17.8	2.2	6.7	42.2	2.2	15.6	4.4	4.4	0.0	2.2	2.2
	三世代世帯	36	11.1	2.8	2.8	36.1	19.4	19.4	0.0	2.8	2.8	2.8	0.0
	その他の世帯	23	30.4	21.7	13.0	17.4	0.0	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7

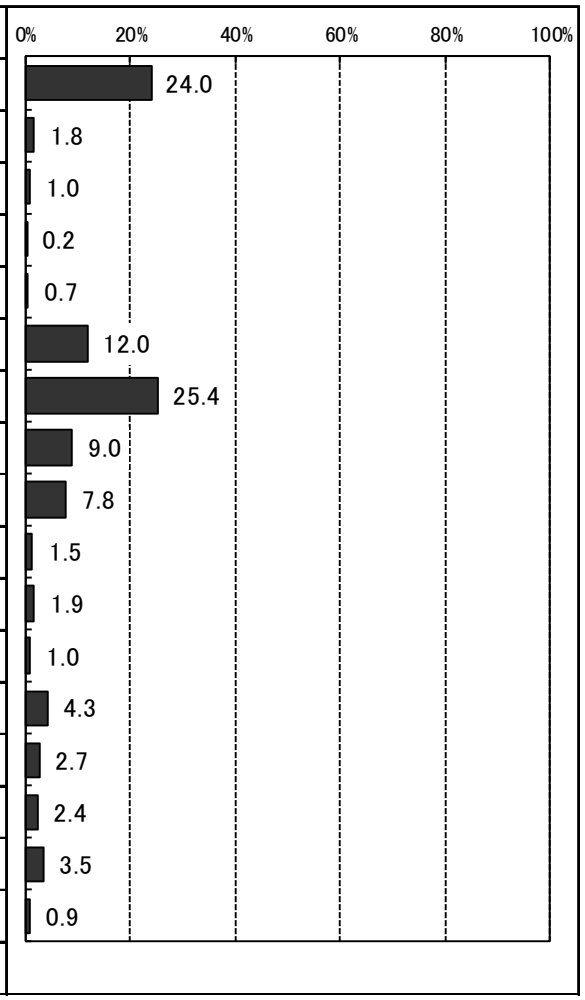
●年齢別にみると、20～24 歳・40 歳以上の年代は「神戸地域」そのほかの地域は「東播磨地域」が最も多くなっています。「阪神南地域」は 20～24 歳のみ 20%台となっています。

●現在の世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯・その他の世帯は「神戸地域」、そのほかの地域は「東播磨地域」が最も多くなっています。

問３　加古川市では、どちらにお住まいでしたか。【１つに○】

■居住地域（町名）

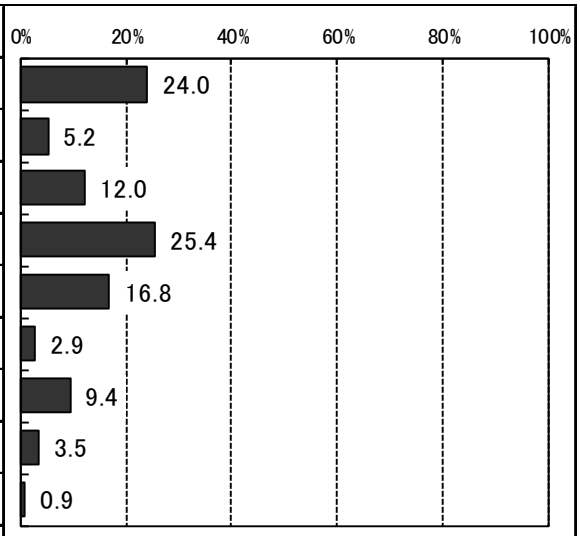
区分		
加古川町	(n=309)	24.0
神野町	(n=23)	1.8
新神野	(n=13)	1.0
西条山手	(n=3)	0.2
山手	(n=9)	0.7
野口町	(n=155)	12.0
平岡町	(n=327)	25.4
尾上町	(n=116)	9.0
別府町	(n=100)	7.8
八幡町	(n=19)	1.5
平荘町	(n=24)	1.9
上荘町	(n=13)	1.0
東神吉町	(n=55)	4.3
西神吉町	(n=35)	2.7
米田町	(n=31)	2.4
志方町	(n=45)	3.5
不明・無回答	(n=12)	0.9
全体	(n=1,289)	



●「平岡町」が 25.4%で最も多く、次いで「加古川町」が 24.0%、「野口町」が 12.0%となっています。

■加古川市での居住地区

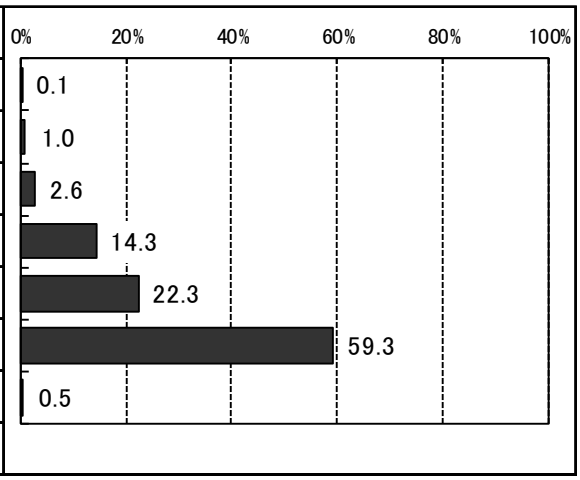
区分		
加古川	(n=309)	24.0
加古川北	(n=67)	5.2
野口	(n=155)	12.0
平岡	(n=327)	25.4
浜の宮	(n=216)	16.8
両荘	(n=37)	2.9
加古川西	(n=121)	9.4
志方	(n=45)	3.5
不明・無回答	(n=12)	0.9
全体	(n=1,289)	



●「平岡町」が 25.4%で最も多く、次いで「加古川町」が 24.0%、「浜の宮」が 16.8%となっています。

問４　加古川市には、通算で何年お住まいでしたか。【１つに○】

区分		
1年未満	(n=1)	0.1
1年以上3年未満	(n=13)	1.0
3年以上5年未満	(n=34)	2.6
5年以上10年未満	(n=184)	14.3
10年以上20年未満	(n=287)	22.3
20年以上	(n=764)	59.3
不明・無回答	(n=6)	0.5
全体	(n=1,289)	



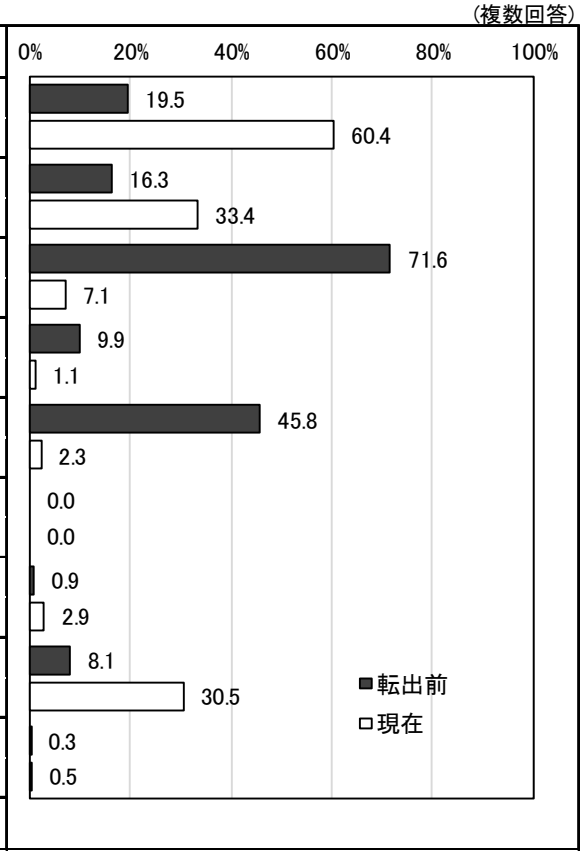
●「20 年以上」が 59.3%で最も多く、次いで「10 年以上 20 年未満」が 22.3%、「５年以上 10 年未満」が 14.3%となっています。

問５　転出前と現在の家族構成について、一緒に住んでいる方全員に〇をつけてください。また、転出前と現在の家族の人数をご記入ください。

■家族構成

（複数回答）

区分		
配偶者（夫・妻）	転出前(n=251)	19.5
	現在(n=778)	60.4
子ども	転出前(n=210)	16.3
	現在(n=430)	33.4
父親・母親	転出前(n=923)	71.6
	現在(n=91)	7.1
祖父母	転出前(n=128)	9.9
	現在(n=14)	1.1
兄弟姉妹	転出前(n=590)	45.8
	現在(n=30)	2.3
孫	転出前(n=0)	0.0
	現在(n=0)	0.0
その他	転出前(n=12)	0.9
	現在(n=38)	2.9
ひとり暮らし	転出前(n=104)	8.1
	現在(n=393)	30.5
不明・無回答	転出前(n=4)	0.3
	現在(n=6)	0.5
全体	(n=1,289)	



●転出前の家族構成は、「父親・母親」が 71.6%で最も多く、次いで「兄弟姉妹」が 45.8%、「配偶者（夫・妻)」が 19.5%となっています。

●現在（転出後）の家族構成は、「配偶者（夫・妻)」が 60.4%で最も多く、次いで「子ども」が 33.4%、「ひとり暮らし」が 30.5%となっています。

【年齢別　転出前と現在（転出後）の家族構成】

			(n)	配偶者（夫・妻）	子ども	父親・母親	祖父母	兄弟姉妹	孫	その他	ひとり暮らし	不明・無回答
年齢別	転出前	全体	1,289	19.5	16.3	71.6	9.9	45.8	0.0	0.9	8.1	0.3
		20～24 歳	237	1.7	2.5	94.9	14.3	75.9	0.0	0.0	1.3	0.0
		25～29 歳	348	8.0	6.3	85.6	10.9	59.5	0.0	1.1	6.6	0.0
		30～34 歳	342	22.2	16.7	65.2	9.1	36.5	0.0	1.2	12.0	0.3
		35～39 歳	206	36.9	32.5	51.5	7.3	23.8	0.0	1.0	10.7	0.0
		40 歳以上	153	43.8	37.9	46.4	6.5	19.0	0.0	1.3	9.8	0.0
	現在(転出後)	全体	1,289	60.4	33.4	7.1	1.1	2.3	0.0	2.9	30.5	0.5
		20～24 歳	237	13.9	7.6	7.2	1.7	3.8	0.0	5.5	73.8	0.8
		25～29 歳	348	61.5	27.0	6.0	0.9	2.9	0.0	3.2	29.6	0.3
		30～34 歳	342	79.5	44.7	7.0	1.5	2.3	0.0	1.2	14.0	0.0
		35～39 歳	206	76.7	50.0	4.4	0.0	0.0	0.0	2.4	16.0	0.0
		40 歳以上	153	66.0	40.5	13.1	1.3	2.0	0.0	3.3	22.2	0.0

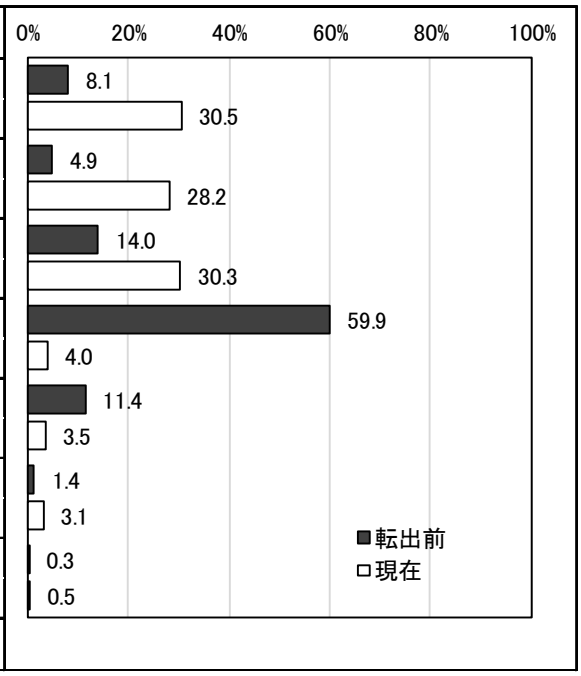
●年齢別にみると、転出前はどの年代も「父親・母親」が最も多くなっています。また、「配偶者（夫・妻）」「子ども」は年齢が高くなるにつれて回答が増え、「父親・母親」「祖父母」「兄弟姉妹」は年齢が高くなるにつれて回答が減る傾向にあります。

●転出後は、20～24 歳は「ひとり暮らし」、そのほかの年代は「配偶者（夫・妻）」が最も多くなっています。「子ども」は 30 歳以上の年代で 40%を超えています。

●転出前と転出後を比較すると、どの年代も「配偶者（夫・妻）」「子ども」は転出前から転出後で回答が増え、「父親・母親」「祖父母」「兄弟姉妹」「ひとり暮らし」は転出前から転出後で回答が減る傾向にあります。

■世帯構成

区分		
ひとり暮らし世帯	転出前(n=104)	8.1
	現在(n=393)	30.5
夫婦のみの世帯	転出前(n=63)	4.9
	現在(n=363)	28.2
子どものいる世帯	転出前(n=181)	14.0
	現在(n=391)	30.3
親と同居世帯	転出前(n=772)	59.9
	現在(n=51)	4.0
三世代世帯	転出前(n=147)	11.4
	現在(n=45)	3.5
その他の世帯	転出前(n=18)	1.4
	現在(n=40)	3.1
不明・無回答	転出前(n=4)	0.3
	現在(n=6)	0.5
全体	(n=1,289)	



●転出前の世帯構成は、「親と同居世帯」が 59.9%で最も多く、次いで「子どものいる世帯」が 14.0%、「三世代世帯」が 11.4%となっています。

●現在（転出後）の世帯構成は、「ひとり暮らし世帯」が 30.5%で最も多く、次いで「子どものいる世帯」が 30.3%、「夫婦のみの世帯」が 28.2%となっています。

【年齢別　転出前と現在（転出後）の世帯構成】

			(n)	ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	子どものいる世帯	親と同居世帯	三世代世帯	その他の世帯	不明・無回答
年齢別	転出前	全体	1,289	8.1	4.9	14.0	59.9	11.4	1.4	0.3
		20～24 歳	237	1.3	0.8	1.3	80.6	14.3	1.7	0.0
		25～29 歳	348	6.6	2.3	5.2	72.7	12.1	1.1	0.0
		30～34 歳	342	12.0	7.3	14.0	53.8	11.1	1.5	0.3
		35～39 歳	206	10.7	7.3	30.1	41.3	9.2	1.5	0.0
		40 歳以上	153	9.8	8.5	32.7	38.6	9.2	1.3	0.0
	現在(転出後)	全体	1,289	30.5	28.2	30.3	4.0	3.5	3.1	0.5
		20～24 歳	237	73.8	6.3	6.3	5.5	2.1	5.1	0.8
		25～29 歳	348	29.6	34.2	25.6	4.3	2.0	4.0	0.3
		30～34 歳	342	14.0	35.7	41.2	3.5	3.8	1.8	0.0
		35～39 歳	206	16.0	30.6	46.6	1.0	3.4	2.4	0.0
		40 歳以上	153	22.2	28.8	32.7	5.9	8.5	2.0	0.0

●年齢別にみると、転出前はどの年代も「親と同居世帯」が最も多くなっています。

●現在（転出後）は、20～24 歳は「ひとり暮らし世帯」、25～29 歳は「夫婦のみの世帯」、30 歳以上の年代は「子どものいる世帯」が最も多くなっています。

●転入前と転入後を比較すると、どの年代も「ひとり暮らし世帯」「夫婦のみの世帯」「子どものいる世帯」は転出前から転出後で回答が増え、「親と同居世帯」は転出前から転出後で回答が減る傾向にあります。

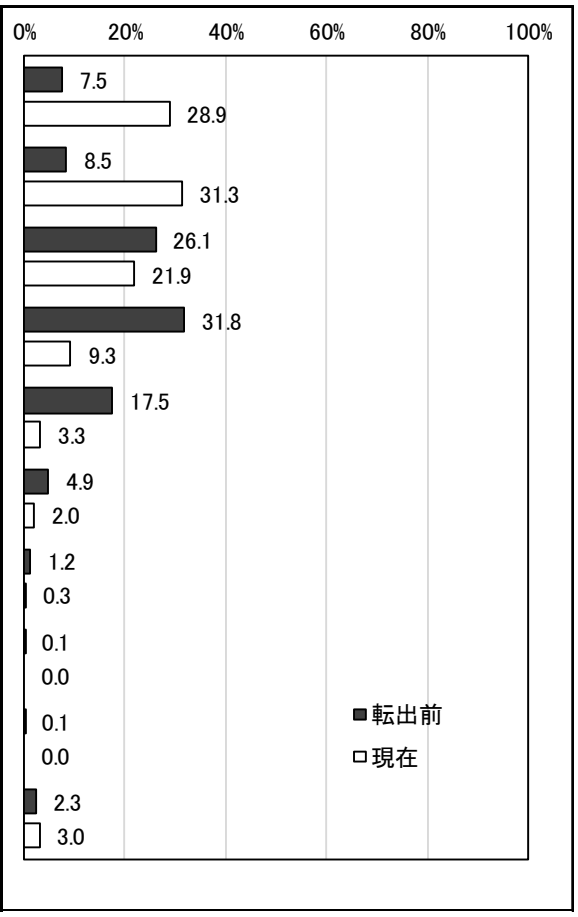
【転出前の世帯構成別　現在（転出後）の世帯構成】

		(n)	ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	子どものいる世帯	親と同居世帯	三世代世帯	その他の世帯	不明・無回答
全体		1,289	30.5	28.2	30.3	4.0	3.5	3.1	0.5
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	31.7	44.2	13.5	5.8	1.9	1.9	1.0
	夫婦のみの世帯	63	3.2	42.9	44.4	1.6	7.9	0.0	0.0
	子どものいる世帯	181	7.2	0.6	81.2	0.6	9.9	0.6	0.0
	親と同居世帯	772	38.0	31.1	19.9	5.1	1.7	4.0	0.3
	三世代世帯	147	33.3	27.2	30.6	2.0	4.8	2.0	0.0
	その他の世帯	18	16.7	50.0	11.1	5.6	0.0	16.7	0.0

●転出前の世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯・その他の世帯は「夫婦のみの世帯」、夫婦のみの世帯・子どものいる世帯は「子どものいる世帯」、親と同居世帯・三世代世帯は「ひとり暮らし世帯」が最も多くなっています。

■家族の人数

区分		
1人	転出前(n=97)	7.5
	現在(n=372)	28.9
2人	転出前(n=109)	8.5
	現在(n=404)	31.3
3人	転出前(n=336)	26.1
	現在(n=282)	21.9
4人	転出前(n=410)	31.8
	現在(n=120)	9.3
5人	転出前(n=226)	17.5
	現在(n=42)	3.3
6人	転出前(n=63)	4.9
	現在(n=26)	2.0
7人	転出前(n=16)	1.2
	現在(n=4)	0.3
8人	転出前(n=1)	0.1
	現在(n=0)	0.0
9人	転出前(n=1)	0.1
	現在(n=0)	0.0
不明・無回答	転出前(n=30)	2.3
	現在(n=39)	3.0
全体	(n=1,289)	



●転出前の家族の人数は、「４人」が 31.8%で最も多く、次いで「３人」が 26.1%、「５人」が 17.5%となっています。平均は 3.7 人となっています。

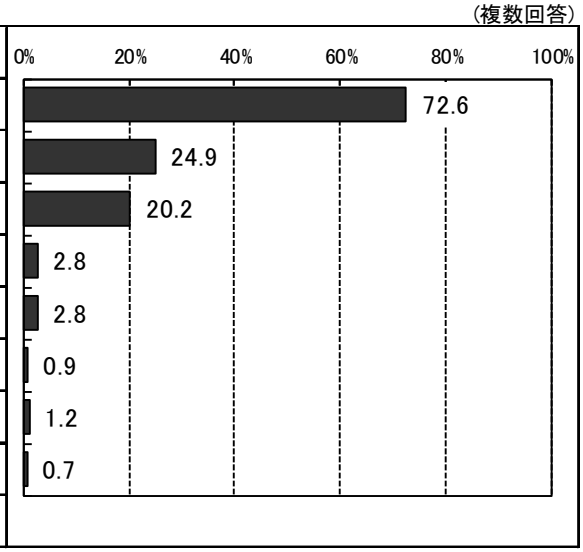
●現在（転出後）の家族の人数は、「２人」が 31.3%で最も多く、次いで「１人」が 28.9%、「３人」が 21.9%となっています。平均は 2.3 人となっています。

問５の「現在の家族構成」で「２．子ども」「６．孫」と答えた方におうかがいします。

問６　お子さんやお孫さんは、以下のどちらにあてはまりますか。【あてはまるものすべてに○】

（複数回答）

区分		
乳幼児（3歳未満）	(n=312)	72.6
幼児（3歳以上の未就学児）	(n=107)	24.9
小学生	(n=87)	20.2
中学生	(n=12)	2.8
高校生	(n=12)	2.8
大学生（短大・大学院・専門学校を含む）	(n=4)	0.9
社会人	(n=5)	1.2
不明・無回答	(n=3)	0.7
全体	(n=430)	



●「乳幼児（３歳未満）」が 72.6%で最も多く、次いで「幼児（３歳以上の未就学児）」が 24.9%、「小学生」が 20.2%となっています。

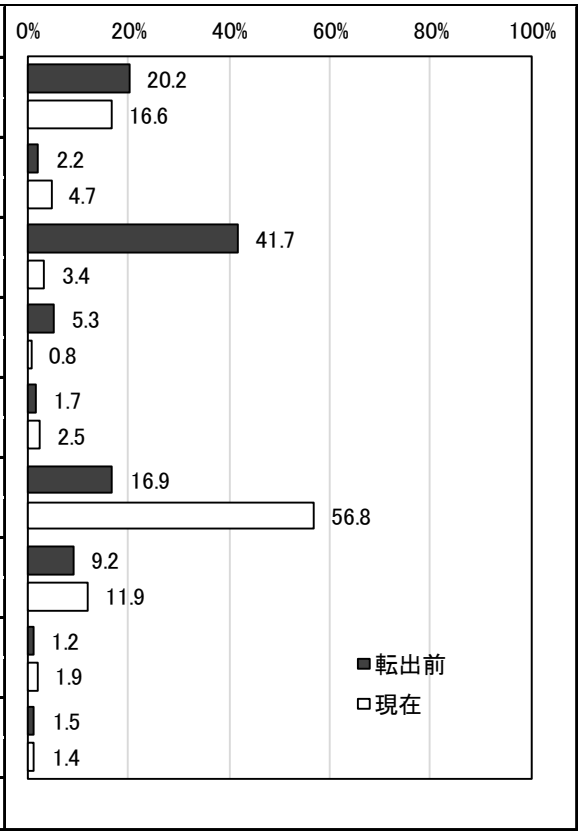
【年齢別　子どもの学齢期】

		(n)	乳幼児（3歳未満）	幼児（3歳以上の未就学児）	小学生	中学生	高校生	大学生（短大・大学院・専門学校を含む）	社会人	不明・無回答
全体		430	72.6	24.9	20.2	2.8	2.8	0.9	1.2	0.7
年齢別	20～24 歳	18	94.4	5.6	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25～29 歳	94	93.6	7.4	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～34 歳	153	84.3	22.9	13.1	2.6	0.0	0.7	0.7	0.7
	35～39 歳	103	55.3	43.7	33.0	4.9	0.0	1.0	0.0	1.9
	40 歳以上	62	33.9	30.6	41.9	4.8	19.4	3.2	6.5	0.0

●年齢別にみると、40 歳以上は「小学生」、そのほかの年代は「乳幼児（３歳未満）」が最も多くなっています。

問７　転出前後の住居について、それぞれあてはまるもの１つに○をつけてください。

区分		
持ち家（一戸建て）	転出前(n=261)	20.2
	現在(n=214)	16.6
持ち家（分譲マンション）	転出前(n=29)	2.2
	現在(n=60)	4.7
親の家（一戸建て）	転出前(n=538)	41.7
	現在(n=44)	3.4
親の家（分譲マンション）	転出前(n=68)	5.3
	現在(n=10)	0.8
民間の借家（一戸建て）	転出前(n=22)	1.7
	現在(n=32)	2.5
民間の借家（アパート、賃貸マンション）	転出前(n=218)	16.9
	現在(n=732)	56.8
給与住宅（社宅・官舎・独身寮等）	転出前(n=118)	9.2
	現在(n=154)	11.9
その他	転出前(n=16)	1.2
	現在(n=25)	1.9
不明・無回答	転出前(n=19)	1.5
	現在(n=18)	1.4
全体	(n=1,289)	



●転出前の住居は、「親の家（一戸建て）」が 41.7%で最も多く、次いで「持ち家（一戸建て）」が 20.2%、「民間の借家（アパート、賃貸マンション）」が 16.9%となっています。

●現在（転出後）の住居は、「民間の借家（アパート、賃貸マンション）」が 56.8%で最も多く、次いで「持ち家（一戸建て）」が 16.6%、「給与住宅（社宅・官舎・独身寮等）」が 11.9%となっています。

【年齢別　転出前と現在（転出後）の住居】

			(n)	持ち家（一戸建て）	持ち家（分譲マンション）	親の家（一戸建て）	親の家（分譲マンション）	民間の借家（一戸建て）	民間の借家（アパート、賃貸マンション）	給与住宅（社宅・官舎・独身寮等）	その他	不明・無回答
年齢別	転出前	全体	1,289	20.2	2.2	41.7	5.3	1.7	16.9	9.2	1.2	1.5
		20～24 歳	237	25.3	3.4	46.4	9.7	1.7	8.4	2.1	1.7	1.3
		25～29 歳	348	20.4	1.4	50.0	5.7	0.6	12.9	6.0	0.9	2.0
		30～34 歳	342	16.4	1.8	39.2	5.3	1.8	17.3	17.3	0.6	0.6
		35～39 歳	206	17.0	3.9	34.5	1.9	2.4	27.2	11.2	1.5	0.5
		40 歳以上	153	25.5	1.3	32.0	2.0	3.3	24.8	6.5	2.6	2.0
	現在（転出後）	全体	1,289	16.6	4.7	3.4	0.8	2.5	56.8	11.9	1.9	1.4
		20～24 歳	237	2.5	1.3	3.4	0.8	1.3	60.8	24.9	3.8	1.3
		25～29 歳	348	10.9	2.3	2.0	0.9	1.4	67.8	11.8	0.6	2.3
		30～34 歳	342	23.4	5.3	3.5	0.3	2.3	56.4	6.7	1.5	0.6
		35～39 歳	206	27.7	8.3	2.9	1.0	2.4	47.6	8.7	1.5	0.0
		40 歳以上	153	21.6	9.2	7.2	1.3	7.2	39.9	8.5	3.9	1.3

●年齢別にみると、転出前は年代に関わらず「親の家（一戸建て）」が最も多くなっています。

●現在（転出後）は、年代に関わらず「民間の借家（アパート、賃貸マンション）」が最も多くなっています。

【転出前の世帯構成別　転出前の住居】

		(n)	持ち家（一戸建て）	持ち家（分譲マンション）	親の家（一戸建て）	親の家（分譲マンション）	民間の借家（一戸建て）	民間の借家（アパート、賃貸マンション）	給与住宅（社宅・官舎・独身寮等）	その他	不明・無回答
全体		1,289	20.2	2.2	41.7	5.3	1.7	16.9	9.2	1.2	1.5
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	1.9	0.0	2.9	0.0	1.9	53.8	38.5	0.0	1.0
	夫婦のみの世帯	63	4.8	3.2	1.6	0.0	1.6	63.5	23.8	0.0	1.6
	子どものいる世帯	181	18.8	2.8	2.8	1.7	3.9	36.5	30.4	2.2	1.1
	親と同居世帯	772	24.5	2.5	54.7	8.0	1.0	6.2	0.9	1.0	1.2
	三世代世帯	147	18.4	1.4	68.0	2.0	2.7	4.1	0.0	2.0	1.4
	その他の世帯	18	27.8	5.6	38.9	0.0	0.0	11.1	5.6	5.6	5.6

●転出前の世帯構成別に転出前の住居をみると、ひとり暮らし世帯・夫婦のみの世帯・子どものいる世帯は「民間の借家（アパート、賃貸マンション）」、ほかの世帯は「親の家（一戸建て）」が最も多くなっています。

【現在（転出後）の世帯構成別　転出前の住居】

		(n)	持ち家（一戸建て）	持ち家（分譲マンション）	親の家（一戸建て）	親の家（分譲マンション）	民間の借家（一戸建て）	民間の借家（アパート、賃貸マンション）	給与住宅（社宅・官舎・独身寮等）	その他	不明・無回答
全体		1,289	20.2	2.2	41.7	5.3	1.7	16.9	9.2	1.2	1.5
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	393	21.9	3.3	50.1	8.1	0.8	8.1	4.1	1.5	2.0
	夫婦のみの世帯	363	20.1	1.4	49.6	3.9	1.7	14.9	6.9	0.0	1.7
	子どものいる世帯	391	18.9	2.0	30.4	3.6	2.3	23.5	17.1	1.5	0.5
	親と同居世帯	51	25.5	3.9	29.4	7.8	3.9	15.7	11.8	2.0	0.0
	三世代世帯	45	13.3	0.0	24.4	2.2	4.4	51.1	4.4	0.0	0.0
	その他の世帯	40	22.5	2.5	40.0	5.0	0.0	17.5	5.0	7.5	0.0

●現在の世帯構成別に転出前の住居をみると、三世代世代は「民間の借家（アパート、賃貸マンション）」、ほかの世帯は「親の家（一戸建て）」が最も多くなっています。

【現在（転出後）の世帯構成別　現在（転出後）の住居】

		(n)	持ち家（一戸建て）	持ち家（分譲マンション）	親の家（一戸建て）	親の家（分譲マンション）	民間の借家（一戸建て）	民間の借家（アパート、賃貸マンション）	給与住宅（社宅・官舎・独身寮等）	その他	不明・無回答
全体		1,289	16.6	4.7	3.4	0.8	2.5	56.8	11.9	1.9	1.4
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	393	0.3	1.5	0.0	0.0	0.5	70.2	23.7	1.8	2.0
	夫婦のみの世帯	363	11.6	7.2	0.6	0.6	1.9	67.8	7.7	1.1	1.7
	子どものいる世帯	391	34.8	5.6	1.3	0.3	5.1	43.5	7.2	2.0	0.3
	親と同居世帯	51	29.4	9.8	29.4	7.8	3.9	15.7	3.9	0.0	0.0
	三世代世帯	45	40.0	0.0	46.7	6.7	2.2	0.0	0.0	4.4	0.0
	その他の世帯	40	5.0	2.5	2.5	0.0	0.0	75.0	5.0	10.0	0.0

●現在（転入後）の世帯構成別に現在（転出後）の住居をみると、ひとり暮らし世帯・夫婦のみの世帯・子どものいる世帯・その他の世帯は「民間の借家（アパート、賃貸マンション）」、親と同居世帯は「持ち家（一戸建て）」と「親の家（一戸建て）」、三世代世帯は「親の家（一戸建て）」が最も多くなっています。

【転出前の住居別　現在（転出後）の住居】

		(n)	転出後(現在の)住居								
			持ち家（一戸建て）	持ち家（分譲マンション）	親の家（一戸建て）	親の家（分譲マンション）	民間の借家（一戸建て）	民間の借家（アパート、賃貸マンション）	給与住宅（社宅・官舎・独身寮等）	その他	不明・無回答
全体		1,289	16.6	4.7	3.4	0.8	2.5	56.8	11.9	1.9	1.4
転出前の住居	持ち家（一戸建て）	261	11.9	3.4	1.5	1.1	2.7	63.2	13.8	2.3	0.0
	持ち家（分譲マンション）	29	20.7	6.9	3.4	0.0	0.0	55.2	13.8	0.0	0.0
	親の家（一戸建て）	538	9.3	4.8	3.0	0.6	1.5	66.9	11.9	1.9	0.2
	親の家（分譲マンション）	68	5.9	4.4	2.9	2.9	1.5	63.2	19.1	0.0	0.0
	民間の借家（一戸建て）	22	18.2	4.5	13.6	0.0	9.1	45.5	9.1	0.0	0.0
	民間の借家（アパート、賃貸マンション）	218	32.1	4.6	6.4	0.5	4.6	45.0	4.6	1.8	0.5
	給与住宅（社宅・官舎・独身寮等）	118	39.8	6.8	3.4	0.8	2.5	26.3	18.6	1.7	0.0
	その他	16	12.5	6.3	0.0	0.0	6.3	43.8	12.5	18.8	0.0

●転出前の住居別に現在（転出後）の住居をみると、転出前は給与住宅（社宅・官舎・独身寮等）の人は「持ち家（一戸建て）」、そのほかの住居の人は「民間の借家（アパート、賃貸マンション）」が最も多くなっています。また、転出前は民間の借家（アパート、賃貸マンション）の人は、転出後は「持ち家（一戸建て）」が 30%台となっています。

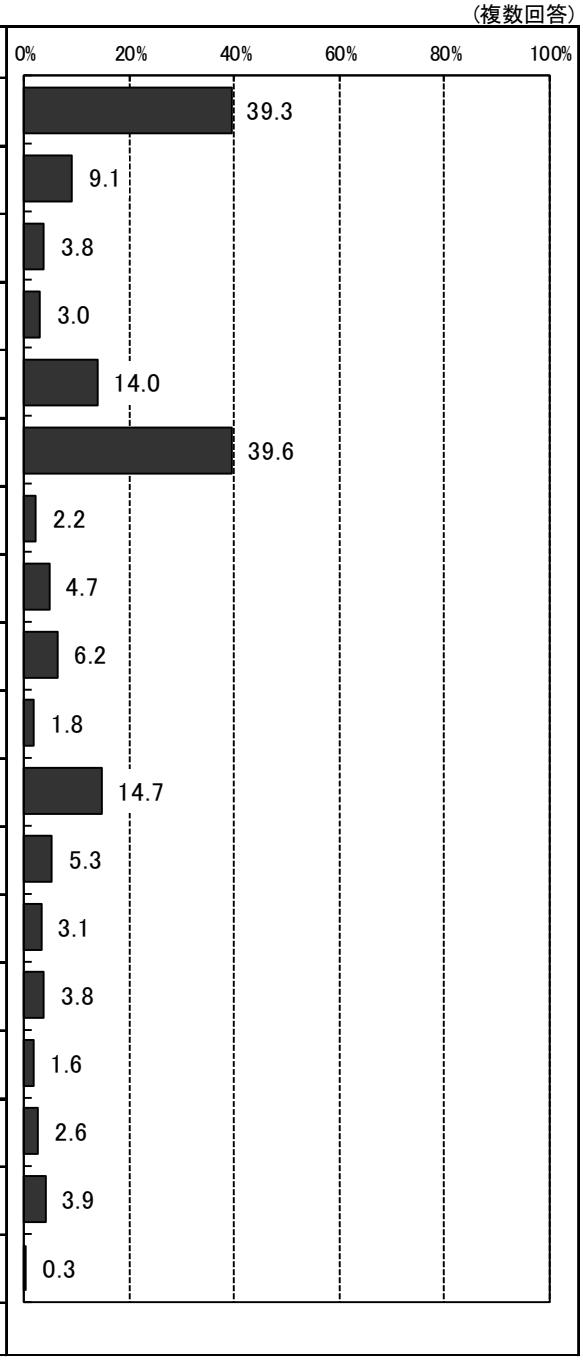
Ⅱ．転出の理由等について

問８　加古川市から転出した理由をすべてお答えください。また、転出理由の中で最も大きな理由を１つ、回答欄にご記入ください。

■転出した理由

（複数回答）

区分		
自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	(n=507)	39.3
家族の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	(n=117)	9.1
自分の学校上の理由（入学、進学等）	(n=49)	3.8
家族の学校上の理由（入学、進学等）	(n=39)	3.0
住宅事情（住宅購入、住み替え等）	(n=180)	14.0
結婚のため（事実婚を含む）	(n=510)	39.6
離婚のため	(n=29)	2.2
子どもが生まれたため（生まれる予定があったため）	(n=60)	4.7
子育て環境をより良くしたいため	(n=80)	6.2
教育環境をより良くしたいため	(n=23)	1.8
通勤・通学に不便であったため	(n=190)	14.7
バスや電車などの公共交通が不便であったため	(n=68)	5.3
生活環境（買い物など）が不便であったため	(n=40)	3.1
親や子ども等との同居、近居が必要になったため（親等の介護が必要になったなど）	(n=49)	3.8
地域の風潮、風土、文化が合わなかったため	(n=21)	1.6
自分または家族の生まれ、育ったまちではないため	(n=33)	2.6
その他	(n=50)	3.9
不明・無回答	(n=4)	0.3
全体	(n=1,289)	



●「結婚のため（事実婚を含む）」が 39.6%で最も多く、次いで「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」が 39.3%、「通勤・通学に不便であったため」が 14.7%となっています。

【年齢別　転出した理由】

		(n)	自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	家族の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	自分の学校上の理由（入学、進学等）	家族の学校上の理由（入学、進学等）	住宅事情（住宅購入、住み替え等）	結婚のため（事実婚を含む）	離婚のため	子どもが生まれたため（生まれる予定があったため）	子育て環境をより良くしたいため
全体		1,289	39.3	9.1	3.8	3.0	14.0	39.6	2.2	4.7	6.2
年齢別	20～24 歳	237	73.8	4.6	11.8	0.8	4.6	11.4	0.4	1.7	0.4
	25～29 歳	348	41.4	8.3	5.7	1.4	7.8	49.7	0.3	5.7	5.2
	30～34 歳	342	25.4	10.5	0.3	2.6	18.1	53.5	1.2	5.8	8.5
	35～39 歳	206	27.7	14.1	0.0	5.3	19.9	38.8	4.4	6.8	9.2
	40 歳以上	153	28.8	7.8	0.0	7.8	25.5	30.7	9.2	1.3	8.5

		(n)	教育環境をより良くしたいため	通勤・通学に不便であったため	バスや電車などの公共交通が不便であったため	生活環境（買い物など）が不便であったため	親や子ども等との同居、近居が必要になったため（親等の介護が必要になったなど）	地域の風潮、風土、文化が合わなかったため	自分または家族の生まれ、育ったまちではないため	その他	不明・無回答
全体		1,289	1.8	14.7	5.3	3.1	3.8	1.6	2.6	3.9	0.3
年齢別	20～24 歳	237	0.4	17.7	5.9	1.7	2.1	0.8	0.0	2.5	0.0
	25～29 歳	348	1.4	15.8	3.4	1.4	2.0	2.3	2.0	3.7	0.3
	30～34 歳	342	2.0	12.6	5.8	4.1	2.6	1.5	3.8	4.7	0.0
	35～39 歳	206	1.5	13.6	4.9	3.4	9.2	1.0	3.9	4.4	0.0
	40 歳以上	153	4.6	14.4	7.8	6.5	5.9	2.6	3.3	3.9	0.0

●年齢別にみると、20～24 歳は「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」、そのほかの年代は「結婚のため（事実婚を含む）」が最も多くなっています。２番目に多い回答は、20～24 歳は「通勤・通学に不便であったため」、そのほかの年代は「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」となっています。「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」は 40 歳以上のみ 20%台となっています。

【性別　転出した理由】

		(n)	自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	家族の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	自分の学校上の理由（入学、進学等）	家族の学校上の理由（入学、進学等）	住宅事情（住宅購入、住み替え等）	結婚のため（事実婚を含む）	離婚のため	子どもが生まれたため（生まれる予定があったため）	子育て環境をより良くしたいため
全体		1,289	39.3	9.1	3.8	3.0	14.0	39.6	2.2	4.7	6.2
性別	男性	558	48.0	6.6	5.2	3.6	17.4	34.6	1.1	4.8	7.7
	女性	725	32.8	11.0	2.8	2.6	11.4	43.6	3.2	4.6	5.1
	答えたくない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		(n)	教育環境をより良くしたいため	通勤・通学に不便であったため	バスや電車などの公共交通が不便であったため	生活環境（買い物など）が不便であったため	親や子ども等との同居、近居が必要になったため（親等の介護が必要になったなど）	地域の風潮、風土、文化が合わなかったため	自分または家族の生まれ、育ったまちではないため	その他	不明・無回答
全体		1,289	1.8	14.7	5.3	3.1	3.8	1.6	2.6	3.9	0.3
性別	男性	558	2.3	15.9	5.0	3.2	3.4	1.4	3.6	4.1	0.0
	女性	725	1.4	13.9	5.5	3.0	4.0	1.8	1.8	3.7	0.1
	答えたくない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

●性別にみると、男性は「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」、女性は「結婚のため（事実婚を含む）」が最も多くなっています。

【転出前の世帯構成別　転出した理由】

		(n)	自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	家族の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	自分の学校上の理由（入学、進学等）	家族の学校上の理由（入学、進学等）	住宅事情（住宅購入、住み替え等）	結婚のため（事実婚を含む）	離婚のため	子どもが生まれたため（生まれる予定があったため）	子育て環境をより良くしたいため
全体		1,289	39.3	9.1	3.8	3.0	14.0	39.6	2.2	4.7	6.2
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	44.2	8.7	1.0	0.0	15.4	50.0	1.0	1.9	2.9
	夫婦のみの世帯	63	28.6	19.0	0.0	1.6	34.9	6.3	4.8	15.9	12.7
	子どものいる世帯	181	18.2	11.0	0.6	14.9	49.7	3.3	10.5	7.7	25.4
	親と同居世帯	772	45.2	7.5	5.2	0.8	4.9	48.3	0.4	2.6	1.9
	三世代世帯	147	35.4	11.6	4.8	3.4	7.5	44.2	2.0	8.2	4.8
	その他の世帯	18	44.4	5.6	0.0	0.0	16.7	55.6	0.0	11.1	5.6

		(n)	教育環境をより良くしたいため	通勤・通学に不便であったため	バスや電車などの公共交通が不便であったため	生活環境（買い物など）が不便であったため	親や子ども等との同居、近居が必要になったため（親等の介護が必要になったなど）	地域の風潮、風土、文化が合わなかったため	自分または家族の生まれ、育ったまちではないため	その他	不明・無回答
全体		1,289	1.8	14.7	5.3	3.1	3.8	1.6	2.6	3.9	0.3
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	1.0	16.3	6.7	4.8	2.9	3.8	2.9	4.8	0.0
	夫婦のみの世帯	63	0.0	7.9	6.3	4.8	6.3	4.8	6.3	3.2	0.0
	子どものいる世帯	181	6.6	7.7	4.4	2.8	13.8	3.9	12.2	5.5	0.0
	親と同居世帯	772	0.8	16.8	5.3	3.0	1.4	0.4	0.4	3.1	0.1
	三世代世帯	147	2.7	15.0	4.8	2.7	3.4	1.4	0.7	5.4	0.0
	その他の世帯	18	0.0	11.1	5.6	0.0	5.6	11.1	0.0	5.6	0.0

●転出前の世帯構成別にみると、夫婦のみの世帯・子どものいる世帯は「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」、ほかの世帯は「結婚のため（事実婚を含む）」が最も多くなっています。

●２番目に多い回答は、子どものいる世帯は「子育て環境をより良くしたいため」、ほかの世帯は「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」となっています。

【現在（転出後）の世帯構成別　転出した理由】

		(n)	自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	家族の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	自分の学校上の理由（入学、進学等）	家族の学校上の理由（入学、進学等）	住宅事情（住宅購入、住み替え等）	結婚のため（事実婚を含む）	離婚のため	子どもが生まれたため（生まれる予定があったため）	子育て環境をより良くしたいため
全体		1,289	39.3	9.1	3.8	3.0	14.0	39.6	2.2	4.7	6.2
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	393	81.4	0.8	9.7	0.3	3.6	0.8	2.3	0.3	0.0
	夫婦のみの世帯	363	25.1	14.6	1.7	0.3	8.3	79.3	0.3	0.8	1.9
	子どものいる世帯	391	15.6	13.3	0.3	6.6	28.4	46.3	3.3	13.0	16.1
	親と同居世帯	51	27.5	11.8	0.0	0.0	23.5	25.5	5.9	0.0	2.0
	三世代世帯	45	6.7	2.2	2.2	20.0	26.7	26.7	6.7	11.1	20.0
	その他の世帯	40	37.5	5.0	7.5	5.0	2.5	32.5	0.0	0.0	0.0

		(n)	教育環境をより良くしたいため	通勤・通学に不便であったため	バスや電車などの公共交通が不便であったため	生活環境（買い物など）が不便であったため	親や子ども等との同居、近居が必要になったため（親等の介護が必要になったなど）	地域の風潮、風土、文化が合わなかったため	自分または家族の生まれ、育ったまちではないため	その他	不明・無回答
全体		1,289	1.8	14.7	5.3	3.1	3.8	1.6	2.6	3.9	0.3
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	393	0.3	24.2	8.4	4.6	0.5	1.3	0.5	4.3	0.3
	夫婦のみの世帯	363	0.8	13.5	5.0	3.6	1.4	1.4	1.4	2.2	0.0
	子どものいる世帯	391	4.1	7.9	2.8	1.8	4.9	1.8	5.1	3.8	0.0
	親と同居世帯	51	0.0	7.8	3.9	2.0	11.8	0.0	2.0	5.9	0.0
	三世代世帯	45	6.7	6.7	2.2	2.2	37.8	4.4	11.1	6.7	0.0
	その他の世帯	40	0.0	20.0	7.5	0.0	0.0	5.0	0.0	10.0	0.0

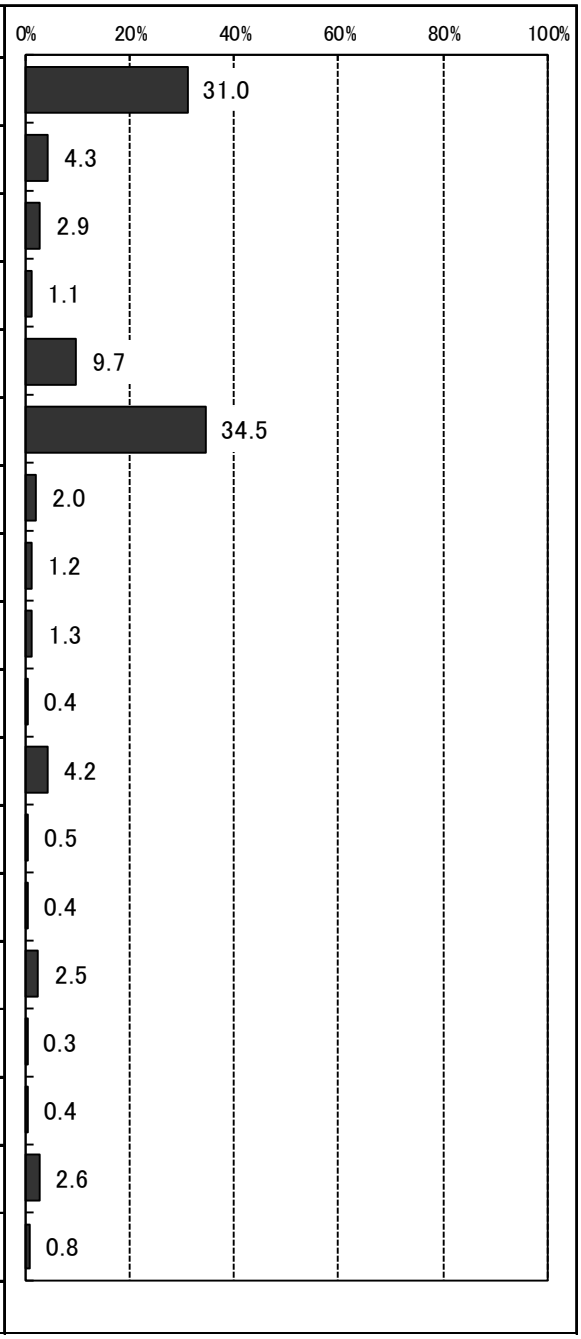
●現在の世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯・親と同居世帯・その他の世帯は「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」、夫婦のみの世帯・子どものいる世帯は「結婚のため（事実婚を含む）」、三世代世帯は「親や子ども等との同居、近居が必要になったため（親等の介護が必要になったなど）」が最も多くなっています。

●「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」は、子どものいる世帯・親と同居世帯・三世代世帯で20%台に対し、ほかの世帯は10%未満と差がみられます。

●「通勤・通学に不便であったため」は、ひとり暮らし世帯・その他の世帯で20%台となっています。

■転出した理由で最も大きな理由

区分		
自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	(n=400)	31.0
家族の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	(n=55)	4.3
自分の学校上の理由（入学、進学等）	(n=37)	2.9
家族の学校上の理由（入学、進学等）	(n=14)	1.1
住宅事情（住宅購入、住み替え等）	(n=125)	9.7
結婚のため（事実婚を含む）	(n=445)	34.5
離婚のため	(n=26)	2.0
子どもが生まれたため（生まれる予定があったため）	(n=15)	1.2
子育て環境をより良くしたいため	(n=17)	1.3
教育環境をより良くしたいため	(n=5)	0.4
通勤・通学に不便であったため	(n=54)	4.2
バスや電車などの公共交通が不便であったため	(n=6)	0.5
生活環境（買い物など）が不便であったため	(n=5)	0.4
親や子ども等との同居、近居が必要になったため（親等の介護が必要になったなど）	(n=32)	2.5
地域の風潮、風土、文化が合わなかったため	(n=4)	0.3
自分または家族の生まれ、育ったまちではないため	(n=5)	0.4
その他	(n=34)	2.6
不明・無回答	(n=10)	0.8
全体	(n=1,289)	



●「結婚のため（事実婚を含む）」が 34.5%で最も多く、次いで「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」が 31.0%、「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」が 9.7%となっています。

【年齢別　転出した理由で最も大きな理由】

		(n)	自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	家族の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	自分の学校上の理由（入学、進学等）	家族の学校上の理由（入学、進学等）	住宅事情（住宅購入、住み替え等）	結婚のため（事実婚を含む）	離婚のため	子どもが生まれたため（生まれる予定があったため）	子育て環境をより良くしたいため
全体		1,289	31.0	4.3	2.9	1.1	9.7	34.5	2.0	1.2	1.3
年齢別	20～24 歳	237	67.1	3.0	9.7	0.0	1.7	8.9	0.4	0.8	0.0
	25～29 歳	348	31.6	2.9	4.0	0.6	4.3	42.2	0.3	1.1	1.4
	30～34 歳	342	18.7	5.0	0.0	1.2	12.6	48.0	0.9	1.2	2.0
	35～39 歳	206	18.4	5.8	0.0	1.9	15.5	35.0	3.9	2.4	1.9
	40 歳以上	153	19.0	5.9	0.0	2.6	20.3	26.8	8.5	0.0	0.7

		(n)	教育環境をより良くしたいため	通勤・通学に不便であったため	バスや電車などの公共交通が不便であったため	生活環境（買い物など）が不便であったため	親や子ども等との同居、近居が必要になったため（親等の介護が必要になったなど）	地域の風潮、風土、文化が合わなかったため	自分または家族の生まれ、育ったまちではないため	その他	不明・無回答
全体		1,289	0.4	4.2	0.5	0.4	2.5	0.3	0.4	2.6	0.8
年齢別	20～24 歳	237	0.0	4.2	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	1.7	0.8
	25～29 歳	348	0.0	5.7	0.3	0.9	1.1	0.9	0.3	1.4	0.9
	30～34 歳	342	0.6	2.6	0.9	0.3	1.5	0.0	0.6	3.8	0.3
	35～39 歳	206	0.0	2.9	0.0	0.5	6.3	0.0	0.5	4.4	0.5
	40 歳以上	153	2.0	5.9	1.3	0.0	3.9	0.7	0.7	2.0	0.0

●年齢別にみると、20～24 歳は「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」、そのほかの年代は「結婚のため（事実婚を含む）」が最も多くなっています。

●「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」は 40 歳以上のみ 20%台と、ほかの年代より多くなっています。

【性別　転出した理由で最も大きな理由】

		(n)	自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	家族の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	自分の学校上の理由（入学、進学等）	家族の学校上の理由（入学、進学等）	住宅事情（住宅購入、住み替え等）	結婚のため（事実婚を含む）	離婚のため	子どもが生まれたため（生まれる予定があったため）	子育て環境をより良くしたいため
全体		1,289	31.0	4.3	2.9	1.1	9.7	34.5	2.0	1.2	1.3
性別	男性	558	37.8	1.4	3.8	1.3	11.3	29.6	0.9	1.4	1.6
	女性	725	25.9	6.5	2.2	1.0	8.6	38.5	2.9	1.0	1.1
	答えたくない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		(n)	教育環境をより良くしたいため	通勤・通学に不便であったため	バスや電車などの公共交通が不便であったため	生活環境（買い物など）が不便であったため	親や子ども等との同居、近居が必要になったため（親等の介護が必要になったなど）	地域の風潮、風土、文化が合わなかったため	自分または家族の生まれ、育ったまちではないため	その他	不明・無回答
全体		1,289	0.4	4.2	0.5	0.4	2.5	0.3	0.4	2.6	0.8
性別	男性	558	0.5	3.9	0.2	0.2	2.2	0.4	0.5	2.5	0.5
	女性	725	0.3	4.4	0.7	0.6	2.6	0.3	0.3	2.8	0.6
	答えたくない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

●性別にみると、男性は「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」、女性は「結婚のため（事実婚を含む）」が最も多くなっています。

【転出前の世帯構成別　転出した理由で最も大きな理由】

		(n)	自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	家族の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	自分の学校上の理由（入学、進学等）	家族の学校上の理由（入学、進学等）	住宅事情（住宅購入、住み替え等）	結婚のため（事実婚を含む）	離婚のため	子どもが生まれたため（生まれる予定があったため）	子育て環境をより良くしたいため
全体		1,289	31.0	4.3	2.9	1.1	9.7	34.5	2.0	1.2	1.3
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	33.7	2.9	0.0	0.0	6.7	42.3	0.0	0.0	0.0
	夫婦のみの世帯	63	23.8	17.5	0.0	1.6	27.0	3.2	3.2	11.1	3.2
	子どものいる世帯	181	14.4	5.0	0.0	6.1	37.6	2.8	9.9	1.1	5.5
	親と同居世帯	772	35.8	3.0	3.9	0.1	3.2	42.6	0.4	0.4	0.5
	三世代世帯	147	28.6	5.4	4.8	0.7	4.8	38.8	2.0	2.0	0.7
	その他の世帯	18	27.8	5.6	0.0	0.0	5.6	44.4	0.0	0.0	0.0

		(n)	教育環境をより良くしたいため	通勤・通学に不便であったため	バスや電車などの公共交通が不便であったため	生活環境（買い物など）が不便であったため	親や子ども等との同居、近居が必要になったため（親等の介護が必要になったなど）	地域の風潮、風土、文化が合わなかったため	自分または家族の生まれ、育ったまちではないため	その他	不明・無回答
全体		1,289	0.4	4.2	0.5	0.4	2.5	0.3	0.4	2.6	0.8
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	0.0	4.8	1.0	0.0	1.9	1.9	1.0	3.8	0.0
	夫婦のみの世帯	63	0.0	0.0	1.6	1.6	3.2	1.6	0.0	1.6	0.0
	子どものいる世帯	181	1.7	0.0	0.0	0.0	8.8	0.0	2.2	3.9	1.1
	親と同居世帯	772	0.1	5.4	0.5	0.5	0.9	0.1	0.0	1.9	0.5
	三世代世帯	147	0.7	4.1	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	4.1	0.7
	その他の世帯	18	0.0	5.6	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	5.6	0.0

●転出前の世帯構成別にみると、夫婦のみの世帯・子どものいる世帯は「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」、ほかの世帯は「結婚のため（事実婚を含む）」となっており、２番目に多い回答は世帯構成に関わらず「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」となっています。

●「家族の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」は夫婦のみの世帯のみ 10%台と、ほかの世帯より 10 ポイント以上多くなっています。

【現在の世帯構成別　転出した理由で最も大きな理由】

		(n)	自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	家族の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）	自分の学校上の理由（入学、進学等）	家族の学校上の理由（入学、進学等）	住宅事情（住宅購入、住み替え等）	結婚のため（事実婚を含む）	離婚のため	子どもが生まれたため（生まれる予定があったため）	子育て環境をより良くしたいため
全体		1,289	31.0	4.3	2.9	1.1	9.7	34.5	2.0	1.2	1.3
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	393	73.3	0.8	7.1	0.0	1.8	0.5	1.8	0.0	0.0
	夫婦のみの世帯	363	12.7	5.5	1.1	0.0	5.5	68.9	0.3	0.0	0.3
	子どものいる世帯	391	9.5	6.6	0.3	2.8	20.2	40.7	3.1	3.3	4.1
	親と同居世帯	51	21.6	7.8	0.0	0.0	19.6	25.5	5.9	0.0	0.0
	三世代世帯	45	2.2	0.0	2.2	4.4	17.8	22.2	6.7	4.4	0.0
	その他の世帯	40	35.0	5.0	7.5	2.5	2.5	27.5	0.0	0.0	0.0

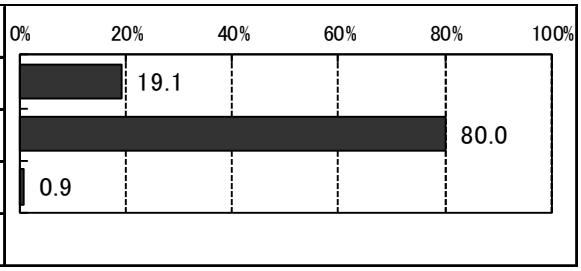
		(n)	教育環境をより良くしたいため	通勤・通学に不便であったため	バスや電車などの公共交通が不便であったため	生活環境（買い物など）が不便であったため	親や子ども等との同居、近居が必要になったため（親等の介護が必要になったなど）	地域の風潮、風土、文化が合わなかったため	自分または家族の生まれ、育ったまちではないため	その他	不明・無回答
全体		1,289	0.4	4.2	0.5	0.4	2.5	0.3	0.4	2.6	0.8
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	393	0.0	9.2	0.8	1.0	0.0	0.5	0.0	2.5	0.8
	夫婦のみの世帯	363	0.0	2.8	0.3	0.3	0.6	0.6	0.0	0.8	0.6
	子どものいる世帯	391	1.3	1.0	0.0	0.0	3.1	0.0	0.8	3.1	0.3
	親と同居世帯	51	0.0	0.0	3.9	0.0	9.8	0.0	0.0	3.9	2.0
	三世代世帯	45	0.0	0.0	0.0	0.0	28.9	0.0	4.4	6.7	0.0
	その他の世帯	40	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0

●現在の世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯・その他の世帯は「自分の仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」、三世代世帯は「親や子ども等との同居、近居が必要になったため（親等の介護が必要になったなど）」、ほかの世帯は「結婚のため（事実婚を含む）」が最も多くなっています。

●「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」は、子どものいる世帯のみ20%台となっています。

問９　現在のお住まい（転出先）を決めるにあたり、転出先の行政サービスや事業、取組を調べましたか。【１つに○】

区分	
調べた	(n=246)
調べていない	(n=1,031)
不明・無回答	(n=12)
全体	(n=1,289)



●「調べていない」が 80.0%、「調べた」が 19.1%となっています。

【年齢別・転出前の世帯構成別　転出先の行政サービス等の情報の収集状況】

		(n)	調べた	調べていない	不明・無回答
全体		1,289	19.1	80.0	0.9
年齢別	20～24 歳	237	11.8	86.9	1.3
	25～29 歳	348	16.1	83.0	0.9
	30～34 歳	342	25.7	73.7	0.6
	35～39 歳	206	24.3	75.2	0.5
	40 歳以上	153	15.0	83.0	2.0
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	14.4	85.6	0.0
	夫婦のみの世帯	63	22.2	77.8	0.0
	子どものいる世帯	181	40.9	58.6	0.6
	親と同居世帯	772	15.4	83.3	1.3
	三世代世帯	147	15.0	85.0	0.0
	その他の世帯	18	5.6	88.9	5.6

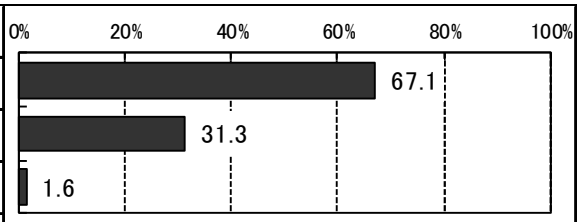
●年齢別みると、どの年代も「調べていない」が最も多くなっています。「調べた」は 30～39 歳の年代で 20%台となっています。

●転出前の世帯構成別にみると、世帯構成に関わらず「調べていない」が最も多くなっています。「調べた」は、子どものいる世帯のみ 40%台と、ほかの世帯より多くなっています。

問９で「１．調べた」と答えた方におうかがいします。

問 10　調べた転出先の行政サービスや事業、取組において、魅力を感じたものはありましたか。
【１つに○】

区分		
あった	(n=165)	67.1
なかった	(n=77)	31.3
不明・無回答	(n=4)	1.6
全体	(n=246)	



●「あった」が 67.1%、「なかった」が 31.3%となっています。

【年齢別・転出先の県下地域別　魅力を感じた転出先の行政サービス等の有無】

※ｎ数が 10 件以下は分析の対象外

		(n)	あった	なかった	不明・無回答
全体		246	67.1	31.3	1.6
年齢別	20～24 歳	28	46.4	50.0	3.6
	25～29 歳	56	71.4	25.0	3.6
	30～34 歳	88	71.6	28.4	0.0
	35～39 歳	50	64.0	36.0	0.0
	40 歳以上	23	73.9	21.7	4.3
転出先の県下地域別	神戸地域	20	25.0	70.0	5.0
	阪神南地域	17	70.6	29.4	0.0
	阪神北地域	4	25.0	50.0	25.0
	東播磨地域	110	86.4	12.7	0.9
	北播磨地域	20	70.0	30.0	0.0
	中播磨地域	13	30.8	69.2	0.0
	西播磨地域	2	100.0	0.0	0.0
	但馬地域	3	100.0	0.0	0.0
	丹波地域	1	0.0	100.0	0.0
	淡路地域	2	0.0	100.0	0.0

●年齢別にみると、20～24 歳は「なかった」、そのほかの年代は「あった」が最も多くなっています。

●転出先の県下地域別にみると、阪神南地域・東播磨地域・北播磨地域は「あった」、神戸地域・中播磨地域は「なかった」が最も多くなっています。

■魅力を感じた行政サービスや事業、取組【自由記述】

●兵庫県下

自治体名	魅力を感じた行政サービスや事業、取組
明石市（59 件）	○児童医療無償化、保育園 2 人目無料。
	○子育て支援政策。
	○子育て施策に力を入れている（こども広場など）。
	○子育て支援の充実。
	○保育園が二人目から無料。15 歳まで医療費の助成、妊娠の助成金。
	○保育施設の充実、子どもの医療費が無料。
	○子どもの保育費、医療費が安い。
	○子育て支援。子育てサービスの充実。
	○子育て支援。
	○子育て事業に力を入れている。
	○子育て支援。
	○第2子保育料無料。
	○子どもの医療制度（無償化）。
	○子育て支援の充実度。
	○保育料が無料となる。
	○子どもの医療費が中学校3年生まで無料。幼稚園は3歳から入園でき、預かり保育ができる。中学校給食が実施されている。
	○子どもの医療費無償化等、育児政策に力を入れているところ。
	○子育てサービス。子どもの医療費無料。
	○子育て。
	○第2子以降の保育料無料。子どもの外来、入院医療費負担なし。
	○子育て支援に力を入れている。
	○教育関連に力を入れている点。
	○子どもへの支援が手厚い。
	○今後子どもを出産した時に、中学生まで医療が無料であるという点。
	○保育料2人目無償化。
	○子育て支援が充実していた（医療費の無償化等）。
	○子育て環境。
	○子どもの医療費無料（0～15 歳まで）。保育料が 2 人目無料。
	○子育て環境が充実している。
	○中学生まで健康保険が無料で子育てにも安心。
	○子育て支援が充実していた。
	○子育て支援。
	○子ども医療費助成に所得制限がない。第2子以降の保育料の無償。
	○子育て支援、教育制度。

自治体名	魅力を感じた行政サービスや事業、取組
	○子育てに力を入れている。
	○子育て環境。
	○子育てに優しい。子ども 2 人以降保育料無料など。
	○子どもの医療費の保障。
	○子育てするのによいと思った。2 人目から無料（学費）。
	○子育て支援。
	○子育て。
	○子どもの医療費無料。
	○子育て支援が手厚かったため（中学 3 年生まで医療費無料など）。
	○子育てに関する事。
	○子育てしやすい。
	○子育て支援に力を入れているところに魅力を感じました。
	○子育て支援。
	○15 才まで医療費無料、保育園 2 人目無料。
	○子育て環境に力を入れていたところが魅力的だった。
	○子育て世帯に優しい取り組みに力を入れている。
	○子育て支援。
	○子育て。
	○子育てに手厚い。
	○子育て支援が手厚い。
	○子育て支援に力を入れていたため。
	○保育料 2 人目から無料。中学校給食導入→のちに給食代無料化。中3まで医療費無料。
	○子育て支援。
	○子どもの医療費。
	○子育て世代への行政サービス。
高砂市（13 件）	○新婚世帯家賃等補助金。
	○上下水道料金の違い、住民税の違い。
	○中学校まで医療費が無料。水道代。が安い。（現在では同じ）保育園に入りやすい。
	○新婚世帯に家賃補助金制度。
	○新婚世帯家賃補助。
	○住宅購入時の初年度固定資産税の返金。
	○3 歳児から 5 歳児の給食費を無償化。中学 3 年生まで医療費の自己負担額の無料化。
	○乳幼児等医療費助成。
	○新婚世帯手当（月 1 万円×12 ヵ月）。待機児童なし。
	○水道料金が安い。
	○結婚したら一定の所得以下であれば毎月 1 万円の支給がある。
	○子育て支援内容。
	○水道料金が安い。中学生までの医療費が無料。

自治体名	魅力を感じた行政サービスや事業、取組
播磨町（11 件）	○子育て支援が充実。子どもがのびのび育てられそう。
	○産後の助産師訪問。ベビーグッズのレンタル。
	○市民税の安さ。
	○中学 3 年生まで所得制限なく医療費が無料。
	○子どもに優しい。
	○子どもの医療費。
	○中学校給食が実施されている。
	○子どもの医療費が中学 3 年生まで出ること。
	○子ども医療費無料。中学校給食。
	○中学校に給食がある。医療費が中学 3 年まで無料。
	○医療費助成。待機児童の数。給食。
小野市（9 件）	○子どもの医療費 18 歳まで無料。
	○子育て事業の先駆。
	○高校生まで医療費無料。
	○医療費無料（子ども18まで）。
	○子育て支援　高校 3 年生まで医療費が無料など。
	○保育料の 3 割を市が負担してくれる。
	○子育て支援がよい。
	○子育て支援が手厚い。
	○子どもの医療費助成。高校生まで医療費完全無料。
西宮市（8 件）	○治安。子育ての充実。
	○DV被害支援があった　自助グループがあった。
	○教育環境の充実。
	○子どもの医療費助成制度。風しん予防接種の助成制度。
	○加古川市では子ども手当てが支給されなかったが西宮市では支給されるようになった。
	○保育士事業。保育制度の充実。
	○子育て。
稲美町（7 件）	○17 時になると子どもに家へ帰るように放送が流れる、これだけでも子育てに重点をおいていると思う。
	○親元と同じ町に戻ってくることで 18 万円分の商品券がもらえる。
	○中学3年生まで医療費が無料。出産祝いがもらえる。
	○子どもの医療費助成制度。
	○子育て支援が充実していたから。
	○中学校給食。15 歳まで医療費無料。
	○出産後、お米券プレゼント。
神戸市（5 件）	○シティハイツ制度。新婚他市からの転入者への支援制度。子育て支援。
	○市バスの本数が多くて便利なところ。
	○資源への取り組み。

自治体名	魅力を感じた行政サービスや事業、取組
	○子育て支援等。
	○”精神手帳 3 級”ですが福祉乗車証で、市バスやポートライナー、六甲ライナー、地下鉄が無料で利用できるので通院や買い物、用事等で出掛けやすく交通費の負担が少なくて済む。元々、勤めていた場所や職場で、行政サービスを知っていた。
姫路市（5 件）	○女性の保護シェルターやお米の貸し出しをしてくれる NPO 法人の紹介、住宅がない人への相談窓口。
	○これから栄えるところ。
	○風しん対策万全。
	○新生児の聴力検査を無料で受けられるようになったこと。
	○文教住宅都市の通り街の都市開発が進んでいたり、小学校の新設も多くて子育てするのに安心できる還境である。
西脇市（2 件）	○播州織のデザイナー育成及び起業支援補助・空き家等を利用、改修した IT 関連事業所開設の補助（市による上乗せ）。
	○ファッション都市構想。
相生市	○子育てに対する支援（手当て）がよかった。
芦屋市	○市の税収が多いため、行政サービスが行き届いている。
加古川市	○子育てサービスの充実。
たつの市	○未就学児保育・子どもの医療費無償（中学 3 年生まで）。
豊岡市	○城崎町民は外湯を100円で利用可能。
三木市	○子育て支援（医療費助成など）。
加西市	○新婚世帯向け家賃補助制度。こども医療費助成制度。
朝来市	○都会からの田舎暮らし、家賃補助制度に魅力を持った。
養父市	○国家戦略特区。

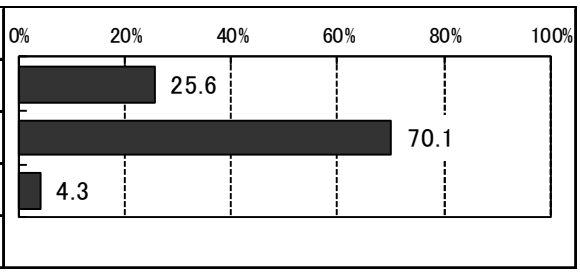
●兵庫県以外

都道府県	自治体名	魅力を感じた行政サービスや事業、取組
茨城県	守谷市	○通勤に便利。
群馬県	前橋市	○子育て施設、支援について。
千葉県	船橋市	○子供の医療費補助。
東京都（6 件）	杉並区	○待機児童ゼロ、保育施設の充実。
	墨田区	○不妊治療への助成金。
	千代田区	○2年ごとの健康診断。
	練馬区	○待機児童の解消に積極的だった。
	葛飾区	○調べたが結局、土地の値段の安い区に住むことになった。子育てに手あつい所は魅力的である。しかし、葛飾区は健康診査が毎年無料で受けれ、40 歳以上はもう少し検査ができるこれはすばらしい。子ども 2 人以上で電動自転車購入の補助がある。

都道府県	自治体名	魅力を感じた行政サービスや事業、取組
	足立区	○防災無線を使い下校の見守りや振り込め詐欺などへの注意喚起をしている。
神奈川県（2 件）	川崎市	○子育てに優しい。治安がよい。
	横浜市	○妊産婦への行政サービス→ホームヘルパー派遣が 1 日 2 時間で 1,500 円と安い。また、母子手帳のデザインがかわいい。
富山県	氷見市	○子育て支援。
滋賀県	大津市	○子育て環境がよかった。
京都府（2 件）	京都市	○子どもの医療手当。
	福知山市	○住民票を移した者への助成金制度。
大阪府（5 件）	大阪市（2 件）	○都市再生、リノベーションプロジェクト。
		○児童館などが充実している。
	吹田市（2 件）	○こども医療費の助成が中学生まである。
		○子育て支援。
	豊中市	○こどもの医療費助成が 15 歳までだったのが 18 歳までになった。
和歌山県	日高川町	○移住奨励金、空き家改修費補助など。
岡山県	備前市	○保育料無料。
山口県	宇部市	○引越助成金。
佐賀県	三養基郡基山町	○不妊治療の助成金。
宮崎県	宮崎市	○移住支援金。

問 11　現在のお住まい（転出先）以外に住むことを検討した市区町村はありますか。【１つに〇】
また、「１．ある」と答えた方は、その市区町村をご記入ください。

区分	
ある	(n=330)
ない	(n=904)
不明・無回答	(n=55)
全体	(n=1,289)

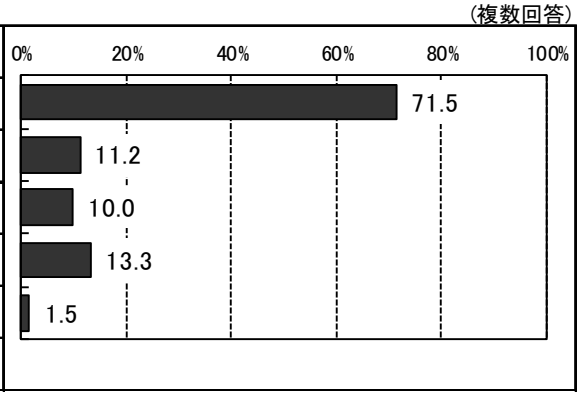


●「ない」が 70.1%、「ある」が 25.6%となっています。

■現在の住まい以外に検討した都道府県

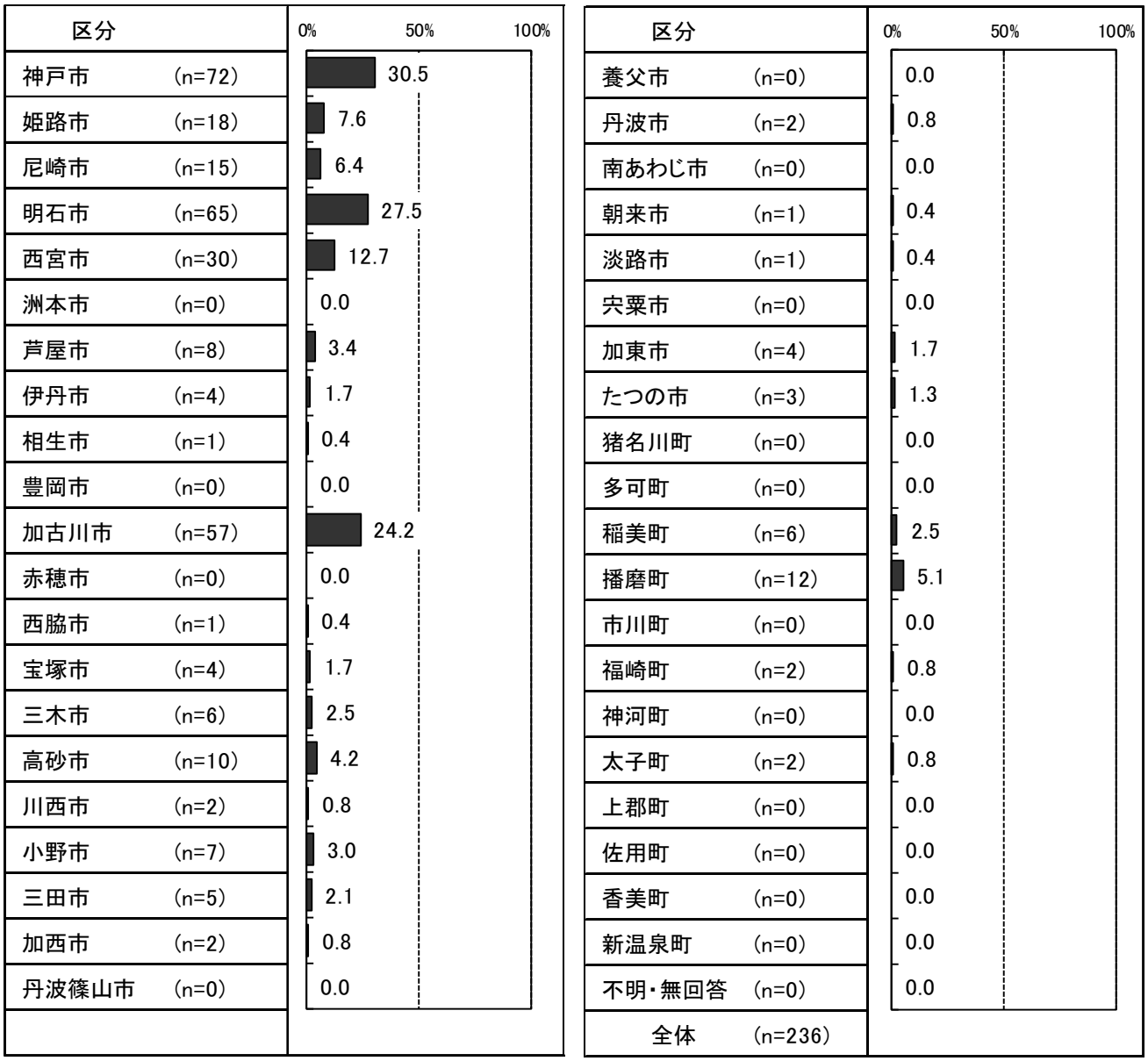
（複数回答）

区分	
兵庫県内	(n=236)
大阪府内	(n=37)
東京都内	(n=33)
その他	(n=44)
不明・無回答	(n=5)
全体	(n=330)



●「兵庫県内」が 71.5%で最も多く、次いで「その他」が 13.3%、「大阪府内」が 11.2%となっています。

■現在の住まい以外に検討した兵庫県の市町



●「神戸市」が 30.5%で最も多く、次いで「明石市」が 27.5%、「加古川市」が 24.2%となっています。

【年齢別　現在の住まい以外に検討した兵庫県の市町】

		(n)	神戸市	姫路市	尼崎市	明石市	西宮市	洲本市	芦屋市	伊丹市	相生市	豊岡市	加古川市	赤穂市	西脇市	宝塚市
全体		236	30.5	7.6	6.4	27.5	12.7	0.0	3.4	1.7	0.4	0.0	24.2	0.0	0.4	1.7
年齢別	20～24 歳	16	37.5	0.0	25.0	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3
	25～29 歳	61	31.1	4.9	4.9	27.9	21.3	0.0	4.9	4.9	0.0	0.0	18.0	0.0	0.0	3.3
	30～34 歳	83	28.9	7.2	4.8	34.9	6.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	34.9	0.0	1.2	0.0
	35～39 歳	40	35.0	2.5	7.5	25.0	10.0	0.0	2.5	2.5	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	2.5
	40 歳以上	35	25.7	22.9	2.9	20.0	2.9	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	17.1	0.0	0.0	0.0

		(n)	三木市	高砂市	川西市	小野市	三田市	加西市	丹波篠山市	養父市	丹波市	南あわじ市	朝来市	淡路市	宍粟市	加東市
全体		236	2.5	4.2	0.8	3.0	2.1	0.8	0.0	0.0	0.8	0.0	0.4	0.4	0.0	1.7
年齢別	20～24 歳	16	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25～29 歳	61	1.6	0.0	0.0	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0
	30～34 歳	83	3.6	7.2	0.0	4.8	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6
	35～39 歳	40	2.5	5.0	2.5	2.5	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40 歳以上	35	2.9	2.9	0.0	2.9	5.7	0.0	0.0	0.0	5.7	0.0	2.9	0.0	0.0	2.9

		(n)	たつの市	猪名川町	多可町	稲美町	播磨町	市川町	福崎町	神河町	太子町	上郡町	佐用町	香美町	新温泉町	不明・無回答
全体		236	1.3	0.0	0.0	2.5	5.1	0.0	0.8	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	20～24 歳	16	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25～29 歳	61	1.6	0.0	0.0	1.6	1.6	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～34 歳	83	1.2	0.0	0.0	3.6	6.0	0.0	1.2	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	35～39 歳	40	0.0	0.0	0.0	0.0	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40 歳以上	35	2.9	0.0	0.0	5.7	5.7	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

●年齢別にみると、20～24 歳は「神戸市」と「西宮市」、30～34 歳は「明石市」と「加古川市」、そのほかの年代は「神戸市」が最も多くなっています。

【転出前の世帯構成別　現在の住まい以外に検討した兵庫県の市町】

		(n)	神戸市	姫路市	尼崎市	明石市	西宮市	洲本市	芦屋市	伊丹市	相生市	豊岡市	加古川市	赤穂市	西脇市	宝塚市
全体		236	30.5	7.6	6.4	27.5	12.7	0.0	3.4	1.7	0.4	0.0	24.2	0.0	0.4	1.7
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	30	43.3	3.3	0.0	30.0	13.3	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	3.3
	夫婦のみの世帯	18	33.3	16.7	0.0	38.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38.9	0.0	0.0	0.0
	子どものいる世帯	44	9.1	18.2	2.3	34.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.4	0.0	2.3	0.0
	親と同居世帯	116	33.6	4.3	9.5	20.7	17.2	0.0	3.4	2.6	0.9	0.0	22.4	0.0	0.0	2.6
	三世代世帯	23	34.8	4.3	13.0	34.8	21.7	0.0	8.7	4.3	0.0	0.0	8.7	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	4	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0

		(n)	三木市	高砂市	川西市	小野市	三田市	加西市	丹波篠山市	養父市	丹波市	南あわじ市	朝来市	淡路市	宍粟市	加東市
全体		236	2.5	4.2	0.8	3.0	2.1	0.8	0.0	0.0	0.8	0.0	0.4	0.4	0.0	1.7
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	30	13.3	6.7	0.0	6.7	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3
	夫婦のみの世帯	18	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6
	子どものいる世帯	44	2.3	9.1	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3
	親と同居世帯	116	0.0	3.4	0.9	2.6	3.4	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
	三世代世帯	23	4.3	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0

		(n)	たつの市	猪名川町	多可町	稲美町	播磨町	市川町	福崎町	神河町	太子町	上郡町	佐用町	香美町	新温泉町	不明・無回答
全体		236	1.3	0.0	0.0	2.5	5.1	0.0	0.8	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	30	3.3	0.0	0.0	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	夫婦のみの世帯	18	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子どものいる世帯	44	0.0	0.0	0.0	2.3	18.2	0.0	2.3	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	親と同居世帯	116	0.9	0.0	0.0	2.6	0.9	0.0	0.9	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	三世代世帯	23	4.3	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

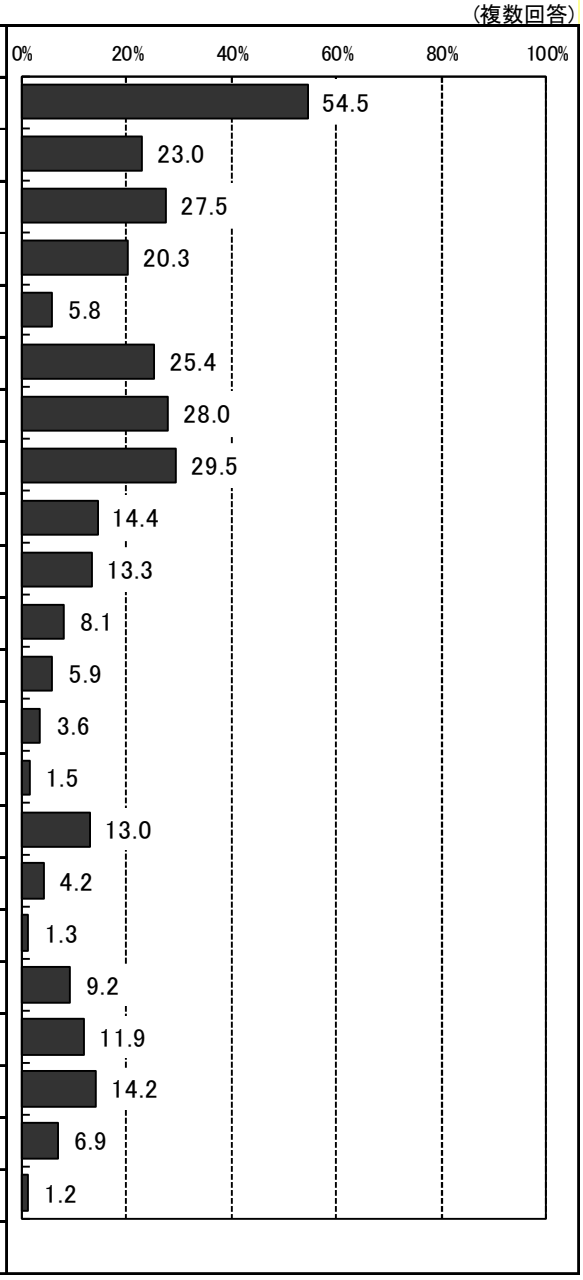
●転出前の世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯・親と同居世帯は「神戸市」、夫婦のみの世帯は「明石市」と「加古川市」、子どものいる世帯は「加古川市」、三世代世帯は「神戸市」と「明石市」が最も多くなっています。

問 12　現在のお住まい（転出先）を選んだ際、決め手となったことはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。また、決め手となった理由のうち、最も大きな理由を１つ、回答欄にご記入ください。

■転出先として決め手となった理由

（複数回答）

区分		
通勤・通学の利便性	(n=702)	54.5
バスや電車などの公共交通の利便性	(n=297)	23.0
最寄り駅が近い（駅へのアクセスが良い）	(n=355)	27.5
都心部へのアクセスが良い	(n=262)	20.3
レジャー・娯楽施設が充実している	(n=75)	5.8
買い物等の日常生活の利便性	(n=327)	25.4
住宅条件が良い（広さや周囲の静けさなど）	(n=361)	28.0
家賃・住宅の価格	(n=380)	29.5
まちなみや、まちの雰囲気	(n=185)	14.4
治安	(n=172)	13.3
公園や自然環境	(n=104)	8.1
自然災害が少ない	(n=76)	5.9
医療環境が充実している	(n=47)	3.6
福祉サービスが充実している	(n=19)	1.5
子育て環境が充実している	(n=167)	13.0
小中高校などの教育環境が充実している	(n=54)	4.2
道路や下水道などの都市基盤が整っている	(n=17)	1.3
自分または家族が生まれ育ったところだから	(n=119)	9.2
親族等が住んでいるため	(n=154)	11.9
住宅が用意されていたため（社宅、家族との同居等）	(n=183)	14.2
その他	(n=89)	6.9
不明・無回答	(n=15)	1.2
全体	(n=1,289)	



●「通勤・通学の利便性」が 54.5%で最も多く、次いで「家賃・住宅の価格」が 29.5%、「住宅条件が良い（広さや周囲の静けさなど）」が 28.0%となっています。

【年齢別　転出先として決め手となった理由】

		(n)	通勤・通学の利便性	バスや電車などの公共交通の利便性	最寄り駅が近い(駅へのアクセスが良い)	都心部へのアクセスが良い	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物等の日常生活の利便性	住宅条件が良い(広さや周囲の静けさなど)	家賃・住宅の価格	まちなみや、まちの雰囲気	治安	公園や自然環境
全体		1,289	54.5	23.0	27.5	20.3	5.8	25.4	28.0	29.5	14.4	13.3	8.1
年齢別	20～24 歳	237	62.9	21.5	27.4	21.9	6.3	21.9	18.1	32.1	9.3	11.0	2.5
	25～29 歳	348	56.0	27.9	27.0	23.6	7.5	28.2	26.7	30.5	15.8	15.5	8.3
	30～34 歳	342	54.1	25.1	31.3	21.6	5.6	27.2	31.3	29.2	16.1	13.5	10.2
	35～39 歳	206	49.0	19.9	25.7	18.9	4.4	19.9	36.4	28.6	17.5	13.1	7.8
	40 歳以上	153	45.1	13.7	22.9	9.2	3.3	26.8	26.8	24.2	11.1	12.4	11.8

		(n)	自然災害が少ない	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	小中高校などの教育環境が充実している	道路や下水道などの都市基盤が整っている	自分または家族が生まれ育ったところだから	親族等が住んでいるため	住宅が用意されていたため(社宅、家族との同居等)	その他	不明・無回答
全体		1,289	5.9	3.6	1.5	13.0	4.2	1.3	9.2	11.9	14.2	6.9	1.2
年齢別	20～24 歳	237	3.0	0.8	1.3	3.8	0.8	0.8	2.5	5.1	23.2	3.8	1.7
	25～29 歳	348	5.2	3.4	1.4	10.6	4.0	0.6	9.5	9.2	14.1	5.5	0.6
	30～34 歳	342	7.3	5.0	1.2	17.8	4.4	1.5	9.6	11.4	10.2	5.6	1.2
	35～39 歳	206	5.8	3.9	0.5	18.9	6.3	1.0	11.2	18.0	11.2	10.2	1.0
	40 歳以上	153	9.2	5.2	3.9	13.7	6.5	3.9	15.7	21.6	13.7	13.7	2.0

●年齢別にみると、どの年代も「通勤・通学の利便性」が最も多く、20～24 歳は 60%を超えています。

●２番目に多い回答は、20～29 歳の年代は「家賃・住宅の価格」、30～34 歳は「最寄り駅が近い（駅へのアクセスが良い)」と「住宅条件が良い（広さや周囲の静けさなど)」、35～39 歳は「住宅条件が良い（広さや周囲の静けさなど)」、40 歳以上は「買い物等の日常生活の利便性」と「住宅条件が良い（広さや周囲の静けさなど)」となっています。

【転出先の県下地域別　転出先として決め手となった理由】※n数が10件以下は分析の対象外

		(n)	通勤・通学の利便性	バスや電車などの公共交通の利便性	最寄り駅が近い（駅へのアクセスが良い）	都心部へのアクセスが良い	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物等の日常生活の利便性	住宅条件が良い（広さや周囲の静けさなど）	家賃・住宅の価格	まちなみや、まちの雰囲気	治安	公園や自然環境
全体		1,289	54.5	23.0	27.5	20.3	5.8	25.4	28.0	29.5	14.4	13.3	8.1
転出先の県下地域別	神戸地域	190	62.1	33.7	38.4	30.0	9.5	30.5	25.3	25.8	18.9	10.5	6.8
	阪神南地域	76	63.2	35.5	38.2	42.1	9.2	30.3	28.9	25.0	26.3	18.4	5.3
	阪神北地域	27	48.1	25.9	29.6	25.9	7.4	14.8	44.4	29.6	33.3	40.7	22.2
	東播磨地域	308	48.1	20.8	28.9	8.8	3.9	24.4	35.7	33.1	13.3	11.4	10.7
	北播磨地域	47	29.8	2.1	2.1	2.1	0.0	14.9	46.8	34.0	10.6	12.8	14.9
	中播磨地域	119	48.7	17.6	20.2	10.1	8.4	31.1	26.1	23.5	10.9	7.6	5.0
	西播磨地域	21	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	9.5	14.3	4.8	14.3	14.3
	但馬地域	12	41.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0
	丹波地域	5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	40.0	20.0	0.0	40.0
	淡路地域	7	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	28.6	0.0	14.3	14.3	14.3

		(n)	自然災害が少ない	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	小中高校などの教育環境が充実している	道路や下水道などの都市基盤が整っている	自分または家族が生まれ育ったところだから	親族等が住んでいるため	住宅が用意されていたため（社宅、家族との同居等）	その他	不明・無回答
全体		1,289	5.9	3.6	1.5	13.0	4.2	1.3	9.2	11.9	14.2	6.9	1.2
転出先の県下地域別	神戸地域	190	5.3	4.2	2.1	4.2	4.2	0.5	9.5	8.9	11.1	5.8	2.6
	阪神南地域	76	3.9	2.6	3.9	7.9	6.6	2.6	2.6	1.3	18.4	7.9	1.3
	阪神北地域	27	11.1	0.0	0.0	7.4	14.8	3.7	11.1	18.5	0.0	7.4	0.0
	東播磨地域	308	7.5	5.5	2.9	30.8	6.8	1.0	12.7	16.2	6.2	8.1	1.0
	北播磨地域	47	4.3	10.6	0.0	25.5	6.4	4.3	29.8	25.5	21.3	10.6	0.0
	中播磨地域	119	5.0	3.4	0.8	4.2	3.4	4.2	14.3	15.1	13.4	11.8	0.8
	西播磨地域	21	9.5	4.8	0.0	23.8	4.8	0.0	19.0	19.0	28.6	14.3	0.0
	但馬地域	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	25.0	41.7	0.0	8.3
	丹波地域	5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	淡路地域	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	28.6	28.6	28.6	0.0

●転出先の県下地域別にみると、北播磨地域は「住宅条件が良い（広さや周囲の静けさなど）」、そのほかの地域は「通勤・通学の利便性」が最も多く、「通勤・通学の利便性」は神戸地域・阪神南地域は60%を超えて多くなっています。

【転出前の世帯構成別　転出先として決め手となった理由】

		(n)	通勤・通学の利便性	バスや電車などの公共交通の利便性	最寄り駅が近い（駅へのアクセスが良い）	都心部へのアクセスが良い	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物等の日常生活の利便性	住宅条件が良い（広さや周囲の静けさなど）	家賃・住宅の価格	まちなみや、まちの雰囲気	治安	公園や自然環境
全体		1,289	54.5	23.0	27.5	20.3	5.8	25.4	28.0	29.5	14.4	13.3	8.1
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	51.0	22.1	27.9	14.4	4.8	22.1	32.7	29.8	19.2	16.3	9.6
	夫婦のみの世帯	63	44.4	25.4	31.7	15.9	6.3	31.7	34.9	42.9	9.5	15.9	7.9
	子どものいる世帯	181	31.5	14.4	21.5	7.2	3.3	20.4	38.1	22.7	16.6	18.2	17.7
	親と同居世帯	772	59.1	24.1	28.5	24.1	7.0	26.4	26.0	31.1	14.0	12.7	6.6
	三世代世帯	147	63.9	25.9	25.9	23.8	2.7	23.1	19.0	25.2	13.6	8.8	3.4
	その他の世帯	18	61.1	38.9	44.4	11.1	5.6	38.9	22.2	11.1	5.6	5.6	5.6

		(n)	自然災害が少ない	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	小中高校などの教育環境が充実している	道路や下水道などの都市基盤が整っている	自分または家族が生まれ育ったところだから	親族等が住んでいるため	住宅が用意されていたため（社宅、家族との同居等）	その他	不明・無回答
全体		1,289	5.9	3.6	1.5	13.0	4.2	1.3	9.2	11.9	14.2	6.9	1.2
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	5.8	0.0	1.9	7.7	5.8	1.9	9.6	14.4	13.5	6.7	0.0
	夫婦のみの世帯	63	7.9	7.9	4.8	19.0	4.8	0.0	9.5	17.5	12.7	9.5	0.0
	子どものいる世帯	181	12.7	7.2	2.2	35.9	13.3	3.9	23.8	29.8	9.4	10.5	1.1
	親と同居世帯	772	4.7	2.8	0.9	8.4	1.9	0.6	6.0	7.6	15.7	6.0	1.4
	三世代世帯	147	3.4	3.4	2.0	10.2	4.1	2.0	8.8	6.8	14.3	6.1	0.0
	その他の世帯	18	5.6	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	5.6	22.2	11.1	11.1	11.1

●転出前の世帯構成別にみると、子どものいる世帯は「住宅条件が良い（広さや周囲の静けさなど）」、ほかの世帯は「通勤・通学の利便性」が最も多くなっています。

●子どものいる世帯は「通勤・通学の利便性」は 30%台と、ほかの世帯より低くなっていますが、「子育て環境が充実している」「自分または家族が生まれ育ったところだから」「親族等が住んでいるため」はほかの世帯より多くなっています。

●「家賃・住宅の価格」は夫婦のみの世帯のみ 40%台と、ほかの世帯より多くなっています。

【現在の世帯構成別　転出先として決め手となった理由】

		(n)	通勤・通学の利便性	バスや電車などの公共交通の利便性	最寄り駅が近い（駅へのアクセスが良い）	都心部へのアクセスが良い	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物等の日常生活の利便性	住宅条件が良い（広さや周囲の静けさなど）	家賃・住宅の価格	まちなみや、まちの雰囲気	治安	公園や自然環境
全体		1,289	54.5	23.0	27.5	20.3	5.8	25.4	28.0	29.5	14.4	13.3	8.1
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	393	71.2	26.2	29.8	25.7	7.9	23.2	18.8	32.3	13.2	10.7	3.1
	夫婦のみの世帯	363	57.9	28.7	29.8	23.4	6.9	29.8	34.2	29.8	14.0	15.2	6.6
	子どものいる世帯	391	42.5	17.4	25.3	13.3	3.6	26.1	33.2	30.2	15.1	14.6	13.8
	親と同居世帯	51	21.6	13.7	15.7	9.8	2.0	9.8	17.6	7.8	17.6	11.8	9.8
	三世代世帯	45	13.3	4.4	8.9	4.4	0.0	15.6	22.2	11.1	13.3	15.6	13.3
	その他の世帯	40	60.0	30.0	42.5	35.0	7.5	30.0	30.0	35.0	17.5	10.0	7.5

		(n)	自然災害が少ない	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	小中高校などの教育環境が充実している	道路や下水道などの都市基盤が整っている	自分または家族が生まれ育ったところだから	親族等が住んでいるため	住宅が用意されていたため（社宅、家族との同居等）	その他	不明・無回答
全体		1,289	5.9	3.6	1.5	13.0	4.2	1.3	9.2	11.9	14.2	6.9	1.2
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	393	2.8	1.3	0.8	0.0	0.0	0.5	0.8	0.8	18.8	3.3	2.0
	夫婦のみの世帯	363	5.8	4.4	1.7	9.4	3.6	0.8	7.2	9.9	11.3	7.2	1.7
	子どものいる世帯	391	8.4	5.9	2.3	30.4	9.5	2.0	15.9	18.4	7.4	11.0	0.3
	親と同居世帯	51	7.8	2.0	2.0	3.9	2.0	3.9	15.7	25.5	31.4	7.8	0.0
	三世代世帯	45	13.3	2.2	0.0	22.2	6.7	4.4	44.4	60.0	37.8	2.2	0.0
	その他の世帯	40	2.5	2.5	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	5.0	15.0	5.0	0.0

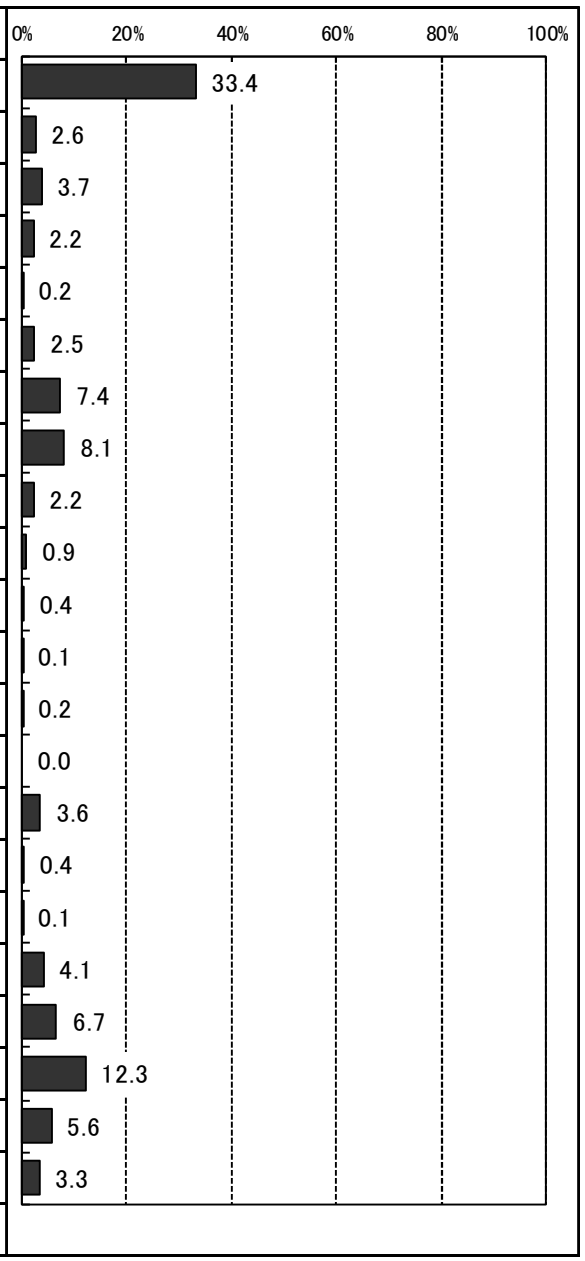
●現在（転出後）の世帯構成別にみると、親と同居世帯は「住宅が用意されていたため（社宅、家族との同居等）」、三世代世帯は「親族等が住んでいるため」、ほかの世帯は「通勤・通学の利便性」が最も多くなっています。

●「子育て環境が充実している」は子どものいる世帯のみ 30%台と、ほかの世帯より多くなっています。

●「自分または家族が生まれ育ったところだから」は三世代世帯のみ 40%台と、ほかの世帯より多くなっています。

■転出先として決め手となった最も大きな理由

区分		
通勤・通学の利便性	(n=430)	33.4
バスや電車などの公共交通の利便性	(n=34)	2.6
最寄り駅が近い(駅へのアクセスが良い)	(n=48)	3.7
都心部へのアクセスが良い	(n=28)	2.2
レジャー・娯楽施設が充実している	(n=3)	0.2
買い物等の日常生活の利便性	(n=32)	2.5
住宅条件が良い(広さや周囲の静けさなど)	(n=95)	7.4
家賃・住宅の価格	(n=105)	8.1
まちなみや、まちの雰囲気	(n=29)	2.2
治安	(n=12)	0.9
公園や自然環境	(n=5)	0.4
自然災害が少ない	(n=1)	0.1
医療環境が充実している	(n=2)	0.2
福祉サービスが充実している	(n=0)	0.0
子育て環境が充実している	(n=46)	3.6
小中高校などの教育環境が充実している	(n=5)	0.4
道路や下水道などの都市基盤が整っている	(n=1)	0.1
自分または家族が生まれ育ったところだから	(n=53)	4.1
親族等が住んでいるため	(n=86)	6.7
住宅が用意されていたため(社宅、家族との同居等)	(n=159)	12.3
その他	(n=72)	5.6
不明・無回答	(n=43)	3.3
全体	(n=1,289)	



●「通勤・通学の利便性」が 33.4%で最も多く、次いで「住宅が用意されていたため（社宅、家族との同居等)」が 12.3%、「家賃・住宅の価格」が 8.1%となっています。

【年齢別　転出先として決め手となった最も大きな理由】

		(n)	通勤・通学の利便性	バスや電車などの公共交通の利便性	最寄り駅が近い(駅へのアクセスが良い)	都心部へのアクセスが良い	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物等の日常生活の利便性	住宅条件が良い(広さや周囲の静けさなど)	家賃・住宅の価格	まちなみや、まちの雰囲気	治安	公園や自然環境
全体		1,289	33.4	2.6	3.7	2.2	0.2	2.5	7.4	8.1	2.2	0.9	0.4
年齢別	20～24 歳	237	43.0	2.5	5.1	3.4	0.0	1.3	3.4	8.0	1.3	0.4	0.0
	25～29 歳	348	36.5	3.7	3.7	0.6	0.3	2.6	5.2	9.8	3.7	1.4	0.6
	30～34 歳	342	30.4	2.9	4.1	2.9	0.3	3.8	9.6	6.4	2.0	0.6	0.9
	35～39 歳	206	25.7	1.9	1.5	2.9	0.0	1.9	9.2	10.2	1.5	1.9	0.0
	40 歳以上	153	28.1	0.7	3.9	0.7	0.7	2.0	10.5	5.9	2.0	0.0	0.0

		(n)	自然災害が少ない	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	小中高校などの教育環境が充実している	道路や下水道などの都市基盤が整っている	自分または家族が生まれ育ったところだから	親族等が住んでいるため	住宅が用意されていたため(社宅、家族との同居等)	その他	不明・無回答
全体		1,289	0.1	0.2	0.0	3.6	0.4	0.1	4.1	6.7	12.3	5.6	3.3
年齢別	20～24 歳	237	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.4	1.3	3.8	19.0	3.0	3.8
	25～29 歳	348	0.0	0.3	0.0	3.2	0.0	0.0	4.0	3.7	13.2	4.3	3.2
	30～34 歳	342	0.3	0.3	0.0	7.3	0.3	0.0	5.6	5.8	9.1	4.4	2.9
	35～39 歳	206	0.0	0.0	0.0	2.4	1.0	0.0	3.4	13.1	9.2	9.2	4.9
	40 歳以上	153	0.0	0.0	0.0	2.6	1.3	0.0	6.5	11.1	11.8	10.5	2.0

●年齢別にみると、どの年代も「通勤・通学の利便性」が最も多く、特に 20～24 歳は 40%台と、ほかの年代よりも多くなっています。

【転出先の県下地域別　転出先として決め手となった最も大きな理由】※n数が10件以下は分析の対象外

		(n)	通勤・通学の利便性	バスや電車などの公共交通の利便性	最寄り駅が近い（駅へのアクセスが良い）	都心部へのアクセスが良い	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物等の日常生活の利便性	住宅条件が良い（広さや周囲の静けさなど）	家賃・住宅の価格	まちなみや、まちの雰囲気	治安	公園や自然環境
全体		1,289	33.4	2.6	3.7	2.2	0.2	2.5	7.4	8.1	2.2	0.9	0.4
転出先の県下地域別	神戸地域	190	34.7	3.7	4.2	5.3	1.1	3.2	6.3	6.3	5.3	0.5	0.0
	阪神南地域	76	43.4	3.9	6.6	3.9	0.0	2.6	5.3	3.9	2.6	0.0	0.0
	阪神北地域	27	29.6	3.7	3.7	3.7	0.0	0.0	11.1	7.4	3.7	11.1	0.0
	東播磨地域	308	24.0	2.6	5.2	1.0	0.0	2.3	10.4	13.0	1.0	0.6	0.3
	北播磨地域	47	14.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.8	14.9	4.3	2.1	0.0
	中播磨地域	119	31.1	3.4	1.7	0.0	0.8	5.0	9.2	3.4	2.5	0.0	0.0
	西播磨地域	21	19.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	9.5	0.0	0.0	0.0
	但馬地域	12	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0
	丹波地域	5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	淡路地域	7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		(n)	自然災害が少ない	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	小中高校などの教育環境が充実している	道路や下水道などの都市基盤が整っている	自分または家族が生まれ育ったところだから	親族等が住んでいるため	住宅が用意されていたため（社宅、家族との同居等）	その他	不明・無回答
全体		1,289	0.1	0.2	0.0	3.6	0.4	0.1	4.1	6.7	12.3	5.6	3.3
転出先の県下地域別	神戸地域	190	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	0.0	3.7	5.3	10.0	4.2	5.3
	阪神南地域	76	0.0	1.3	0.0	3.9	0.0	0.0	0.0	1.3	11.8	5.3	3.9
	阪神北地域	27	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	14.8	0.0	7.4	0.0
	東播磨地域	308	0.3	0.0	0.0	10.7	1.0	0.3	2.6	7.8	5.8	6.8	4.2
	北播磨地域	47	0.0	2.1	0.0	2.1	0.0	0.0	14.9	8.5	12.8	8.5	2.1
	中播磨地域	119	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	10.1	7.6	13.4	10.1	0.8
	西播磨地域	21	0.0	0.0	0.0	9.5	0.0	0.0	19.0	9.5	19.0	9.5	0.0
	但馬地域	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	41.7	0.0	8.3
	丹波地域	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	淡路地域	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	14.3	28.6	0.0

●転出先の県下地域別にみると、北播磨地域は「通勤・通学の利便性」「家賃・住宅の価格」「自分または家族が生まれ育ったところだから」、西播磨地域は「通勤・通学の利便性」「自分または家族が生まれ育ったところだから」「住宅が用意されていたため（社宅、家族との同居等）」、但馬地域は「住宅が用意されていたため（社宅、家族との同居等）」、ほかの地域は「通勤・通学の利便性」が最も多くなっています。

【転出前の世帯構成別　転出先として決め手となった最も大きな理由】

		(n)	通勤・通学の利便性	バスや電車などの公共交通の利便性	最寄り駅が近い（駅へのアクセスが良い）	都心部へのアクセスが良い	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物等の日常生活の利便性	住宅条件が良い（広さや周囲の静けさなど）	家賃・住宅の価格	まちなみや、まちの雰囲気	治安	公園や自然環境
全体		1,289	33.4	2.6	3.7	2.2	0.2	2.5	7.4	8.1	2.2	0.9	0.4
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	24.0	3.8	2.9	3.8	1.0	2.9	5.8	10.6	3.8	1.9	0.0
	夫婦のみの世帯	63	23.8	4.8	1.6	1.6	0.0	3.2	4.8	19.0	1.6	1.6	0.0
	子どものいる世帯	181	15.5	0.0	3.9	0.6	0.0	2.2	13.3	7.7	1.1	1.1	1.7
	親と同居世帯	772	38.1	2.6	4.4	2.5	0.3	2.1	5.8	7.8	2.7	0.9	0.3
	三世代世帯	147	40.8	4.8	2.0	1.4	0.0	4.1	9.5	5.4	0.7	0.0	0.0
	その他の世帯	18	38.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0

		(n)	自然災害が少ない	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	小中高校などの教育環境が充実している	道路や下水道などの都市基盤が整っている	自分または家族が生まれ育ったところだから	親族等が住んでいるため	住宅が用意されていたため（社宅、家族との同居等）	その他	不明・無回答
全体		1,289	0.1	0.2	0.0	3.6	0.4	0.1	4.1	6.7	12.3	5.6	3.3
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	4.8	8.7	13.5	4.8	3.8
	夫婦のみの世帯	63	0.0	0.0	0.0	7.9	0.0	0.0	3.2	11.1	9.5	4.8	1.6
	子どものいる世帯	181	0.6	0.6	0.0	7.2	2.2	0.6	8.3	15.5	6.1	8.8	3.3
	親と同居世帯	772	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	3.2	4.4	13.9	5.1	3.2
	三世代世帯	147	0.0	0.7	0.0	1.4	0.7	0.0	3.4	4.8	12.9	4.8	2.7
	その他の世帯	18	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	11.1	11.1	16.7

●転出前の世帯構成別にみると、子どものいる世帯は「通勤・通学の利便性」「親族等が住んでいるため」、ほかの世帯は「通勤・通学の利便性」が最も多くなっています。「通勤・通学の利便性」は三世代世帯のみ 40%台と、ほかの世帯より多くなっています。

【現在の世帯構成別　転出先として決め手となった最も大きな理由】

		(n)	通勤・通学の利便性	バスや電車などの公共交通の利便性	最寄り駅が近い（駅へのアクセスが良い）	都心部へのアクセスが良い	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物等の日常生活の利便性	住宅条件が良い（広さや周囲の静けさなど）	家賃・住宅の価格	まちなみや、まちの雰囲気	治安	公園や自然環境
全体		1,289	33.4	2.6	3.7	2.2	0.2	2.5	7.4	8.1	2.2	0.9	0.4
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	393	50.6	3.3	3.6	3.3	0.3	0.5	4.6	7.4	2.5	0.5	0.3
	夫婦のみの世帯	363	33.6	4.1	3.6	2.2	0.0	4.1	6.6	7.7	2.2	1.7	0.6
	子どものいる世帯	391	22.3	0.5	3.3	1.0	0.3	3.3	10.5	10.5	1.5	0.8	0.3
	親と同居世帯	51	9.8	3.9	7.8	0.0	0.0	3.9	7.8	3.9	3.9	0.0	0.0
	三世代世帯	45	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.9	0.0	0.0	2.2	2.2
	その他の世帯	40	32.5	5.0	10.0	2.5	2.5	0.0	7.5	10.0	7.5	0.0	0.0

		(n)	自然災害が少ない	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	小中高校などの教育環境が充実している	道路や下水道などの都市基盤が整っている	自分または家族が生まれ育ったところだから	親族等が住んでいるため	住宅が用意されていたため（社宅、家族との同居等）	その他	不明・無回答
全体		1,289	0.1	0.2	0.0	3.6	0.4	0.1	4.1	6.7	12.3	5.6	3.3
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	393	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	16.8	2.0	3.8
	夫婦のみの世帯	363	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	5.0	5.8	10.2	6.9	4.1
	子どものいる世帯	391	0.3	0.5	0.0	10.0	1.3	0.3	6.1	9.7	6.4	8.4	2.8
	親と同居世帯	51	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.8	15.7	25.5	5.9	2.0
	三世代世帯	45	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	13.3	35.6	28.9	2.2	0.0
	その他の世帯	40	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	12.5	5.0	2.5

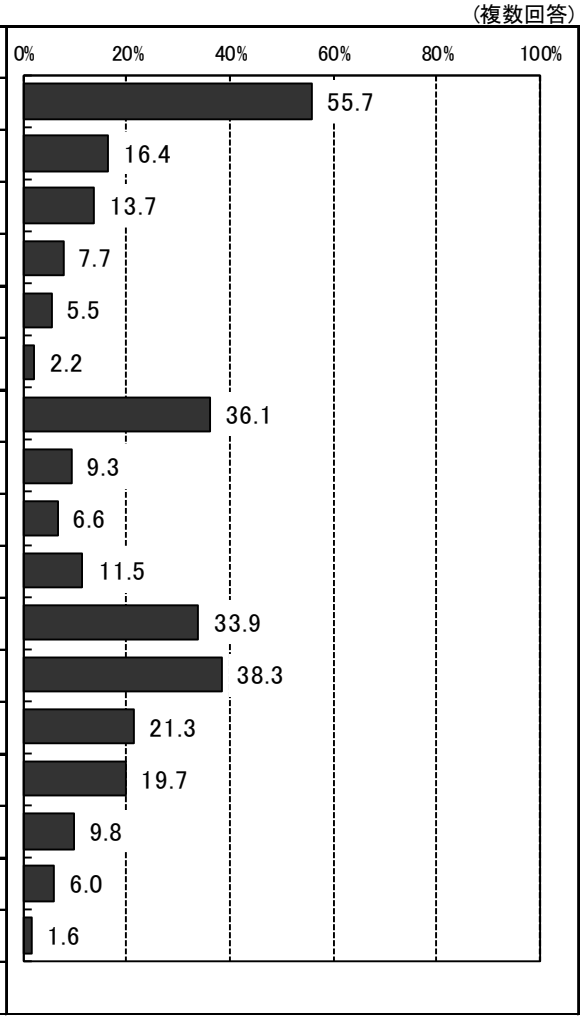
●現在の世帯構成別にみると、親と同居世帯は「住宅が用意されていたため（社宅、家族との同居等）」、三世代世帯は「親族等が住んでいるため」、ほかの世帯は「通勤・通学の利便性」が最も多くなっています。また、三世代世帯は「住宅が用意されていたため（社宅、家族との同居等）」が28.9%と、親と同居世帯と同様に多くなっています。

問 12 で「15. 子育て環境が充実している」「16. 小中高校などの教育環境が充実している」と答えた方におうかがいします。

問 13　現在お住まいの市区町村の子育て環境や教育環境が良いと思ったのは、どのような点ですか。
【あてはまるものすべてに〇】

（複数回答）

区分		
子育てにかかる費用負担の支援が充実している（手厚い）	(n=102)	55.7
保育所（園）に入りやすい	(n=30)	16.4
保育料が安い	(n=25)	13.7
保育サービスが充実している	(n=14)	7.7
幼稚園が充実している	(n=10)	5.5
放課後児童クラブ（学童保育）に入りやすい	(n=4)	2.2
市立小中学校が近い	(n=66)	36.1
市立小中学校の教育水準が高い	(n=17)	9.3
国立・私立の学校に通学しやすい	(n=12)	6.6
習い事や学習塾が多い（通いやすい）	(n=21)	11.5
自然環境が良い	(n=62)	33.9
公園などの遊び場が多い	(n=70)	38.3
図書館・スポーツ施設などが充実している	(n=39)	21.3
小児医療が充実している	(n=36)	19.7
産前産後のケアが充実している	(n=18)	9.8
その他	(n=11)	6.0
不明・無回答	(n=3)	1.6
全体	(n=183)	



●「子育てにかかる費用負担の支援が充実している（手厚い）」が 55.7%で最も多く、次いで「公園などの遊び場が多い」が 38.3%、「市立小中学校が近い」が 36.1%となっています。

■「保育サービスが充実している」と答えた人の具体的な内容【自由記述】

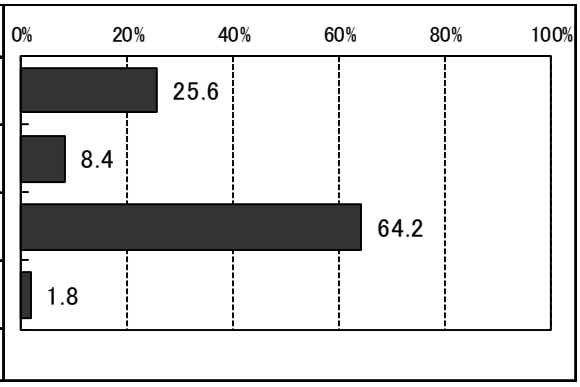
○2 人目の保育料が無料。
○保育園の質は加古川市が圧倒的に良いので継続して通わせている。
○子育て支援センターなどの遊び場が多い。
○保育園が多く預けやすい。
○子どもの医療費助成。
○保育所数が多い。
○子育て支援に力を入れている。
○給食費が無料。
○病児保育が充実している。

■「幼稚園が充実している」と答えた人の具体的な内容【自由記述】

○徒歩圏内に約 4 箇所ある。
○3 年保育の実施。
○預かり保育があることや車で送迎でき、年長になると小学生と登校できる。
○私立幼稚園が多い。
○公立なのに 3 年保育を実施している。
○私立幼稚園、認定こども園が多い。
○3 歳児から入園できる。

問 14　引越し先を選ぶにあたり、加古川市も検討されましたか。【１つに○】

区分		
加古川市も検討した（探した）が、ほかの市区町村（現在の居住地）に決めた	(n=330)	25.6
加古川市には住みたくなかった	(n=108)	8.4
ほかの市区町村（現在の居住地）に住むしかなかった	(n=828)	64.2
不明・無回答	(n=23)	1.8
全体	(n=1,289)	



●「ほかの市区町村（現在の居住地）に住むしかなかった」が 64.2%で最も多く、次いで「加古川市も検討した（探した）が、ほかの市区町村（現在の居住地）に決めた」が 25.6%、「加古川市には住みたくなかった」が 8.4%となっています。

【年齢別・転出先の県下地域別・転出前の世帯構成別　転出先として加古川市の検討状況】

		(n)	加古川市も検討した（探した）が、ほかの市区町村（現在の居住地）に決めた	加古川市には住みたくなかった	ほかの市区町村（現在の居住地）に住むしかなかった	不明・無回答
全体		1,289	25.6	8.4	64.2	1.8
年齢別	20～24 歳	237	9.7	4.6	84.0	1.7
	25～29 歳	348	22.7	9.5	66.4	1.4
	30～34 歳	342	34.8	9.6	54.4	1.2
	35～39 歳	206	29.1	9.2	60.2	1.5
	40 歳以上	153	30.7	7.8	56.9	4.6
転出先の県下地域別	神戸地域	190	21.1	18.9	55.3	4.7
	阪神南地域	76	7.9	10.5	78.9	2.6
	阪神北地域	27	7.4	7.4	85.2	0.0
	東播磨地域	308	60.7	10.1	27.3	1.9
	北播磨地域	47	55.3	2.1	40.4	2.1
	中播磨地域	119	33.6	4.2	61.3	0.8
	西播磨地域	21	19.0	9.5	71.4	0.0
	但馬地域	12	0.0	0.0	100.0	0.0
	丹波地域	5	0.0	20.0	80.0	0.0
	淡路地域	7	14.3	0.0	85.7	0.0
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	35.6	13.5	51.0	0.0
	夫婦のみの世帯	63	39.7	11.1	47.6	1.6
	子どものいる世帯	181	39.2	13.3	44.8	2.8
	親と同居世帯	772	21.1	6.3	70.6	1.9
	三世代世帯	147	17.7	8.2	73.5	0.7
	その他の世帯	18	33.3	11.1	50.0	5.6

●年齢別にみると、どの年代も「ほかの市区町村（現在の居住地）に住むしかなかった」が最も多く、特に 20～24 歳は 80%台と多くなっています。

●転出先の県下地域別にみると、東播磨地域・北播磨地域は「加古川市も検討した（探した）が、ほかの市区町村（現在の居住地）に決めた」、ほかの地域は「ほかの市区町村（現在の居住地）に住むしかなかった」が最も多くなっています。

●転出前の世帯構成別にみると、世帯構成に関わらず「ほかの市区町村（現在の居住地）に住むしかなかった」が最も多く、特に親と同居世帯・三世代世帯は 70%台と多くなっています。

問 15　引越し先を探す際、どのような方法（情報源）で調べましたか。
【あてはまるものすべてに○】

（複数回答）

区分		
市区町村のホームページ	(n=113)	8.8
住宅情報・不動産情報サイト	(n=610)	47.3
全国移住ナビ	(n=9)	0.7
ひょうご生活・しごと・カムバックポータルサイト『夢かなうひょうご』	(n=1)	0.1
その他のインターネットサイト	(n=144)	11.2
市区町村の窓口（移住相談）	(n=9)	0.7
移住フェアへの参加	(n=2)	0.2
住宅情報誌	(n=62)	4.8
不動産業者・ハウスメーカー（新聞広告やTVCMを含む）	(n=487)	37.8
家族・親族・友人	(n=359)	27.9
その他	(n=158)	12.3
不明・無回答	(n=22)	1.7
全体	(n=1,289)	

●「住宅情報・不動産情報サイト」が 47.3%で最も多く、次いで「不動産業者・ハウスメーカー（新聞広告や TVCM を含む)」が 37.8%、「家族・親族・友人」が 27.9%となっています。

【転出前の世帯構成別　引越し先を調べた情報源】

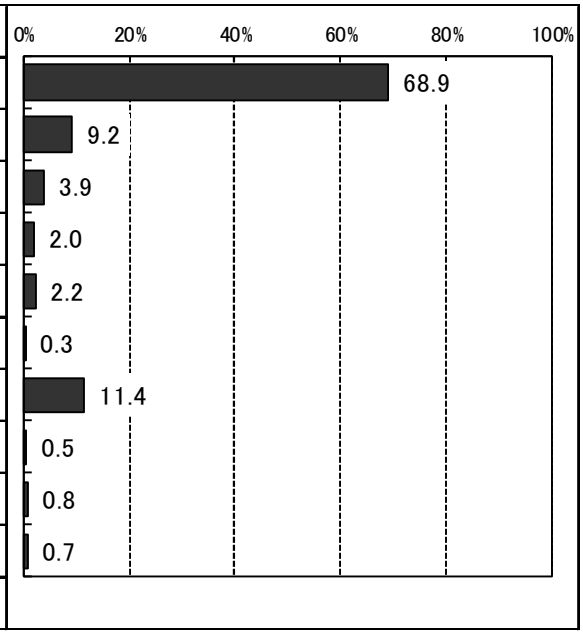
		(n)	市区町村のホームページ	住宅情報・不動産情報サイト	全国移住ナビ	ひょうご生活・しごと・カムバックポータルサイト『夢かなうひょうご』	その他のインターネットサイト	市区町村の窓口（移住相談）	移住フェアへの参加	住宅情報誌	不動産業者・ハウスメーカー（新聞広告やＴＶＣＭを含む）	家族・親族・友人	その他	不明・無回答
全体		1,289	8.8	47.3	0.7	0.1	11.2	0.7	0.2	4.8	37.8	27.9	12.3	1.7
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	5.8	54.8	1.0	0.0	11.5	0.0	0.0	4.8	42.3	24.0	9.6	0.0
	夫婦のみの世帯	63	7.9	49.2	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	4.8	36.5	27.0	15.9	1.6
	子どものいる世帯	181	18.2	33.7	0.0	0.0	11.6	2.2	0.6	8.3	43.6	42.0	7.7	2.2
	親と同居世帯	772	6.3	49.9	0.6	0.1	10.0	0.6	0.1	3.9	36.0	25.4	13.3	1.8
	三世代世帯	147	12.9	43.5	1.4	0.0	15.0	0.0	0.0	5.4	35.4	25.2	12.2	1.4
	その他の世帯	18	0.0	50.0	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	5.6	44.4	38.9	16.7	5.6

●転出前の世帯構成別にみると、子どものいる世帯は「不動産業者・ハウスメーカー（新聞広告やＴＶＣＭを含む)」、ほかの世帯は「住宅情報・不動産情報サイト」が最も多くなっています。また、「家族・親族・友人」は子どものいる世帯のみ 40%台と多くなっています。

Ⅲ．仕事について

問 16　現在のあなたの職業をお答えください。【１つに○】

区分	
会社員・公務員	(n=888)
パート・アルバイト	(n=119)
派遣・嘱託・契約社員	(n=50)
学生（予備校生を含む）	(n=26)
自営業・会社経営	(n=29)
家族従業者	(n=4)
専業主婦・主夫	(n=147)
無職（年金生活者を含む）	(n=7)
その他	(n=10)
不明・無回答	(n=9)
全体	(n=1,289)



●「会社員・公務員」が 68.9%で最も多く、次いで「専業主婦・主夫」が 11.4%、「パート・アルバイト」が 9.2%となっています。

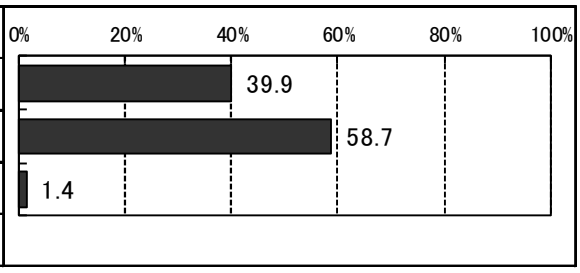
【性別　就業状況】

		(n)	会社員・公務員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約社員	学生（予備校生を含む）	自営業・会社経営	家族従業者	専業主婦・主夫	無職（年金生活者を含む）	その他	不明・無回答
全体		1,289	68.9	9.2	3.9	2.0	2.2	0.3	11.4	0.5	0.8	0.7
性別	男性	558	89.2	1.6	1.8	3.0	3.2	0.0	0.2	0.2	0.4	0.4
	女性	725	53.4	15.0	5.4	1.2	1.5	0.6	20.0	0.8	1.1	1.0
	答えたくない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

●性別にみると、男女ともに「会社員・公務員」が最も多く、女性より男性のほうが 35.8 ポイント多くなっています。

■通勤・通学先

区分		
住んでいるところと同じ区・市町村	(n=445)	39.9
住んでいるところと別の区・市町村	(n=655)	58.7
不明・無回答	(n=16)	1.4
全体	(n=1,116)	



●「住んでいるところと別の区・市町村」が 58.7%、「住んでいるところと同じ区・市町村」が 39.9%となっています。

【年齢別・性別・現在の世帯構成別　通勤・通学先】

		(n)	住んでいるところと同じ区・市町村	住んでいるところと別の区・市町村	不明・無回答
全体		1,116	39.9	58.7	1.4
年齢別	20～24 歳	219	52.1	46.1	1.8
	25～29 歳	303	37.0	61.7	1.3
	30～34 歳	286	34.6	64.7	0.7
	35～39 歳	167	39.5	59.3	1.2
	40 歳以上	139	38.1	59.0	2.9
性別	男性	552	34.1	63.9	2.0
	女性	559	45.8	53.3	0.9
	答えたくない	1	0.0	100.0	0.0
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	379	52.2	46.4	1.3
	夫婦のみの世帯	322	32.0	66.5	1.6
	子どものいる世帯	292	36.0	63.0	1.0
	親と同居世帯	43	23.3	74.4	2.3
	三世代世帯	37	35.1	64.9	0.0
	その他の世帯	38	36.8	57.9	5.3

●年齢別にみると、20～24 歳は「住んでいるところと同じ区・市町村」、ほかの年代は「住んでいるところと別の区・市町村」が最も多くなっています。

●性別にみると、男女ともに「住んでいるところと別の区・市町村」が最も多くなっていますが、女性より男性のほうが 10.6 ポイント多くなっています。

●現在の世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯は「住んでいるところと同じ区・市町村」となっています。そのほかの世帯は「住んでいるところと別の区・市町村」が最も多くなっていますが、親と同居世帯は 70%台と、ほかの世帯よりも多くなっています。

問 17　あなたの家庭で働いている方はいますか。【あてはまるものすべてに〇】
また、働いている方のうち、住んでいるところと同じ区・市町村で働いている方はいますか。
【あてはまるものそれぞれ１つに〇】

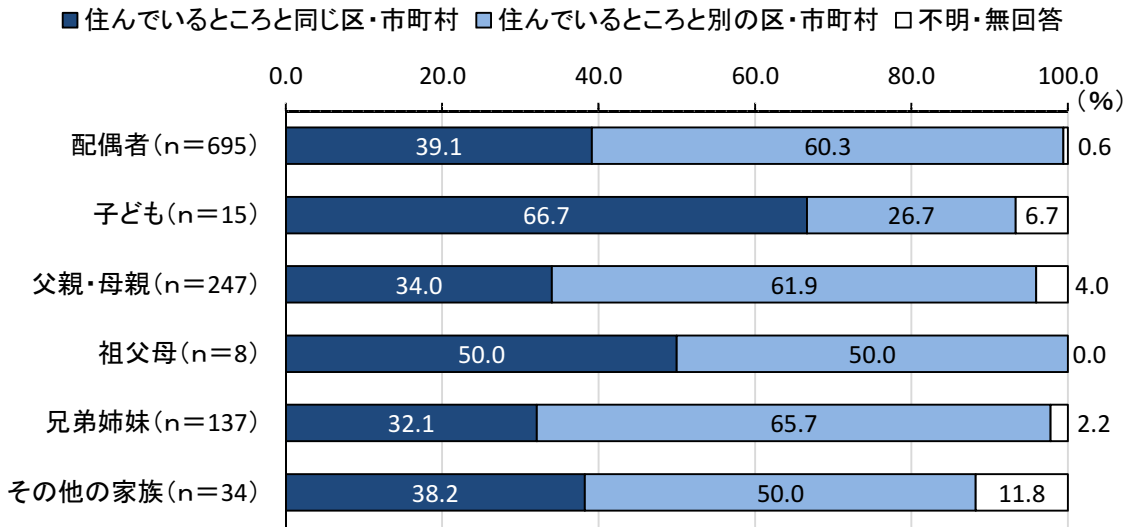
■家族の就労状況

（複数回答）

区分		
配偶者（夫・妻）	(n=695)	53.9
子ども	(n=15)	1.2
父親・母親	(n=247)	19.2
祖父母	(n=8)	0.6
兄弟姉妹	(n=137)	10.6
その他	(n=34)	2.6
働いている人はいない	(n=297)	23.0
不明・無回答	(n=42)	3.3
全体	(n=1,289)	

●「配偶者（夫・妻）」が 53.9%で最も多く、次いで「働いている人はいない」が 23.0%、「父親・母親」が 19.2%となっています。

■働いている人の就業場所

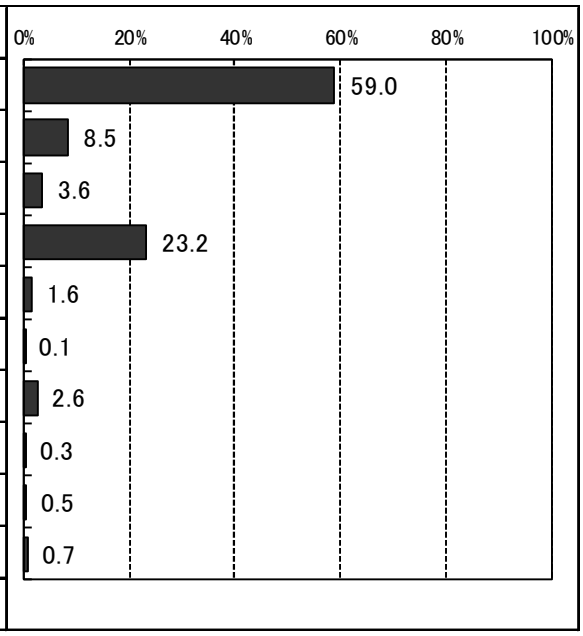


●子どもは「住んでいるところと同じ区・市町村」、祖父母は「住んでいるところと同じ区・市町村」、そのほかの人は「住んでいるところと別の区・市町村」がそれぞれ最も多くなっています。

Ⅳ．加古川市での生活について

問 18　加古川市に住んでいたときの職業をお答えください。【１つに○】

区分		
会社員・公務員	(n=760)	59.0
パート・アルバイト	(n=110)	8.5
派遣・嘱託・契約社員	(n=47)	3.6
学生（予備校生を含む）	(n=299)	23.2
自営業・会社経営	(n=20)	1.6
家族従業者	(n=1)	0.1
専業主婦・主夫	(n=33)	2.6
無職（年金生活者を含む）	(n=4)	0.3
その他	(n=6)	0.5
不明・無回答	(n=9)	0.7
全体	(n=1,289)	



●「会社員・公務員」が 59.0%で最も多く、次いで「学生（予備校生を含む)」が 23.2%、「パート・アルバイト」が 8.5%となっています。

【年齢別・転出前の世帯構成別　加古川市に住んでいたときの職業】

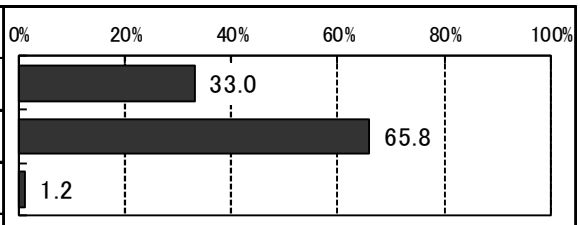
		(n)	会社員・公務員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約社員	学生（予備校生を含む）	自営業・会社経営	家族従業者	専業主婦・主夫	無職（年金生活者を含む）	その他	不明・無回答
全体		1,289	59.0	8.5	3.6	23.2	1.6	0.1	2.6	0.3	0.5	0.7
年齢別	20～24 歳	237	14.3	4.6	0.8	79.3	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.0
	25～29 歳	348	62.4	5.5	4.0	25.3	0.9	0.0	1.1	0.0	0.3	0.6
	30～34 歳	342	75.4	10.2	3.2	4.7	1.5	0.0	3.2	0.3	0.6	0.9
	35～39 歳	206	70.4	11.7	3.9	2.4	3.9	0.5	5.3	0.5	1.0	0.5
	40 歳以上	153	68.6	13.1	7.2	1.3	2.6	0.0	4.6	0.7	0.0	2.0
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	92.3	2.9	0.0	1.9	1.9	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
	夫婦のみの世帯	63	71.4	12.7	4.8	0.0	1.6	0.0	4.8	0.0	0.0	4.8
	子どものいる世帯	181	61.9	14.4	1.1	2.2	3.3	0.6	14.4	0.0	0.6	1.7
	親と同居世帯	772	54.4	6.0	4.8	32.4	1.0	0.0	0.0	0.5	0.5	0.4
	三世代世帯	147	49.0	15.6	2.7	27.9	2.0	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	18	72.2	16.7	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

●年齢別にみると、20～24 歳は「学生（予備校生を含む）」、ほかの年代は「会社員・公務員」が最も多くなっています。

●転出前の世帯構成別にみると、世帯構成に関わらず「会社員・公務員」が最も多く、特にひとり暮らし世帯は 90％台と多くなっています。「学生（予備校生を含む）」は親と同居世帯・三世代世帯がほかの世帯より多くなっています。

■加古川市に住んでいたとき（転出直前）の通勤・通学先【１つに○】

区分		
加古川市内	(n=408)	33.0
加古川市外	(n=814)	65.8
不明・無回答	(n=15)	1.2
全体	(n=1,237)	



●「加古川市外」が 65.8%、「加古川市内」が 33.0%となっています。

【年齢別・転出前の世帯構成別　加古川市に住んでいたときの通勤・通学先】

		(n)	加古川市内	加古川市外	不明・無回答
全体		1,237	33.0	65.8	1.2
年齢別	20～24 歳	235	25.1	73.2	1.7
	25～29 歳	341	34.3	64.5	1.2
	30～34 歳	325	36.9	62.2	0.9
	35～39 歳	191	35.1	64.4	0.5
	40 歳以上	142	31.0	66.9	2.1
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	103	47.6	52.4	0.0
	夫婦のみの世帯	57	43.9	54.4	1.8
	子どものいる世帯	151	44.4	54.3	1.3
	親と同居世帯	761	28.3	70.4	1.3
	三世代世帯	143	32.2	66.4	1.4
	その他の世帯	18	27.8	72.2	0.0

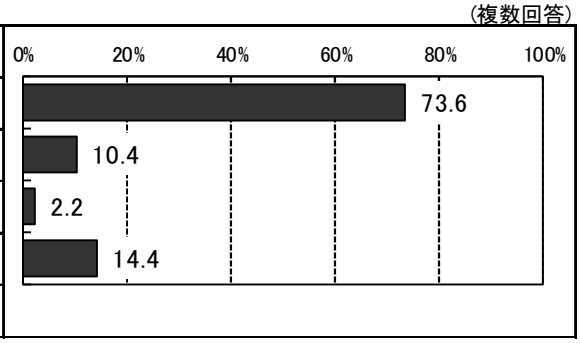
●年齢別にみると、どの年代も「加古川市外」が最も多く、20～24 歳のみ 70%台となっています。

●転出前の世帯構成別にみると、世帯構成に関わらず「加古川市外」が最も多く、親と同居世帯・その他の世帯は 70%台と、ほかの世帯より多くなっています。

■加古川市に住んでいたとき（転出直前）の通勤・通学先の都道府県

（複数回答）

区分		
兵庫県内	(n=599)	73.6
大阪府内	(n=85)	10.4
その他	(n=18)	2.2
不明・無回答	(n=117)	14.4
全体	(n=814)	



●「兵庫県内」が 73.6%で最も多く、次いで「大阪府内」が 10.4%、「その他」が 2.2%となっています。

【年齢別・転出先の県下地域別・転出前の世帯構成別　加古川市に住んでいたときの通勤・通学先】

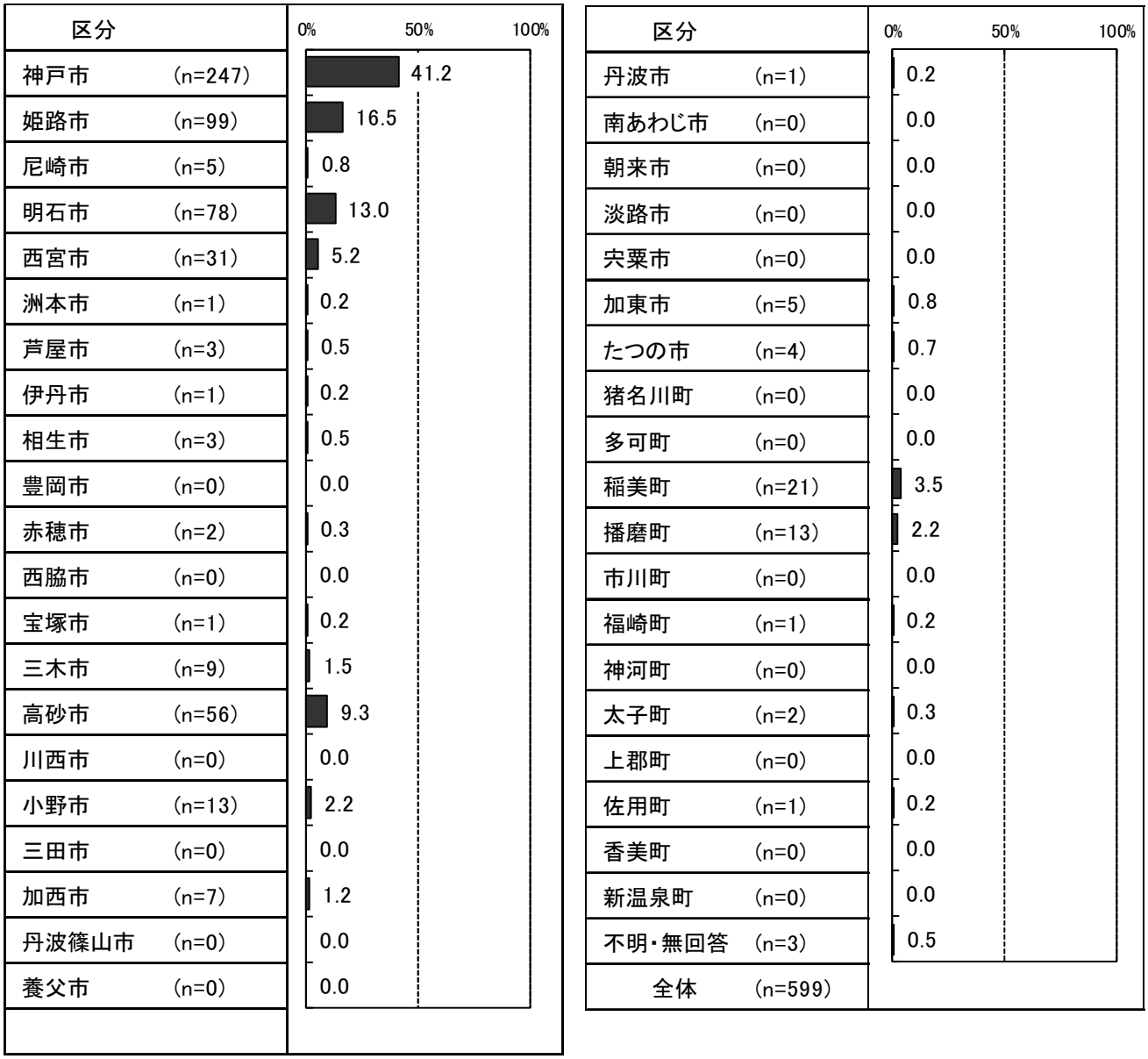
		(n)	兵庫県内	大阪府内	その他	不明・無回答
全体		814	73.6	10.4	2.2	14.4
年齢別	20～24 歳	172	65.1	13.4	7.0	15.1
	25～29 歳	220	70.9	15.0	2.7	11.8
	30～34 歳	202	80.7	5.4	0.0	14.4
	35～39 歳	123	76.4	12.2	0.0	13.0
	40 歳以上	95	75.8	3.2	0.0	21.1
転出先の県下地域別	神戸地域	126	81.0	6.3	0.8	11.9
	阪神南地域	54	70.4	16.7	0.0	13.0
	阪神北地域	23	69.6	17.4	4.3	8.7
	東播磨地域	178	75.3	3.4	1.7	20.2
	北播磨地域	28	82.1	7.1	0.0	10.7
	中播磨地域	73	90.4	2.7	0.0	6.8
	西播磨地域	18	72.2	5.6	5.6	16.7
	但馬地域	7	85.7	0.0	0.0	14.3
	丹波地域	3	100.0	0.0	0.0	0.0
	淡路地域	4	75.0	25.0	0.0	0.0
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	54	85.2	1.9	0.0	13.0
	夫婦のみの世帯	31	80.6	0.0	0.0	19.4
	子どものいる世帯	82	78.0	2.4	0.0	19.5
	親と同居世帯	536	70.1	13.6	3.2	13.6
	三世代世帯	95	77.9	9.5	0.0	14.7
	その他の世帯	13	84.6	0.0	7.7	7.7

●年齢別にみると、どの年代も「兵庫県内」が最も多くなっていますが、20～24 歳のみ 60%台と低くなっています。

●転出先の県下地域別にいると、転出先の地域に関わらず「兵庫県内」が最も多くなっています。転出先が阪神南地域・阪神北地域の人は「大阪府内」が 10%台と、ほかの地域より多くなっています。

●転出前の世帯構成別にみると、世帯構成に関わらず「兵庫県内」が最も多くなっています。「大阪府内」は親と同居世帯のみ 10%台となっています。

■加古川市に住んでいたとき（転出直前）の通勤・通学先の兵庫県の市町

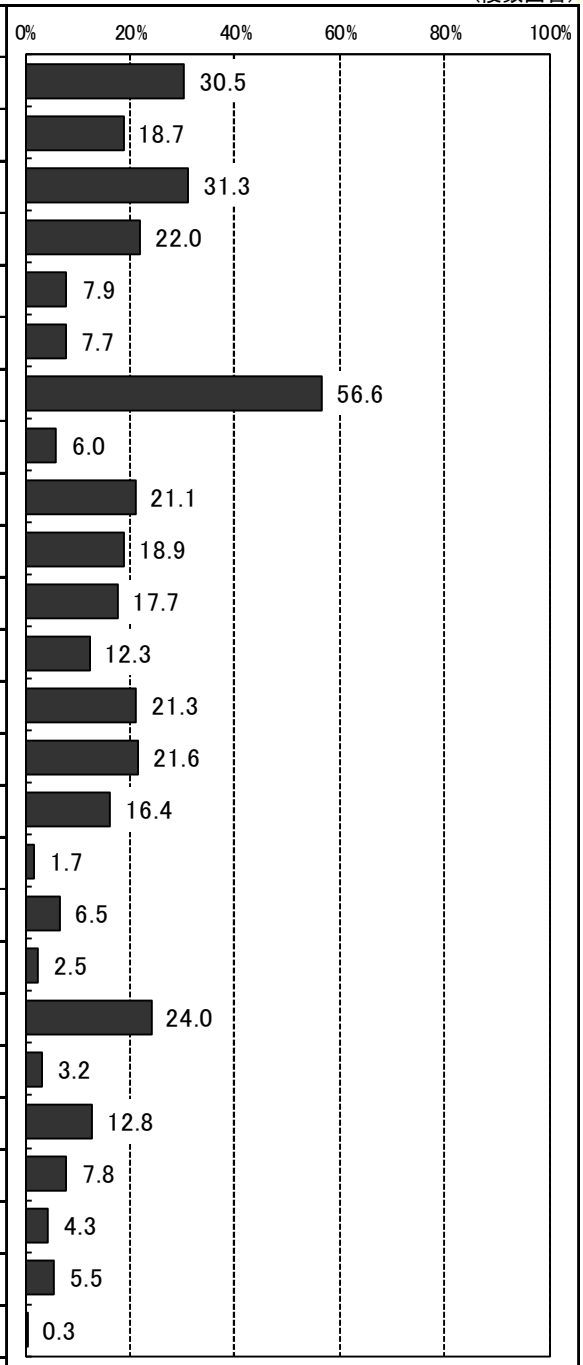


●「神戸市」が 41.2%で最も多く、次いで「姫路市」が 16.5%、「明石市」が 13.0%となっています。

問 19　加古川市に住んでいて良かった点はどのようなことですか。【あてはまるものすべてに○】

（複数回答）

区分		
通勤・通学が便利	(n=393)	30.5
バスや電車など市内公共交通が便利	(n=241)	18.7
最寄り駅が近い（駅へのアクセスが良い）	(n=403)	31.3
都心部へのアクセスが良い	(n=284)	22.0
駅前がにぎわっている	(n=102)	7.9
レジャー・娯楽施設が充実している	(n=99)	7.7
買い物などの日常生活が便利	(n=730)	56.6
地域活動が盛んである	(n=77)	6.0
近所づきあい・人間関係が良い	(n=272)	21.1
物価が安い	(n=244)	18.9
住宅価格・家賃が適当	(n=228)	17.7
まちのイメージが良い	(n=159)	12.3
まちが安全・安心である	(n=275)	21.3
自然環境が良い	(n=279)	21.6
医療環境が充実している	(n=211)	16.4
福祉サービスが充実している	(n=22)	1.7
子育て環境が充実している	(n=84)	6.5
子育てにかかる費用負担の支援が手厚い	(n=32)	2.5
小中学校に通いやすい	(n=310)	24.0
小中学校の教育水準が高い	(n=41)	3.2
道路などの都市基盤が整備されている	(n=165)	12.8
道路や公園の美化など生活環境が良い	(n=101)	7.8
その他	(n=56)	4.3
特にない	(n=71)	5.5
不明・無回答	(n=4)	0.3
全体	(n=1,289)	



●「買い物などの日常生活が便利」が 56.6%で最も多く、次いで「最寄り駅が近い（駅へのアクセスが良い）」が 31.3%、「通勤・通学が便利」が 30.5%となっています。

【年齢別　加古川市に住んでいてよかった点】

		(n)	通勤・通学が便利	バスや電車など市内公共交通が便利	最寄り駅が近い（駅へのアクセスが良い）	都心部へのアクセスが良い	駅前がにぎわっている	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物などの日常生活が便利	地域活動が盛んである	近所づきあい・人間関係が良い	物価が安い	住宅価格・家賃が適当	まちのイメージが良い	まちが安全・安心である
全体		1,289	30.5	18.7	31.3	22.0	7.9	7.7	56.6	6.0	21.1	18.9	17.7	12.3	21.3
年齢別	20～24 歳	237	33.3	22.4	34.6	29.1	12.7	8.9	54.0	8.0	24.1	21.9	11.4	21.5	25.3
	25～29 歳	348	30.5	19.0	31.6	21.6	8.3	7.5	54.0	7.5	23.9	19.3	17.0	14.1	25.6
	30～34 歳	342	30.7	15.8	26.3	19.9	7.6	6.1	55.8	4.4	16.7	16.4	19.9	8.8	17.8
	35～39 歳	206	27.2	18.4	33.5	21.4	3.4	9.2	65.0	2.9	18.9	16.5	17.0	8.3	18.0
	40 歳以上	153	30.1	19.6	33.3	18.3	6.5	7.2	57.5	6.5	22.9	22.2	24.2	7.8	18.3

		(n)	自然環境が良い	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	子育てにかかる費用負担の支援が手厚い	小中学校に通いやすい	小中学校の教育水準が高い	道路などの都市基盤が整備されている	道路や公園の美化など生活環境が良い	その他	特にない	不明・無回答
全体		1,289	21.6	16.4	1.7	6.5	2.5	24.0	3.2	12.8	7.8	4.3	5.5	0.3
年齢別	20～24 歳	237	19.4	14.8	2.5	5.5	0.4	37.1	3.8	14.8	8.0	3.4	5.5	0.0
	25～29 歳	348	25.6	11.5	1.7	6.3	1.4	30.7	2.3	11.2	9.5	3.4	4.6	0.3
	30～34 歳	342	17.3	14.9	0.3	4.7	1.2	16.7	3.2	13.2	7.0	5.3	7.3	0.6
	35～39 歳	206	24.3	25.7	2.9	9.2	6.8	13.6	1.9	13.1	7.8	4.9	2.9	0.5
	40 歳以上	153	22.2	20.3	2.0	9.2	4.6	19.6	5.9	12.4	5.2	5.2	7.2	0.0

●年齢別にみると、どの年代も「買い物などの日常生活が便利」が最も多く、35～39 歳は 60%を超えています。

●「小中学校に通いやすい」は、20～29 歳の年代で 30%台と、ほかの年代より多くなっています。

【性別　加古川市に住んでいてよかった点】

		(n)	通勤・通学が便利	バスや電車など市内公共交通が便利	最寄り駅が近い（駅へのアクセスが良い）	都心部へのアクセスが良い	駅前がにぎわっている	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物などの日常生活が便利	地域活動が盛んである	近所づきあい・人間関係が良い	物価が安い	住宅価格・家賃が適当	まちのイメージが良い	まちが安全・安心である
全体		1,289	30.5	18.7	31.3	22.0	7.9	7.7	56.6	6.0	21.1	18.9	17.7	12.3	21.3
性別	男性	558	34.6	19.4	31.4	21.9	8.4	9.7	50.5	6.3	18.8	16.3	20.4	12.4	18.6
	女性	725	27.3	18.3	31.3	22.2	7.6	6.1	61.5	5.7	22.9	20.8	15.3	12.4	23.6
	答えたくない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

		(n)	自然環境が良い	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	子育てにかかる費用負担の支援が手厚い	小中学校に通いやすい	小中学校の教育水準が高い	道路などの都市基盤が整備されている	道路や公園の美化など生活環境が良い	その他	特にない	不明・無回答
全体		1,289	21.6	16.4	1.7	6.5	2.5	24.0	3.2	12.8	7.8	4.3	5.5	0.3
性別	男性	558	20.3	16.3	2.0	5.9	2.7	22.6	3.4	14.0	7.0	4.8	5.9	0.2
	女性	725	22.8	16.3	1.5	7.0	2.2	25.2	3.0	12.0	8.3	4.0	5.2	0.4
	答えたくない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

●性別にみると、男女ともに「買い物などの日常生活が便利」が最も多く、男性より女性のほうが11.0ポイント多くなっています。

【転出先の県下地域別　加古川市に住んでいてよかった点】※n数が10件以下は分析の対象外

		(n)	通勤・通学が便利	バスや電車など市内公共交通が便利	最寄り駅が近い（駅へのアクセスが良い）	都心部へのアクセスが良い	駅前がにぎわっている	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物などの日常生活が便利	地域活動が盛んである	近所づきあい・人間関係が良い	物価が安い	住宅価格・家賃が適当	まちのイメージが良い	まちが安全・安心である
全体		1,289	30.5	18.7	31.3	22.0	7.9	7.7	56.6	6.0	21.1	18.9	17.7	12.3	21.3
転出先の県下地域別	神戸地域	190	25.3	10.5	26.8	15.3	6.3	7.4	49.5	6.8	16.8	26.8	21.1	10.0	24.2
	阪神南地域	76	23.7	17.1	32.9	11.8	10.5	3.9	51.3	11.8	25.0	25.0	17.1	9.2	21.1
	阪神北地域	27	25.9	7.4	25.9	11.1	3.7	11.1	81.5	3.7	11.1	25.9	11.1	14.8	14.8
	東播磨地域	308	29.5	18.8	29.2	13.6	9.7	8.1	58.1	3.9	15.6	11.0	16.9	5.8	10.4
	北播磨地域	47	40.4	42.6	48.9	34.0	12.8	12.8	72.3	4.3	10.6	10.6	4.3	10.6	8.5
	中播磨地域	119	40.3	21.8	34.5	21.8	6.7	5.9	52.9	2.5	21.0	10.1	10.9	18.5	27.7
	西播磨地域	21	42.9	19.0	52.4	19.0	9.5	19.0	76.2	0.0	19.0	0.0	4.8	9.5	14.3
	但馬地域	12	58.3	41.7	50.0	66.7	25.0	16.7	83.3	0.0	16.7	16.7	25.0	8.3	16.7
	丹波地域	5	40.0	80.0	20.0	40.0	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	淡路地域	7	42.9	14.3	57.1	28.6	0.0	0.0	71.4	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	28.6

		(n)	自然環境が良い	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	子育てにかかる費用負担の支援が手厚い	小中学校に通いやすい	小中学校の教育水準が高い	道路などの都市基盤が整備されている	道路や公園の美化など生活環境が良い	その他	特にない	不明・無回答
全体		1,289	21.6	16.4	1.7	6.5	2.5	24.0	3.2	12.8	7.8	4.3	5.5	0.3
転出先の県下地域別	神戸地域	190	23.2	18.4	1.1	6.8	3.7	22.1	3.2	7.4	4.7	6.3	4.2	0.0
	阪神南地域	76	27.6	10.5	2.6	5.3	1.3	30.3	2.6	11.8	10.5	6.6	2.6	0.0
	阪神北地域	27	18.5	11.1	0.0	3.7	0.0	22.2	7.4	11.1	3.7	7.4	7.4	0.0
	東播磨地域	308	14.3	13.6	0.3	2.9	0.6	14.0	2.9	7.8	5.2	4.2	8.4	0.0
	北播磨地域	47	6.4	21.3	2.1	6.4	4.3	17.0	4.3	19.1	10.6	6.4	4.3	2.1
	中播磨地域	119	22.7	15.1	1.7	9.2	1.7	24.4	2.5	12.6	10.9	4.2	6.7	0.0
	西播磨地域	21	0.0	47.6	4.8	0.0	0.0	19.0	0.0	23.8	9.5	0.0	4.8	4.8
	但馬地域	12	8.3	25.0	0.0	0.0	8.3	33.3	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	丹波地域	5	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	淡路地域	7	28.6	42.9	0.0	0.0	14.3	57.1	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0

●転出先の県下地域別にみると、転出先に関わらず「買い物などの日常生活が便利」が最も多く、特に阪神北地域・但馬地域の人は80%台と多くなっています。

【転出前の世帯構成別　加古川市に住んでいてよかった点】

		(n)	通勤・通学が便利	バスや電車など市内公共交通が便利	最寄り駅が近い（駅へのアクセスが良い）	都心部へのアクセスが良い	駅前がにぎわっている	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物などの日常生活が便利	地域活動が盛んである	近所づきあい・人間関係が良い	物価が安い	住宅価格・家賃が適当	まちのイメージが良い	まちが安全・安心である
全体		1,289	30.5	18.7	31.3	22.0	7.9	7.7	56.6	6.0	21.1	18.9	17.7	12.3	21.3
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	38.5	13.5	34.6	15.4	14.4	6.7	51.9	2.9	6.7	15.4	27.9	8.7	13.5
	夫婦のみの世帯	63	33.3	20.6	23.8	17.5	4.8	6.3	57.1	3.2	15.9	17.5	28.6	7.9	12.7
	子どものいる世帯	181	30.9	26.0	39.8	22.1	8.3	11.0	69.1	4.4	18.2	11.6	21.0	4.4	9.9
	親と同居世帯	772	28.9	17.7	30.1	24.0	7.9	7.1	56.3	6.9	23.2	20.7	15.2	14.9	24.6
	三世代世帯	147	32.0	17.7	29.3	20.4	4.1	6.8	46.3	6.1	27.2	21.1	15.6	14.3	27.2
	その他の世帯	18	22.2	22.2	22.2	11.1	11.1	5.6	55.6	5.6	11.1	22.2	5.6	5.6	27.8

		(n)	自然環境が良い	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	子育てにかかる費用負担の支援が手厚い	小中学校に通いやすい	小中学校の教育水準が高い	道路などの都市基盤が整備されている	道路や公園の美化など生活環境が良い	その他	特にない	不明・無回答
全体		1,289	21.6	16.4	1.7	6.5	2.5	24.0	3.2	12.8	7.8	4.3	5.5	0.3
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	16.3	8.7	0.0	0.0	0.0	2.9	1.0	13.5	6.7	3.8	3.8	0.0
	夫婦のみの世帯	63	9.5	15.9	3.2	4.8	3.2	7.9	0.0	9.5	4.8	3.2	9.5	1.6
	子どものいる世帯	181	10.5	27.1	3.3	16.6	10.5	21.5	7.2	12.7	8.3	3.9	3.9	0.6
	親と同居世帯	772	24.0	14.8	1.6	5.7	0.9	29.4	2.2	12.8	7.9	5.3	5.8	0.3
	三世代世帯	147	32.7	15.6	1.4	4.8	2.0	21.8	6.8	15.6	8.8	1.4	4.1	0.0
	その他の世帯	18	16.7	27.8	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	5.6	0.0	16.7	0.0

●転出前の世帯構成別にみると、どの年代も「買い物などの日常生活が便利」が最も多く、特に子どものいる世帯は60%台と多くなっていますが、三世代世帯は50%を下回っています。

●「自然環境が良い」は、三世代世帯のみ30%台と、ほかの世帯より多くなっています。

【今後の居住意向別　加古川市に住んでいてよかった点】

		(n)	通勤・通学が便利	バスや電車など市内公共交通が便利	最寄り駅が近い（駅へのアクセスが良い）	都心部へのアクセスが良い	駅前がにぎわっている	レジャー・娯楽施設が充実している	買い物などの日常生活が便利	地域活動が盛んである	近所づきあい・人間関係が良い	物価が安い	住宅価格・家賃が適当	まちのイメージが良い	まちが安全・安心である
全体		1,289	30.5	18.7	31.3	22.0	7.9	7.7	56.6	6.0	21.1	18.9	17.7	12.3	21.3
居住意向	住みたい	511	38.4	21.5	32.9	26.6	8.6	10.6	63.8	5.7	27.6	21.5	18.4	18.2	30.1
	住みたいが、住むことができない	475	29.9	22.5	33.9	24.4	9.1	7.6	58.5	8.0	20.2	18.3	18.3	12.0	20.8
	住みたくない	278	18.0	7.6	24.5	11.2	5.4	2.9	41.7	2.9	11.9	15.5	16.2	2.9	7.2

		(n)	自然環境が良い	医療環境が充実している	福祉サービスが充実している	子育て環境が充実している	子育てにかかる費用負担の支援が手厚い	小中学校に通いやすい	小中学校の教育水準が高い	道路などの都市基盤が整備されている	道路や公園の美化など生活環境が良い	その他	特にない	不明・無回答
全体		1,289	21.6	16.4	1.7	6.5	2.5	24.0	3.2	12.8	7.8	4.3	5.5	0.3
居住意向	住みたい	511	25.6	18.4	2.0	6.3	1.4	30.5	3.5	15.9	9.2	4.5	2.3	0.4
	住みたいが、住むことができない	475	21.3	18.1	1.9	8.4	3.6	24.4	4.0	14.5	9.1	4.6	3.6	0.2
	住みたくない	278	15.8	11.2	1.1	4.0	2.2	11.9	1.4	4.7	4.0	4.0	14.0	0.0

●今後の居住意向別にみると、今後の居住意向に関わらず「買い物などの日常生活が便利」が最も多くなっていますが、住みたくない人は40%台と、ほかの人より低くなっています。

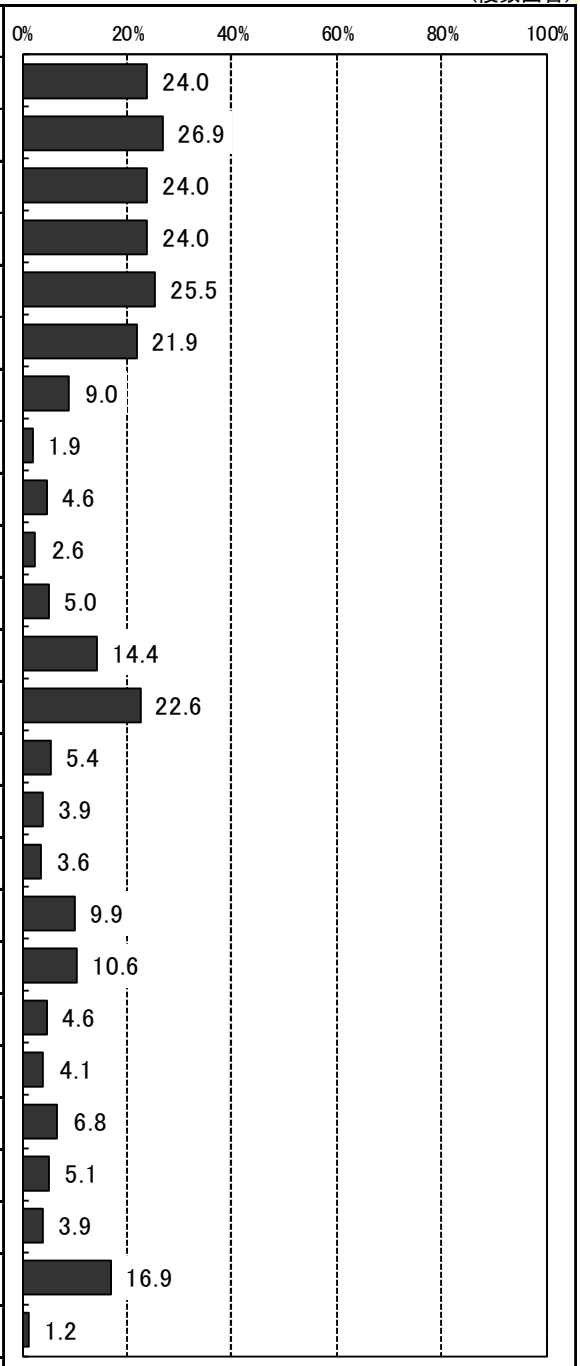
●住みたくない人は「子育てにかかる費用負担の支援が手厚い」を除き、すべての項目で住みたい人や住みたいが住むことができない人より回答が低く、「特にない」が 10 ポイント以上多くなっています。

●「通勤・通学が便利」「買い物などの日常生活が便利」「まちが安全・安心である」は住みたい人より住みなくない人のほうが 20 ポイント以上低くなっています。

問 20　現在のお住まい（転出先）と比較して、加古川市が住みにくいと思う点はどのようなことですか。【あてはまるものすべてに○】

（複数回答）

区分		
通勤・通学が不便	(n=309)	24.0
バスや電車など市内公共交通が不便	(n=347)	26.9
最寄り駅が遠い（駅へのアクセスが悪い）	(n=309)	24.0
都心部から離れている	(n=309)	24.0
駅前のにぎわいが足りない	(n=329)	25.5
レジャー・娯楽施設が少ない	(n=282)	21.9
買い物などの日常生活が不便	(n=116)	9.0
地域活動が多過ぎる	(n=25)	1.9
近所づきあい・人間関係が良くない	(n=59)	4.6
物価が高い	(n=34)	2.6
住宅価格・家賃が合っていない	(n=64)	5.0
まちのイメージが良くない	(n=185)	14.4
まちの治安が良くない	(n=291)	22.6
自然環境が良くない	(n=69)	5.4
医療環境が充実していない	(n=50)	3.9
福祉サービスが充実していない	(n=47)	3.6
子育て環境が充実していない	(n=128)	9.9
子育てにかかる費用負担の支援が少ない	(n=136)	10.6
小中学校に通いにくい	(n=59)	4.6
小中学校の教育水準が低い	(n=53)	4.1
道路などの都市基盤の整備が不十分	(n=88)	6.8
道路や公園の美化など生活環境が良くない	(n=66)	5.1
その他	(n=50)	3.9
特にない	(n=218)	16.9
不明・無回答	(n=15)	1.2
全体	(n=1,289)	



●「バスや電車など市内公共交通が不便」が 26.9%で最も多く、次いで「駅前のにぎわいが足りない」が 25.5%、「通勤・通学が不便」と「最寄り駅が遠い（駅へのアクセスが悪い）」と「都心部から離れている」が、ともに 24.0%となっています。

【年齢別　加古川市が住みにくいと思う点】

		(n)	通勤・通学が不便	バスや電車など市内公共交通が不便	最寄り駅が遠い（駅へのアクセスが悪い）	都心部から離れている	駅前のにぎわいが足りない	レジャー・娯楽施設が少ない	買い物などの日常生活が不便	地域活動が多過ぎる	近所づきあい・人間関係が良くない	物価が高い	住宅価格・家賃が合っていない	まちのイメージが良くない	まちの治安が良くない
全体		1,289	24.0	26.9	24.0	24.0	25.5	21.9	9.0	1.9	4.6	2.6	5.0	14.4	22.6
年齢別	20～24 歳	237	25.7	23.2	22.4	26.2	21.5	25.3	6.3	0.4	3.4	2.5	2.1	10.5	24.9
	25～29 歳	348	25.6	28.2	24.7	25.9	26.7	24.1	9.2	2.3	4.6	1.4	6.9	17.0	22.4
	30～34 歳	342	21.1	27.5	24.0	22.5	29.8	21.1	9.1	1.5	4.4	2.0	4.7	16.1	25.4
	35～39 歳	206	26.2	27.2	25.7	22.3	26.7	19.4	8.3	1.0	3.9	5.3	5.3	11.7	18.9
	40 歳以上	153	21.6	27.5	22.2	22.2	18.3	17.0	12.4	5.9	7.8	3.3	5.2	14.4	18.3

		(n)	自然環境が良くない	医療環境が充実していない	福祉サービスが充実していない	子育て環境が充実していない	子育てにかかる費用負担の支援が少ない	小中学校に通いにくい	小中学校の教育水準が低い	道路などの都市基盤の整備が不十分	道路や公園の美化など生活環境が良くない	その他	特にない	不明・無回答
全体		1,289	5.4	3.9	3.6	9.9	10.6	4.6	4.1	6.8	5.1	3.9	16.9	1.2
年齢別	20～24 歳	237	3.8	3.8	3.4	6.8	3.0	2.1	3.8	3.8	3.4	3.0	21.1	1.3
	25～29 歳	348	5.2	4.6	4.6	10.3	11.5	6.0	5.7	6.6	4.6	2.3	17.0	0.6
	30～34 歳	342	5.3	2.9	3.8	14.0	13.7	4.7	2.9	5.8	5.0	4.4	13.5	1.2
	35～39 歳	206	4.9	4.9	2.9	7.8	11.2	3.9	5.3	8.7	5.8	7.3	16.0	0.5
	40 歳以上	153	9.2	3.3	2.6	7.8	12.4	5.9	2.0	11.8	8.5	3.3	19.0	3.3

●年齢別にみると、20～24 歳は「都心部から離れている」、30～34 歳は「駅前のにぎわいが足りない」、そのほかの年代は「バスや電車など市内公共交通が不便」が最も多くなっています。

【性別　加古川市が住みにくいと思う点】

		(n)	通勤・通学が不便	バスや電車など市内公共交通が不便	最寄り駅が遠い（駅へのアクセスが悪い）	都心部から離れている	駅前のにぎわいが足りない	レジャー・娯楽施設が少ない	買い物などの日常生活が不便	地域活動が多過ぎる	近所づきあい・人間関係が良くない	物価が高い	住宅価格・家賃が合っていない	まちのイメージが良くない	まちの治安が良くない
全体		1,289	24.0	26.9	24.0	24.0	25.5	21.9	9.0	1.9	4.6	2.6	5.0	14.4	22.6
性別	男性	558	22.8	24.0	22.2	24.9	28.1	20.8	8.1	2.0	4.1	2.7	5.6	16.1	22.6
	女性	725	25.0	28.8	25.4	23.3	23.6	22.8	9.4	1.9	4.7	2.6	4.6	13.0	22.5
	答えたくない	1	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		(n)	自然環境が良くない	医療環境が充実していない	福祉サービスが充実していない	子育て環境が充実していない	子育てにかかる費用負担の支援が少ない	小中学校に通いにくい	小中学校の教育水準が低い	道路などの都市基盤の整備が不十分	道路や公園の美化など生活環境が良くない	その他	特にない	不明・無回答
全体		1,289	5.4	3.9	3.6	9.9	10.6	4.6	4.1	6.8	5.1	3.9	16.9	1.2
性別	男性	558	5.7	4.1	3.0	11.6	11.5	5.7	4.3	9.9	6.3	3.9	16.8	1.3
	女性	725	5.1	3.7	4.0	8.6	9.8	3.6	4.0	4.6	4.3	3.9	17.0	1.1
	答えたくない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

●性別にみると、男性は「駅前のにぎわいが足りない」、女性は「バスや電車など市内公共交通が不便」が最も多くなっています。

【転出先の県下地域別　加古川市が住みにくいと思う点】※n数が10件以下は分析の対象外

		(n)	通勤・通学が不便	バスや電車など市内公共交通が不便	最寄り駅が遠い（駅へのアクセスが悪い）	都心部から離れている	駅前のにぎわいが足りない	レジャー・娯楽施設が少ない	買い物などの日常生活が不便	地域活動が多過ぎる	近所づきあい・人間関係が良くない	物価が高い	住宅価格・家賃が合っていない	まちのイメージが良くない	まちの治安が良くない
全体		1,289	24.0	26.9	24.0	24.0	25.5	21.9	9.0	1.9	4.6	2.6	5.0	14.4	22.6
転出先の県下地域別	神戸地域	190	33.2	39.5	29.5	37.4	32.1	23.7	15.3	3.7	2.6	2.1	3.7	22.1	20.5
	阪神南地域	76	35.5	30.3	27.6	42.1	31.6	32.9	5.3	1.3	5.3	0.0	1.3	21.1	19.7
	阪神北地域	27	40.7	29.6	33.3	44.4	14.8	14.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.8	33.3
	東播磨地域	308	21.4	22.7	18.8	14.6	16.9	12.0	7.1	2.6	4.9	3.2	8.8	11.7	23.1
	北播磨地域	47	6.4	6.4	6.4	6.4	4.3	14.9	4.3	0.0	12.8	6.4	17.0	21.3	48.9
	中播磨地域	119	16.0	22.7	18.5	8.4	38.7	30.3	12.6	4.2	5.9	0.0	3.4	5.9	14.3
	西播磨地域	21	9.5	0.0	4.8	0.0	0.0	9.5	9.5	0.0	4.8	4.8	4.8	28.6	33.3
	但馬地域	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	16.7	41.7
	丹波地域	5	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	60.0
	淡路地域	7	0.0	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0	57.1

		(n)	自然環境が良くない	医療環境が充実していない	福祉サービスが充実していない	子育て環境が充実していない	子育てにかかる費用負担の支援が少ない	小中学校に通いにくい	小中学校の教育水準が低い	道路などの都市基盤の整備が不十分	道路や公園の美化など生活環境が良くない	その他	特にない	不明・無回答
全体		1,289	5.4	3.9	3.6	9.9	10.6	4.6	4.1	6.8	5.1	3.9	16.9	1.2
転出先の県下地域別	神戸地域	190	5.3	4.7	3.2	8.4	4.2	3.7	4.7	12.1	4.7	3.7	11.6	1.1
	阪神南地域	76	3.9	2.6	3.9	5.3	5.3	3.9	3.9	6.6	7.9	1.3	10.5	1.3
	阪神北地域	27	7.4	0.0	3.7	3.7	3.7	3.7	11.1	0.0	3.7	0.0	11.1	0.0
	東播磨地域	308	4.9	4.5	4.2	23.4	27.3	6.8	4.5	7.1	7.1	5.2	16.9	1.9
	北播磨地域	47	27.7	4.3	4.3	10.6	12.8	4.3	6.4	4.3	6.4	8.5	17.0	0.0
	中播磨地域	119	2.5	2.5	1.7	5.9	6.7	3.4	3.4	5.0	2.5	3.4	25.2	0.8
	西播磨地域	21	33.3	4.8	4.8	0.0	14.3	9.5	9.5	9.5	4.8	4.8	19.0	0.0
	但馬地域	12	8.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	41.7	0.0
	丹波地域	5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	淡路地域	7	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0

●転出先の県下地域別に、それぞれ最も多い項目は以下の通りです。

神戸地域：バスや電車など市内公共交通が不便

阪神南地域・阪神北地域：都心部から離れている

東播磨地域：子育てにかかる費用負担の支援が少ない

北播磨地域：まちの治安が良くない

中播磨地域：駅前のにぎわいが足りない

西播磨地域：まちの治安が良くない、自然環境が良くない

但馬地域：まちの治安が良くない、特にない

【転出前の世帯構成別　加古川市が住みにくいと思う点】

		(n)	通勤・通学が不便	バスや電車など市内公共交通が不便	最寄り駅が遠い（駅へのアクセスが悪い）	都心部から離れている	駅前のにぎわいが足りない	レジャー・娯楽施設が少ない	買い物などの日常生活が不便	地域活動が多過ぎる	近所づきあい・人間関係が良くない	物価が高い	住宅価格・家賃が合っていない	まちのイメージが良くない	まちの治安が良くない
全体		1,289	24.0	26.9	24.0	24.0	25.5	21.9	9.0	1.9	4.6	2.6	5.0	14.4	22.6
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	17.3	23.1	15.4	19.2	30.8	20.2	9.6	1.9	2.9	1.9	4.8	16.3	26.0
	夫婦のみの世帯	63	15.9	30.2	25.4	20.6	22.2	22.2	9.5	1.6	4.8	7.9	11.1	14.3	27.0
	子どものいる世帯	181	14.9	14.9	17.1	15.5	19.3	16.0	4.4	2.8	7.7	7.2	10.5	17.7	27.1
	親と同居世帯	772	26.6	28.5	24.9	26.7	26.6	23.1	8.2	1.7	3.5	1.7	3.9	13.1	21.8
	三世代世帯	147	29.3	34.0	33.3	25.9	27.2	25.9	16.3	2.7	6.8	0.0	1.4	14.3	17.0
	その他の世帯	18	33.3	27.8	22.2	16.7	16.7	11.1	16.7	0.0	11.1	5.6	5.6	27.8	27.8

		(n)	自然環境が良くない	医療環境が充実していない	福祉サービスが充実していない	子育て環境が充実していない	子育てにかかる費用負担の支援が少ない	小中学校に通いにくい	小中学校の教育水準が低い	道路などの都市基盤の整備が不十分	道路や公園の美化など生活環境が良くない	その他	特にない	不明・無回答
全体		1,289	5.4	3.9	3.6	9.9	10.6	4.6	4.1	6.8	5.1	3.9	16.9	1.2
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	7.7	3.8	3.8	7.7	8.7	2.9	1.9	8.7	3.8	8.7	13.5	1.9
	夫婦のみの世帯	63	12.7	11.1	6.3	17.5	19.0	4.8	1.6	6.3	7.9	6.3	9.5	0.0
	子どものいる世帯	181	9.9	3.9	2.2	17.1	23.8	7.7	6.1	8.8	7.2	3.9	16.0	0.0
	親と同居世帯	772	3.2	3.1	3.6	8.2	7.0	3.2	3.6	6.2	4.4	2.8	17.6	1.4
	三世代世帯	147	4.1	4.8	4.8	8.8	11.6	8.8	6.1	6.1	5.4	4.8	17.7	1.4
	その他の世帯	18	22.2	5.6	0.0	11.1	5.6	5.6	11.1	11.1	11.1	5.6	33.3	0.0

●転出前の世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯は「駅前のにぎわいが足りない」、子どものいる世帯は「まちの治安が良くない」、ほかの世帯は「バスや電車など市内公共交通が不便」が最も多くなっています。

【転出前の居住地区別　加古川市が住みにくいと思う点】

		(n)	通勤・通学が不便	バスや電車など市内公共交通が不便	最寄り駅が遠い（駅へのアクセスが悪い）	都心部から離れている	駅前のにぎわいが足りない	レジャー・娯楽施設が少ない	買い物などの日常生活が不便	地域活動が多過ぎる	近所づきあい・人間関係が良くない	物価が高い	住宅価格・家賃が合っていない	まちのイメージが良くない	まちの治安が良くない
全体		1,289	24.0	26.9	24.0	24.0	25.5	21.9	9.0	1.9	4.6	2.6	5.0	14.4	22.6
転出前の居住地区別	加古川	309	17.5	23.9	16.8	23.9	27.2	23.3	6.1	1.0	2.6	3.6	5.8	12.6	21.0
	加古川北	67	32.8	43.3	41.8	32.8	19.4	26.9	20.9	1.5	4.5	0.0	1.5	4.5	13.4
	野口	155	20.0	22.6	25.2	21.3	31.0	24.5	5.2	1.9	5.2	3.9	2.6	11.0	27.7
	平岡	327	27.5	24.8	17.7	21.4	23.2	18.7	6.7	1.2	5.5	2.8	4.9	20.5	25.4
	浜の宮	216	17.1	20.4	19.0	25.0	19.9	16.7	5.1	3.7	6.9	2.8	7.9	17.1	25.9
	両荘	37	62.2	62.2	59.5	32.4	27.0	24.3	35.1	13.5	8.1	0.0	2.7	13.5	18.9
	加古川西	121	22.3	23.1	27.3	17.4	27.3	22.3	9.9	0.8	1.7	0.8	4.1	9.9	18.2
	志方	45	55.6	66.7	75.6	44.4	44.4	40.0	33.3	0.0	0.0	0.0	2.2	4.4	4.4

		(n)	自然環境が良くない	医療環境が充実していない	福祉サービスが充実していない	子育て環境が充実していない	子育てにかかる費用負担の支援が少ない	小中学校に通いにくい	小中学校の教育水準が低い	道路などの都市基盤の整備が不十分	道路や公園の美化など生活環境が良くない	その他	特にない	不明・無回答
全体		1,289	5.4	3.9	3.6	9.9	10.6	4.6	4.1	6.8	5.1	3.9	16.9	1.2
転出前の居住地区別	加古川	309	4.2	3.2	3.9	9.1	9.4	2.9	3.9	5.5	5.2	5.2	19.7	1.3
	加古川北	67	1.5	6.0	4.5	10.4	9.0	10.4	1.5	10.4	1.5	3.0	16.4	1.5
	野口	155	4.5	1.9	0.6	9.0	9.7	1.3	2.6	5.8	5.8	5.8	14.2	1.3
	平岡	327	7.3	3.7	4.3	11.0	12.5	4.3	5.2	10.1	6.1	3.4	15.3	0.9
	浜の宮	216	8.3	4.6	3.7	11.6	12.0	5.1	4.6	4.2	6.9	3.2	16.7	1.4
	両荘	37	2.7	8.1	5.4	13.5	8.1	21.6	2.7	10.8	5.4	0.0	2.7	0.0
	加古川西	121	3.3	3.3	2.5	7.4	7.4	4.1	3.3	2.5	0.0	3.3	24.8	1.7
	志方	45	0.0	6.7	6.7	8.9	15.6	6.7	4.4	11.1	4.4	2.2	6.7	0.0

●転出前の居住地区別に、それぞれ最も多い項目は以下の通りです。

加古川・野口：駅前のにぎわいが足りない

加古川北：バスや電車など市内公共交通が不便

平岡：通勤・通学が不便

浜の宮：まちの治安が良くない

両荘：通勤・通学が不便、バスや電車など市内公共交通が不便

加古川西：最寄り駅が遠い（駅へのアクセスが悪い）、駅前のにぎわいが足りない

志方：最寄り駅が遠い（駅へのアクセスが悪い）

【今後の居住意向別　加古川市が住みにくいと思う点】

		(n)	通勤・通学が不便	バスや電車など市内公共交通が不便	最寄り駅が遠い（駅へのアクセスが悪い）	都心部から離れている	駅前のにぎわいが足りない	レジャー・娯楽施設が少ない	買い物などの日常生活が不便	地域活動が多過ぎる	近所づきあい・人間関係が良くない	物価が高い	住宅価格・家賃が合っていない	まちのイメージが良くない	まちの治安が良くない
全体		1,289	24.0	26.9	24.0	24.0	25.5	21.9	9.0	1.9	4.6	2.6	5.0	14.4	22.6
居住意向	住みたい	511	19.6	25.0	20.4	21.5	22.3	22.1	6.3	1.6	2.9	2.5	4.7	9.8	18.4
	住みたいが、住むことができない	475	22.3	23.6	22.7	22.5	27.2	20.4	8.2	1.3	3.4	2.3	2.9	12.2	18.3
	住みたくない	278	35.3	36.7	33.8	30.9	29.9	24.8	15.8	4.0	10.1	3.2	8.6	26.6	37.8

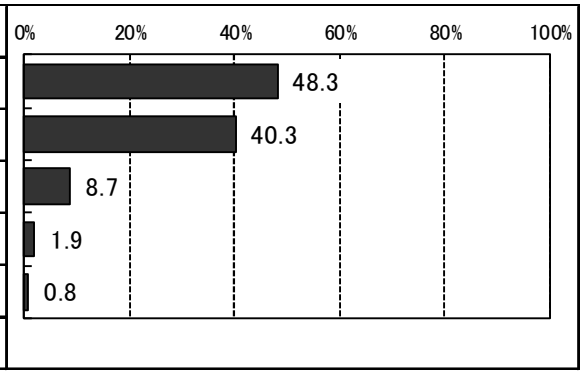
		(n)	自然環境が良くない	医療環境が充実していない	福祉サービスが充実していない	子育て環境が充実していない	子育てにかかる費用負担の支援が少ない	小中学校に通いにくい	小中学校の教育水準が低い	道路などの都市基盤の整備が不十分	道路や公園の美化など生活環境が良くない	その他	特にない	不明・無回答
全体		1,289	5.4	3.9	3.6	9.9	10.6	4.6	4.1	6.8	5.1	3.9	16.9	1.2
居住意向	住みたい	511	3.3	3.9	3.7	10.0	10.6	3.1	3.1	5.9	4.5	4.5	20.9	1.2
	住みたいが、住むことができない	475	5.3	3.2	2.9	6.7	9.1	4.0	2.5	5.9	3.2	2.9	17.7	0.4
	住みたくない	278	9.0	5.0	4.7	15.8	14.0	7.9	8.6	10.1	9.4	4.0	8.6	0.0

●今後の居住意向別にみると、住みたい人は「バスや電車など市内公共交通が不便」、住みたいが住むことができない人は「駅前のにぎわいが足りない」、住みたくない人は「まちの治安が良くない」が最も多くなっています。

●住みたくない人はすべての項目で住みたい人や住みたいが住むことができない人より回答が多くなっています。

問 21　加古川市の住みよさ、住みにくさの両方を踏まえ、加古川市は住みやすかったと思いますか。
【１つに○】

区分		
住みやすい	(n=622)	48.3
どちらかと言えば住みやすい	(n=520)	40.3
どちらかと言えば住みにくい	(n=112)	8.7
住みにくい	(n=25)	1.9
不明・無回答	(n=10)	0.8
全体	(n=1,289)	



●「住みやすい」が 48.3%で最も多く、次いで「どちらかと言えば住みやすい」が 40.3%、「どちらかと言えば住みにくい」が 8.7%となっています。

【年齢別・転出前の居住地区別　加古川市の住みやすさ】

		(n)	住みやすい	どちらかと言えば住みやすい	どちらかと言えば住みにくい	住みにくい	不明・無回答
全体		1,289	48.3	40.3	8.7	1.9	0.8
年齢別	20～24 歳	237	59.5	32.9	5.5	0.8	1.3
	25～29 歳	348	51.7	36.2	10.1	1.4	0.6
	30～34 歳	342	40.4	50.0	7.9	1.5	0.3
	35～39 歳	206	50.0	36.9	9.2	3.4	0.5
	40 歳以上	153	38.6	43.8	11.8	3.9	2.0
転出前の居住地区別	加古川	309	56.0	35.9	6.5	0.3	1.3
	加古川北	67	35.8	43.3	17.9	3.0	0.0
	野口	155	53.5	38.7	5.2	1.9	0.6
	平岡	327	48.6	39.1	9.2	2.4	0.6
	浜の宮	216	49.1	41.7	5.1	3.7	0.5
	両荘	37	27.0	40.5	29.7	2.7	0.0
	加古川西	121	44.6	46.3	7.4	0.8	0.8
	志方	45	22.2	53.3	22.2	2.2	0.0

●年齢別にみると、30～34 歳・40 歳以上の年代は「どちらかと言えば住みやすい」、ほかの年代は「住みやすい」が最も多くなっています。

●転出前の居住地区別にみると、加古川・野口・平岡・浜の宮の人は「住みやすい」、ほかの地区の人は「どちらかと言えば住みやすい」が最も多くなっています。「どちらかと言えば住みにくい」は両荘・志方の人で 20%台と、ほかの地区の人より多くなっています。

【転出前の世帯構成別・今後の居住意向別　加古川市の住みやすさ】

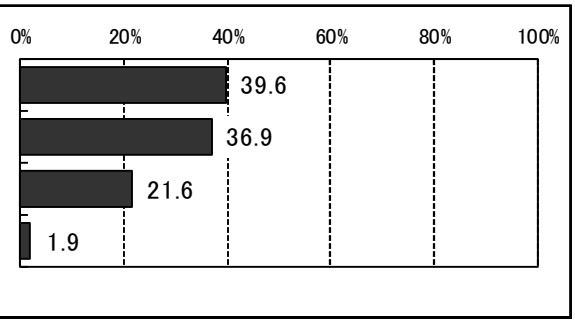
		(n)	住みやすい	どちらかと言えば住みやすい	どちらかと言えば住みにくい	住みにくい	不明・無回答
全体		1,289	48.3	40.3	8.7	1.9	0.8
転出前の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	104	36.5	43.3	15.4	2.9	1.9
	夫婦のみの世帯	63	36.5	46.0	14.3	3.2	0.0
	子どものいる世帯	181	38.7	48.1	9.9	2.8	0.6
	親と同居世帯	772	53.0	38.2	6.7	1.3	0.8
	三世代世帯	147	49.0	38.1	9.5	2.7	0.7
	その他の世帯	18	44.4	33.3	16.7	5.6	0.0
居住意向	住みたい	511	67.1	30.7	2.0	0.0	0.2
	住みたいが、住むことができない	475	49.7	45.5	4.4	0.0	0.4
	住みたくない	278	14.4	48.9	27.7	8.6	0.4

●転出前の世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯・夫婦のみの世帯・子どものいる世帯は「どちらかと言えば住みやすい」、ほかの世帯は「住みやすい」が最も多くなっています。

●今後の居住意向別にみると、住みたくない人は「どちらかと言えば住みやすい」、ほかの人は「住みやすい」が最も多くなっています。「どちらかと言えば住みにくい」は住みたくない人で 20%台と、ほかの人より 20 ポイント以上多くなっています。

問 22　あなたは、将来、加古川市に住みたい（戻ってきたい）と思いますか。【１つに○】

区分	
住みたい	(n=511)
住みたいが、住むことができない	(n=475)
住みたくない	(n=278)
不明・無回答	(n=25)
全体	(n=1,289)



●「住みたい」が 39.6%で最も多く、次いで「住みたいが、住むことができない」が 36.9%、「住みたくない」が 21.6%となっています。

【年齢別・転出先の県下地域別　加古川市への居住意向】※n 数が 10 件以下は分析の対象外

		(n)	住みたい	住みたいが、住むことができない	住みたくない	不明・無回答
全体		1,289	39.6	36.9	21.6	1.9
年齢別	20～24 歳	237	52.7	30.8	14.3	2.1
	25～29 歳	348	41.1	36.8	20.4	1.7
	30～34 歳	342	35.4	36.0	27.8	0.9
	35～39 歳	206	34.5	40.8	21.8	2.9
	40 歳以上	153	33.3	41.8	21.6	3.3
転出先の県下地域別	神戸地域	190	38.9	31.6	27.4	2.1
	阪神南地域	76	36.8	40.8	19.7	2.6
	阪神北地域	27	33.3	40.7	22.2	3.7
	東播磨地域	308	38.3	30.5	29.2	1.9
	北播磨地域	47	25.5	55.3	17.0	2.1
	中播磨地域	119	47.1	37.0	13.4	2.5
	西播磨地域	21	38.1	42.9	19.0	0.0
	但馬地域	12	50.0	50.0	0.0	0.0
	丹波地域	5	20.0	60.0	20.0	0.0
	淡路地域	7	57.1	28.6	14.3	0.0

●年齢別にみると、20～29 歳の年代は「住みたい」、30 歳以上の年代は「住みたいが、住むことができない」が最も多くなっています。「住みたくない」は 20～24 歳のみ 10%台となっています。

●転出先の県下地域別にみると、神戸地域・東播磨地域・中播磨地域・但馬地域の人は「住みたい」、そのほかの地域の人は「住みたいが、住むことができない」が最も多くなっています。「住みたくない」は神戸地域・阪神北地域・東播磨地域の人で 20%台、ほかの地域の人は 10%台となっています。

【転出前の居住地区別・現在の世帯構成別・住みやすさ別　加古川市への居住意向】

		(n)	住みたい	住みたいが、住むことができない	住みたくない	不明・無回答
全体		1,289	39.6	36.9	21.6	1.9
転出前の居住地区別	加古川	309	44.3	35.6	17.8	2.3
	加古川北	67	43.3	32.8	23.9	0.0
	野口	155	43.2	36.1	16.1	4.5
	平岡	327	37.3	33.0	28.4	1.2
	浜の宮	216	33.8	44.4	20.4	1.4
	両荘	37	37.8	37.8	21.6	2.7
	加古川西	121	39.7	37.2	20.7	2.5
	志方	45	35.6	44.4	20.0	0.0
現在の世帯構成別	ひとり暮らし世帯	393	45.5	31.6	20.6	2.3
	夫婦のみの世帯	363	40.5	40.5	17.4	1.7
	子どものいる世帯	391	33.5	37.9	26.3	2.3
	親と同居世帯	51	43.1	27.5	27.5	2.0
	三世代世帯	45	24.4	55.6	20.0	0.0
	その他の世帯	40	47.5	35.0	17.5	0.0
住みやすさ別	住みやすい	1,142	43.8	39.6	15.4	1.2
	住みにくい	137	7.3	15.3	73.7	3.6

●転出前の居住地区別にみると、浜の宮・志方の人は「住みたいが、住むことができない」、両荘の人は「住みたい」と「住みたいが、住むことができない」、ほかの地区の人は「住みたい」が最も多くなっています。

●現在の世帯構成別にみると、夫婦のみの世帯は「住みたい」「住みたいが、住むことができない」、子どものいる世帯・三世代世帯は「住みたいが、住むことができない」、ほかの世帯は「住みたい」が最も多くなっています。

●住みやすさ別にみると、住みやすいと答えた人は「住みたい」、住みにくいと答えた人は「住みたくない」が最も多くなっています。

問 23　加古川市への思いやメッセージを、ご自由にお書きください。

1,289 件中、自由記述は実 834 件

有効回答 1,289 件のうち、記述があったのは 834 件で、いただいた意見をテーマ（分野）ごとに分類し、集約した結果、延意見数は 1,119 件でした。

いただいた意見を、さらに「問 22　Uターン意向」ごとに集約した結果は以下の通りです。

■「住みたい」と答えた人の意見（延 455 件）

意見	件数
住みやすさ	201
いつか戻れたら・戻りたい・戻る	91
住みやすい・暮らしやすい	50
離れて加古川の良さを再認識	18
ほどよい田舎（都会すぎず）	14
愛着がある・大切なふるさと	10
自然が豊かで住みやすい	7
心落ち着く・ホッとするまち	4
結婚・子育てのために戻った	2
仕事・結婚のために離れた（戻ってきたい）	2
その他（気候がよい、人が温かいなど）	3
今後のまちづくりに期待	56
応援している・頑張って	44
より良い加古川市に期待	9
幅広い年代・外国にとって住みやすいまちに	3
子育て支援	42
子育て支援策の充実を	20
明石市のような支援策を	9
医療費の対象を拡大してほしい	4
給食の充実（中学校まで、無償になど）	3
医療費無料が助かった	2
子育てがしにくいまち	2
子育てがしやすいまち	2
公共交通	34
バスが不便（本数が少ない、全域をカバーしてほしいなど）	14
交通の便がよくない	8
車があれば住みやすい・車が無いと不便	7
交通が便利・道路が整備されている	2
都市部に行きやすい	2
高齢になると不安	1
道路	21

意見	件数
交通が便利・道路が整備されている	6
渋滞の緩和を	6
道路の環境整備を・事故が多く不安	5
街灯が少なく危険	4
市民生活の安全・安定	20
治安が悪い	11
災害が少なく安心	5
災害対策を進めて	2
その他（安全・安心なまち、マナーが悪い）	2
商業・観光	15
特産品やイベントなどで「加古川市」をPRして	8
駅前を活性化してほしい（にぎわいがない、栄えてほしい）	4
娯楽・商業施設等の充実を、賑わいのあるまちに	3
加古川が好き・応援している	9
公園や娯楽施設、遊ぶところが少ない	8
医療	6
医療、福祉サービスを充実してほしい	3
医療環境が良くなっている	2
医療環境が悪い	1
環境対策の充実（空気が悪い、ごみの捨て方の改善、まちの美化など）	5
これからも加古川に行く、帰省する	5
住宅環境について	5
地価・建物・家賃が高い	2
マンションを増やしてほしい	2
地価が安い	1
スポーツ・文化施設の充実	3
アンケートについて	3
働く場所が少ない・企業誘致を	3
魅力を感じない・活気がない・もの足りない	3
教育環境の充実（学校環境の改善、中高一貫教育の実施）	2
花火などのイベントが好き	2
その他	12

■「住みたいが、住むことができない」と答えた人の意見（延 448 件）

意見	件数
住みやすさ	178
住みやすい・暮らしやすい	70
いつか戻れたら・戻りたい・戻る	25

意見	件数
愛着がある・大切なふるさと	18
離れて加古川の良さを再認識	17
ほどよい田舎（都会すぎず）	11
自然が豊かで住みやすい	10
仕事・結婚のために離れた（戻ってきたい）	5
加古川で生まれ・育って良かった	3
心落ち着く・ホッとするまち	3
豊かな自然を守ってほしい	3
田舎ならではの体験ができた	2
気候が良くて住みやすい	2
暮らしが不便	2
人が温かい	2
見守られて育った	2
その他（公園がよい、静か）	3
今後のまちづくりに期待	61
応援している・頑張って	53
より良い加古川市に期待	8
子育て支援	38
子育て支援策の充実を	21
子育てがしやすいまち	8
医療費の対象を拡大してほしい	3
医療費無料が助かった	3
給食の充実（中学校まで）	2
産前・産後の支援を	1
公共交通	36
交通の便がよくない	12
バスが不便（本数が少ない、ルート拡大など）	10
車があれば住みやすい・車が無いと不便	8
高齢になると不安	3
都市部に行きやすい	3
道路	20
渋滞の緩和を	10
道路の環境整備を・事故が多く不安	6
交通が便利・道路が整備されている	4
市民生活の安全・安定	17
治安が悪い	11
災害が少なく安心	2
マナーが悪い	2

意見	件数
その他（運転が荒い、治安がよい）	2
商業・観光	14
特産品やイベントなどで「加古川市」をPRして	8
駅前を活性化してほしい（にぎわいがない、栄えてほしい）	6
加古川が好き・応援している	11
公園や娯楽施設、遊ぶところが少ない	11
住宅環境について	10
地価・建物・家賃が高い	6
転出先で住宅を購入（よい物件がなかった）	3
マンションを増やしてほしい	1
これからも加古川に行く、帰省する	8
教育環境の充実	6
教育環境がよい	2
その他（教師の質の改善、学校のバリアフリー化など）	4
行政の対応	5
窓口対応に満足	3
窓口対応に不満	2
食べ物がおいしい	5
環境対策の充実（空気が悪い、ごみの捨て方の改善、まちの美化など）	3
働く場所が少ない・企業誘致を	3
アンケートについて	3
医療環境が良くなっている	2
悪いイメージを払拭して	2
税金、水道料金が高い	2
その他	13

■「住みたくない」と答えた人の意見（延 216 件）

意見	件数
住みやすさ	45
住みやすい・暮らしやすい	23
愛着がある・大切なふるさと	5
離れて加古川の良さを再認識	4
いつか戻れたら・戻りたい・戻る	3
ほどよい田舎（都会すぎず）	3
心落ち着く・ホッとするまち	2
仕事・結婚のために離れた（戻ってきたい）	2
その他（親しみはある、不便、静か）	3
子育て支援	30

意見	件数
明石市のような支援策を	10
子育てがしやすいまち	5
給食の充実（中学校まで、高校まで）	4
子育て支援策の充実を	4
医療費の対象を拡大してほしい	2
その他（医療費無料が助かった、ミマモルメがよいなど）	5
公共交通	25
バスが不便（本数が少ない、ルート拡大など）	10
交通の便がよくない	9
車があれば暮らしやすい・無ければ暮らしにくい	4
高齢になると不安	2
市民生活の安全・安定	22
治安が悪い	17
運転が荒い（交通マナーが悪い）	3
その他（災害が少ない、災害対策を）	2
道路	17
渋滞の緩和を	6
交通が便利・道路が整備されている	4
道路の環境整備を・事故が多く不安	4
街灯が少なく危険	3
今後のまちづくりに期待	14
より良い加古川市に期待	6
応援している・頑張って	5
幅広い年代・外国にとって住みやすいまちに	3
商業・観光	10
特産品やイベントなどで「加古川市」をPRして	7
娯楽・商業施設等の充実を・賑わいのあるまちに	3
医療	4
医療環境が良くなっている	2
市民病院への疑問・不安	2
公園や娯楽施設、遊ぶところが少ない	8
これからも加古川に行く、帰省する	8
行政の対応	5
窓口対応に不満	4
窓口対応に満足	1
お世話になりました	4
加古川が好き・応援している	3
魅力を感じない・活気がない・もの足りない	3

意見	件数
環境対策の充実（空気が悪い、ごみの捨て方の改善、まちの美化など）	3
人間関係がわずらわしい	2
アンケートについて	2
その他	11

加古川市

転入・転出に関するアンケート調査結果報告書

令和２年３月

加古川市 企画部 政策企画課

〒675-8501 加古川市加古川町北在家 2000 番地

電話（079）427-9113